IS12T

取扱説明書

au by KDDI

ごあいさつ

このたびはIS12Tをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に本書をお読みいただき、正しくお使いください。

オンラインマニュアルのご利用について
IS12Tに付属する『取扱説明書』(本書)は、オンラインマニュアルでもご用意しております。
auホームページでは以下のマニュアルがご利用いただけます。
- 『取扱説明書』のダウンロード
(http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html)

■ For Those Requiring an English/Chinese Instruction Manual
英語版・中国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html
English/Chinese Simple Manual can be read at the end of this manual.
簡易英語版／中国語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

IS12Tをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

- IS12Tは国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。
- IS12Tはパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のIS12Tの動作が不安定になったり、お客様の位置情報やIS12Tに登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

マナーを守ろう

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。
- 航空機内での携帯電話の使用は以下の場合を除いて法律で禁止されています。
  - 出発時においては、搭乗から全ての乗降口が閉ざされるまでの間
  - 到着時においては、乗降口のうちいずれかが開かれた時から降機までの間

■使う場所や声の大きさに気をつけて！

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、サイレントモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の許可を得てからにしましょう。

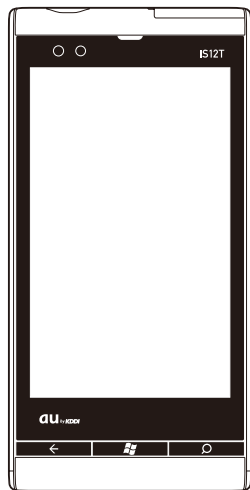
■周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品および主な周辺機器について

■本体

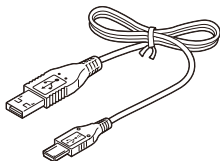
IS12T（電池フタ、保証書含む）

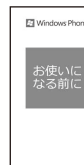
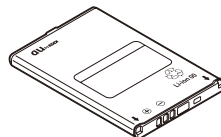
■付属品

IS12T設定ガイド

取扱説明書（本書）

お使いになる前に

電池パック

microUSB-USB変換
ケーブル（試供品）

グローバルパスポート
ご利用ガイド

001国際電話サービス
（au国際電話サービス）
ご利用ガイド

以下のものは同梱されていません。

・ACアダプタ
・イヤホン

・指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。

目次

アプリケーション........99

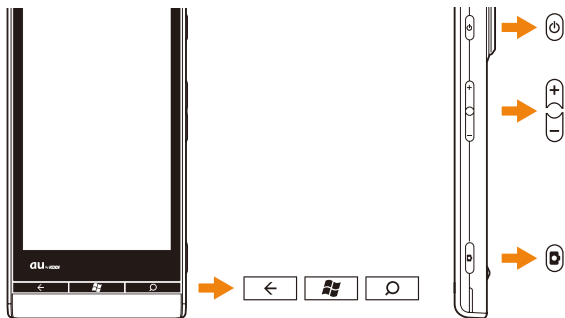
各種設定........ 113

付録／索引........ 125

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を以下のように省略しています。

■ 操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽くたたいて選択する動作です（▶P.40）。

表記	意味
[スタート]→➔→⚙→「Wi-Fi」	[スタート]を押します。表示されたスタート画面で➔をタップし、⚙、「Wi-Fi」の順にタップします。
Webページ画面→ … →「タブ」	Webページ画面下にある … をタップし、続いて「タブ」をタップします。
⏻／[スタート]を押す	⏻を押すか、または[スタート]を押します。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意・過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ お客様ご自身で登録された情報内容は、故障や障がいの原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

安全上のご注意

■安全にお使いいただくために必ずお読みください。

この「安全上のご注意」には、IS12Tをお使いになる方やほかの人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

以下の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表示	説明
⚠危険	"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと"を示します。
⚠警告	"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されること"を示します。
⚠注意	"取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるか、または物的損害(※3)の発生が想定されること"を示します。

※1重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
※3物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	説明
禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止	" 禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止"は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示 プラグをコンセントから抜く	" 指示 プラグをコンセントから抜く"は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■IS12T本体・電池パック・充電用機器・au ICカード・変換ケーブル類共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

IS12Tに使用する電池パック、充電用機器、microUSBケーブル、変換アダプタ、イヤホン関連機器は、必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、炎天下など)での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

外部接続端子やイヤホン端子をショートさせないでください。また、外部接続端子やイヤホン端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入れたりしないようにしてください。火災や故障の原因になる場合があります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS12Tの電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。

指定のACアダプタ(別売)をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

分解や改造・お客様による修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS12T・車両などに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。
携帯電話の改造および改造された携帯電話の使用は電波法違反になります。

IS12Tは防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子キャップ、電池フタなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

外部接続端子やイヤホン端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

落下などによって破損し、IS12T本体の内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをしたりすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生などには使用しないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

イヤホンなどをIS12T本体に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。
音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

⚠注意　**必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止　直射日光のあたる場所や高温になるところ（自動車内など）、極端に低温になるところ、湿気やほこりの多いところに保管しないでください。発熱・発火・変形・故障する原因となります。

禁止　ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

禁止　乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。

指示　ペットがIS12T本体や電池パックなどに噛みつかないよう注意してください。誤飲や破裂・発熱・発火・漏液・故障などの原因となります。

指示　使用中に煙が出たり、異臭や異音、過剰な発熱などの異常が起きたときはすぐに使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、水などにぬれたりして破損した場合もそのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

禁止　IS12Tを長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用しないでください。低温やけどになるおそれがあります。

禁止　外部から電源が供給されている状態のIS12T本体・電池パック・指定の充電用機器（別売）や変換ケーブル類に長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止　電池フタを外したまま使用しないでください。

禁止　コンセントや配線機器の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止　金属製のストラップやアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に指定のACアダプタ（別売）の電源プラグ、電池パックの端子、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

禁止　外部接続端子やイヤホン端子に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。外部接続端子を使用しないときは、ほこりなどが入らないようにキャップを閉めてください。

禁止　腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

指示　外部接続端子やイヤホン端子に外部機器などをお使いになるときは、端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

禁止　イヤホンなどをIS12T本体に装着し音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。
始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

■IS12T本体について

⚠警告　**必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止　自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

指示　航空機内での携帯電話の使用は以下の場合を除いて法律で禁止されています。電源をお切りください。

- 出発時においては、搭乗から全ての乗降口が閉ざされるまでの間
- 到着時においては、乗降口のうちいずれかが開かれた時から降機までの間

航空機内での携帯電話の使用は、電子機器に影響を与える場合があり、航空機の運行の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法律により罰せられることがあります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を植込み型心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は携帯電話の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

高精度な電子機器の近くではIS12T本体の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知機・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

カメラライトを目に近づけて点灯させないでください。また、カメラライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車などの運転者に向けてカメラライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不可能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていたりすると、一時的に筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす方がいます。こうした経験のある方は、事前に医師と相談してください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、ラジオ・音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

ハンドストラップなどを持って、IS12T本体を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

⚠注意　**必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

改造されたIS12Tは絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
IS12Tは、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」がau電話本体の銘板シールに表示されております。
IS12T本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたり、はさんだりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。長時間使用した場合やお客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

●IS12T本体

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース（表示側）	PA樹脂	ウレタン系塗装処理
外装ケース（電池装着側）	PC・ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（電池フタ）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ディスプレイパネル	強化ガラス	飛散防止フィルム
外部接続端子キャップ	PC樹脂 ポリエステル系エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所	使用材料	表面処理
カメラライト部パネル	アクリル樹脂	−
カメラパネル	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
操作ボタン	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
お知らせLED		
サイドキー(カメラ)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
サイドキー(ボリューム)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
サイドキー(電源)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
トップパネル	PC･ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ボトムパネル	PC･ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
カメラリング	PC･ABS樹脂	ウレタン系塗装処理
ジャックパネル	PC･ABS樹脂	ウレタン系塗装処理
バンパー	PC･ABS樹脂	ウレタン系塗装処理

通常は外部接続端子キャップを閉めた状態で使用してください。キャップを閉めずに使用すると、ほこり･水などが入り故障の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定にご注意ください。驚いたりして、心臓に影響を与えるおそれがあります。

IS12T本体の吸着物にご注意ください。受話口･スピーカー部には磁石を使用しているため、画びょうやピン･カッターの刃･ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口･スピーカー部に異物がないか確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、スライド部などからIS12T本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

通話･通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙･布･布団などをかぶせたりしないでください。火災･やけど･故障の原因となるおそれがあります。

■電池パックについて

IS12Tの電池パックはリチウムイオン電池です。

誤った取り扱いをすると、発熱･漏液･破裂のおそれがあり危険です。
必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピンなど)などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解･改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。また、外装シールははがさないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱･発火･破裂の原因となります。

電池パックは防水性能を有しておりません。電池パックはぬらさないでください。電池パックに水、海水、ペットの尿などの液体が入ると発熱･破損･発火･感電･故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外してauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、ぬれた電池パックは充電しないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁止

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

禁止

電池パックをIS12T本体に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂、火災、発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず接続部を十分にご確認ください。

指示

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

⚠警告　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- 共通ACアダプタ01（別売）：AC100V（日本国内家庭用）
  単相200Vでの充電、あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ（別売）：AC100V～240V
- DCアダプタ（別売）：DC12V／24V（マイナスアース車専用）

指示

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。

指示

共通DCアダプタ01／03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V，1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01／03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

禁止

指定の充電用機器（別売）の電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

外部接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

指示

指定の充電用機器（別売）の電源プラグにほこりが付着しているときは、コンセントまたはシガーライタソケットから抜き、ふき取ってください。そのまま放置すると、火災の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や電子回路のショートの原因となります。

指示

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

水ぬれ禁止

指定の充電用機器（別売）は防水性能を有しておりません。水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電、電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ01/03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

ぬれた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電・故障の原因となります。

IS12T本体から電池パックを外した状態で、指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ au ICカードについて

⚠注意　**必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合、内部データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

IS12T本体に挿入するときや、取り出すときは手や指を傷つけないようにご注意ください。

水にぬらしたり、ぬれた手で触ったり、汚したりしないでください。故障・破損の原因となります。IS12T本体のau ICカード挿入部の端子にゴミや異物が付着した場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

au ICカードのIC(金属)部分に直接手で触れたり、金属などをあててショートさせたりしないでください。静電気などにより内部データが変化・消失・故障するおそれがあります。

傷つけたり、折ったり、曲げたり、重いものを載せたりしないでください。また、落としたり衝撃を与えたりしないでください。内部データの消失や故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。

取り扱い上のお願い

■ 共通(IS12T本体・電池パック・充電用機器・au ICカード・同梱変換ケーブル類)

- IS12Tの防水性能(IPX5、IPX8相当)、防塵性能(IP5X)を発揮するために、電池フタや外部接続端子キャップをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。IS12T内部に浸水させたり、電池パック、オプション品に水をかけたりしないでください。付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。雨の中や水滴がついたままでの電池パックの取り付け/取り外し、外部接続端子キャップや電池フタの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水ぬれによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンなどの中で重いものの下になったりしないようにしてください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
  ― 充電用機器
  ― 変換ケーブル類
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃~35℃、湿度35%~90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃~40℃であれば一時的な使用は可能です。)
  ― IS12T本体
  ― 電池パック・au ICカード(IS12T本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

- 家庭用電化製品（テレビ、スピーカーなど）をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、離れてご使用ください。
- 音声通話中や充電中など、ご使用状況によってはIS12T本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックを取り外す時は、IS12Tの電源を切ってください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化･消失するおそれがあります。
- IS12T本体に電池パックを取り付ける際は、形状を確認し正しい向きで行ってください。誤って取り付けると、破損･故障の原因となります。うまく取り付けられない場合は、無理に取り付けず、「電池パックを取り付ける」を確認してから取り付けなおしてください。
- IS12T本体に指定の充電用機器（別売）を接続する際は、指定の充電用機器（別売）のコネクタの形状を確認し正しい向きで行ってください。誤って接続すると、破損･故障の原因となります。うまく接続できない場合は、無理に接続せず、「ACアダプタ（別売）で電池パックを充電する」を確認してから接続しなおしてください。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■ IS12T本体について

- IS12T本体（電池パックを取り外した背面）に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のIS12Tが電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- IS12Tに登録された内容は、事故や故障･修理、その他取り扱いによって変化･消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI（株）･沖縄セルラー電話（株）では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS12Tでダウンロードしたデータ（有料･無料は問わない）などは、機種変更･故障修理などによるIS12Tの交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- IS12Tで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在することがあります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 強く押す･たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷や破損の原因となります。
- ディスプレイが金属などの堅い部材にあたらないようにしてください。また金属などの堅い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 公共の場所でご使用いただく際には、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 長時間同じ画像を表示させているとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止と消費電力節約のため、照明時間の設定を短い時間にすることをおすすめします。
- カバンやポケットに入れているときにキーが誤動作しないように、スリープモードを設定しておくことをおすすめします。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ぬらした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合には、IS12T内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。また、エアコンの吹き出し口などに置くと、急激な温度変化により結露する場合があります。結露が発生すると故障の原因になりますのでご注意ください。
- 外部接続端子キャップは、容易には外れない構造になっていますが、強く引っ張るなどの過度の力が加わった場合は破損を防止するため外れる仕組みとなっています。
  万一、外部接続端子キャップが外れた場合は、取り付けてください。
- IS12Tは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- IS12TのBluetooth®機能は日本国内および米国規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Wi-Fi®機能は日本国内でご使用ください。IS12TのWi-Fi®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外で使用すると罰せられることがあります。

- 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなることがありますのでご注意ください。
- 通話中に髪の毛の上から受話口を当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、誤って画面に触れてしまい通話が遮断される場合があります。
- 磁石やスピーカー、テレビなど磁力を有する機器に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 電池フタを外した本体下部に貼られている黒いシールを剥がさないでください。防水性能および通信性能を保証できない場合があります。

■ タッチパネルについて

- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、スリープモードにした状態で収納してください。スリープモードを解除したまま収納すると誤動作の可能性があります。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し、ご使用できる時間が短くなります。また、電池寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、IS12T本体から取り外して高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 不要な電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様への貸与品になります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。解約などを行って不要になったau ICカードは、auショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- 故障と思われる場合、盗難や紛失・破損した場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au ICカードを他のICカードリーダーなどに挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- au ICカード以外のカードを本製品に挿入しないでください。au ICカード以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- IS12Tの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますのでご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

■ 著作権について

- 音楽・映像・コンピュータ・プログラム・データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)・改変・複製物の譲渡・ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。IS12Tを使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像を転送することはできません。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者(撮影者)などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演、興行および展示物などには、個人として楽しむための撮影自体が制限されている場合がありますのでご注意ください。

■ 肖像権などについて

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、だれにでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権(パブリシティ権)があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

＜本機の記録内容の控え作成のお願い＞

- ご自分で本機に登録された内容や、本機外から本機に受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。
  本機のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。
  ※ 撮影したフォトなど、重要なデータはパソコンやSkyDriveなどに保存しておいてください。ただし、控えが作成できないデータもあります。あらかじめご了承ください。

■ お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS12Tをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS12Tには次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
ロック画面でのパスワード入力設定	設定方法は、「他の人が使用できないようにする」(▶P.46)をご参照ください。

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。「PINコードを設定する／無効にする」(▶P.37)をご参照ください。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時は、PINコードの入力が不要な設定になっていますが、「SIMセキュリティ」で入力が必要な設定に変更できます。なお「SIMセキュリティ」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号に変更できます。「PINコードを設定する／無効にする」(▶P.37)をご参照ください。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。「PINコードを設定する／無効にする」(▶P.37)をご参照ください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎「PINコード」は端末のリセット(▶P.122)を行ってもリセットされません。

防水／防塵性能に関する注意事項

正しくお使いいただくために、「防水／防塵性能に関する注意事項」の内容をお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

■ 防水／防塵性能について

このIS12Tは電池フタや外部接続端子キャップをしっかりと取り付けた状態でIPX5（旧JIS保護等級5）相当※1、IPX8（旧JIS保護等級8）相当※2の防水性能およびIP5X（JIS保護等級5）相当※3の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。

※1 IPX5（旧JIS保護等級5）相当
内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

※2 IPX8（旧JIS保護等級8）相当
常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、電話機内部に浸水せず、電話機としての機能を保つこと、また、常温で水道水、かつ静水の中に沈めている約30分間は静止画／動画撮影ができることを意味します。

※3 IP5X（JIS保護等級5）相当
防塵試験用粉塵（直径75μm以下）が入ったとしても所定の動作および安全性を損なわないように保護されていること意味します。

◎ 実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ ご使用にあたっての重要事項

- 砂浜などの上に直接置かないでください。送話口・受話口・スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、IS12T本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップや電池フタが浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
- 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水中でIS12Tを使用（キー操作を含む）しないでください。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。このIS12Tは防湿仕様ではありません。
- IS12T本体の防水性能は、常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。
  以下の例のような液体をかけたり、浸けたりしないでください。
  また、砂なども付着させないでください。
  例：せっけん・洗剤・入浴剤などの入った水／海水／プールの水／温泉／熱湯／薬品／汗／砂

■ 利用シーン別注意事項

● 雨の中で

- 雨の中、傘をささずにぬれた手で持って通話できます。
  ※ やや強い雨（1時間の雨量が20mm未満）まで
  ※ ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、IS12Tに水滴がついているとき、または手がぬれている状態での外部接続端子キャップや、電池フタの開閉は絶対にしないでください。

● お風呂場で

- お風呂で使用できます。ぬれた手で持って通話できますが、湯船には浸けないでください。
  ※ ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因になります。
- ご使用する場所によっては、電波状態が悪くなることがあります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などにIS12Tを持ち込むときは、IS12Tが常温になってから持ち込んでください。
- IS12Tに結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。

- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。
- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 周囲温度5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度35％～90％の範囲で使用してください。
- 耐水圧設計ではありませんので、蛇口やシャワーなどで高い水圧をかけないでください。

● キッチンで

- せっけん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものを、かけたり浸けたりしないでください。
- 高温のお湯や冷水に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- 強い流水（6リットル／分を超える）をかけないでください。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になるところに置かないでください。

● プールサイドで

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- プールの水がかかった場合は、やや弱めの水流（6リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で洗い流してください。洗うときは電池フタをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 炎天下や高温になる場所で使用・放置しないでください。
- 外部接続端子キャップや、電池フタをしっかり閉じた状態で防水性能を保ちます。

● 洗う

- せっけん、洗剤など水道水以外のものを、かけたり浸けたりしないでください。
- やや弱めの水流（6リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗えますが、耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは電池フタをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

memo

◎ディスプレイが汚れていたり汗や水で濡れていると、タッチパネルが誤動作する場合があります。その場合はディスプレイの表面をきれいに拭き取ってください。

■ 防水／防塵性能を維持するために

● ゴムパッキンについて

外部接続端子キャップや、電池フタ内部のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷つけたりしないでください。
- 外部接続端子キャップや、電池フタを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないよう注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水以外の液体（温水や海水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水／防塵性能を維持できなくなる場合があります。
- 外部接続端子キャップや、電池フタの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、ゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面は微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると浸水の原因となり

ます。微細なゴミが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取って必ず取り除いてください。

- 外部接続端子キャップや、電池フタの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つくおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するため、ゴムパッキンは異常の有無に関わらず、2年ごとに交換することをおすすめします（有償）。ゴムパッキンの交換については、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

● 海水／洗剤／砂／泥などが付着した場合

万一水以外（海水／洗剤／砂／泥など）が付着してしまった場合、直ちに水で洗い流してください。

- やや弱めの水流（6リットル／分以下、常温（5℃〜35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温の水道水で洗えます。
- 洗うときは電池フタをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

● 水でぬれたあとは

- 水でぬれたあとは、水抜きをし、乾いた清潔な布でIS12Tの水滴を拭き取ってください。

  ※ 外部接続端子部がショートするおそれがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。

  ※ 寒冷地ではIS12Tに水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- IS12Tに水滴が付着したまま放置しないでください。キーは水分が入り込む構造になっていますが、入り込んだ水分はIS12Tを振るなどして払い落としてください。（この場合、周囲に注意し、IS12Tを振り落とさないよう十分ご注意ください。）残った水分は乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。
- IS12Tに水や雪がついた場合は、清潔な乾いた布で拭き取ってください。拭き取れなかった水や隙間にたまった水で服やバッグをぬらす場合がありますのでご注意ください。

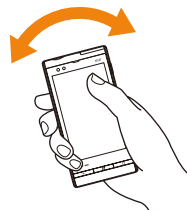
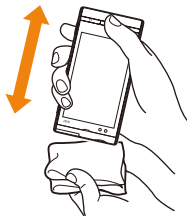
● 水抜きについて

IS12T本体に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、衣服やカバンなどをぬらしてしまうことがあります。

また、キーなどの隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、以下の手順でIS12Tの水分を取り除いてください。

1 IS12T表面の水分を乾いた布などでよく拭き取る

2 右図のようにIS12Tをしっかりと持って、少なくとも20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る。両面とも同じように振る

IS12Tを振り落とさないように、しっかり握ってください。

3 乾いた布などにIS12Tを軽く押し当て、送話口・受話口・スピーカー・キーなどの隙間に入った水分を拭き取る

4 乾いたタオル・布などを下に敷き、常温で放置する（30分程度）

上記手順を行った後でも、IS12Tに水分が残っている場合があります。
ぬれて困るもののそばには置かないでください。また、衣服やカバンなどをぬらしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

■充電に関する注意事項

電池パック、指定の充電用機器（別売）、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、次の点を確認してください。

- ぬれたままIS12Tを充電しないでください。水にぬれたあとに充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、外部接続端子キャップを開いてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
- IS12Tがぬれている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- ぬれた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）は、水のかからない状態で使用してください。火災・感電の原因となります。
- 指定のACアダプタ（別売）は、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■その他の注意事項

- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水などには絶対に浸けないでください。また、水中で使用したり、水中に長時間沈めたりしないでください。故障の原因となります。
- 手がぬれているときやIS12Tに水滴がついているときには、電池パックの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 耐熱性について
  熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）などは使用しないでください。
  本製品は耐熱設計ではありません。
- 送話口・受話口・スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 本製品は水に浮きません。
- 落下させるなどIS12Tに強い衝撃を与えないでください。防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
- 周囲温度5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度35%～90%の範囲で使用してください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水／防塵性能が維持できない場合があります。
- 電池パックが破損した場合は、電池パックを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池パックの腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップや、電池フタが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態で、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
- 送話口・受話口・スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- イヤホン端子に砂などの異物が入った状態で、イヤホンを使用しないでください。水分を含んだ砂などがイヤホン端子に入った場合は、綿棒などで無理に取り出さずに、十分乾燥させてから取り除くようにしてください。

Bluetooth®／Wi-Fi®機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

IS12TのBluetooth®機能およびWi-Fi®機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能：2.4FH1**
  IS12Tは2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- **Wi-Fi®機能：2.4DS/OF4**
  IS12Tは2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

▬ ▬ ▬
2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- IS12TのBluetooth®機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Wi-Fi®やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、音飛びなどの音質低下、通信切断などが発生することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

●Bluetooth®ご使用上の注意

IS12TのBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業･科学･医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS12Tを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS12Tと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS12Tの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

Wi-Fi®についてのお願い

- IS12TのWi-Fi®機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではWi-Fi®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品･AV･OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のWi-Fi®アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●Wi-Fi®ご使用上の注意

IS12TのWi-Fi®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業･科学･医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS12Tを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS12Tと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS12Tの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®、Wi-Fi®対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、Wi-Fi®対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、Wi-Fi®の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、Wi-Fi®によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ Wi-Fi®は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®、Wi-Fi®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、KDDI（株）･沖縄セルラー電話（株）では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®とWi-Fi®は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や音飛びなどの音質低下、ネットワークの切断などが発生する場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、Wi-Fi®のいずれかの使用を中止してください。

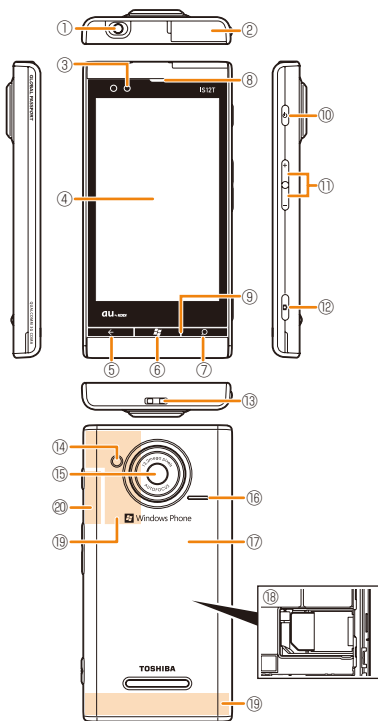
パケット通信料についてのご注意

- IS12Tは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
  このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。
- IS12Tでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）
  ※Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。

ダウンロードアプリについてのご注意

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- IS12Tに搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告無く変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と操作

①	イヤホン端子	イヤホン接続時に使用します。ラジオ使用時にはイヤホンがアンテナの役割をします。 イヤホン端子は防水加工になっています。濡れたら水抜きをしてください（▶P.22）。
②	外部接続端子	microUSB-USB変換ケーブルなどを接続します。
③	近接センサー／照度センサー	近接センサーは、通話中などに、タッチパネルの誤動作を防ぎます。 照度センサーは、暗い場所から明るい場所へ移動したときに周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。
④	ディスプレイ（タッチパネル）	指でなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップしたりして選択します。
⑤	戻るボタン［←］	直前に操作していた画面を表示します。長押しすると、最近起動したアプリケーションの履歴を表示します。 ボタンを押すと、数秒間白色点灯します。
⑥	スタートボタン［⊞］	スタート画面を表示します。 スリープモード中はスリープモードを解除します。 ボタンを押すと、数秒間白色点灯します。
	お知らせLED	• 赤色点灯：充電中 • 緑色点灯：充電中（満充電） • 橙色点滅：電池残量少（10%未満）
⑦	検索ボタン［⌕］	BingでWeb検索が行えます。 ボタンを押すと、数秒間白色点灯します。
⑧	受話口	相手の声が聞こえます。
⑨	送話口	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。
⑩	電源ボタン⏻	長く押して電源をオフします。短く押してスリープモードを設定／解除したり、電源をオンします。
⑪	音量ボタン［+］［−］	相手の声やスピーカーの音量を調節します。

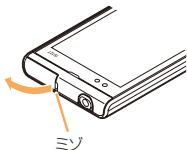
⑫	カメラボタン	カメラを起動します。カメラの撮影画面でシャッターキーとして使用したり、動画撮影を開始／終了したりします。スリープ状態の場合、カメラボタンを長押しすることでカメラを起動できます。
⑬	ストラップホール	－
⑭	カメラライト	カメラ撮影時、暗いときに点灯します。
⑮	カメラ	静止画や動画を撮影します。
⑯	スピーカー	着信音や音楽の再生音、スピーカーフォン利用中に相手の声が聞こえます。
⑰	電池フタ	－
⑱	au ICカード挿入口	au ICカードを挿入します（P.36）。
⑲	内蔵アンテナ	アンテナが内蔵されています。
⑳	GPSアンテナ	GPSアンテナが内蔵されています。

memo

◎近接センサー／照度センサー／内蔵アンテナ／GPSアンテナの上に画面保護シールやデコレーション用のシールなどを貼らないでください。
◎通話中に近接センサー／照度センサーをふさぐと、画面が消灯します。
◎IS12Tを持つとき、内蔵アンテナ付近を指や金属物などで触れたりおおったりすると電波感度が弱まることがあります。

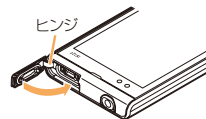
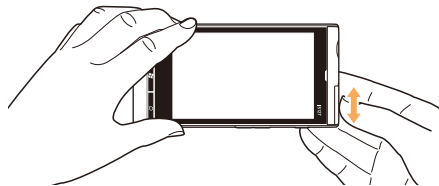
外部接続端子キャップを開く／閉じる

外部接続端子キャップを開く

1 ミゾに指をかけ、矢印の方向に開く

memo

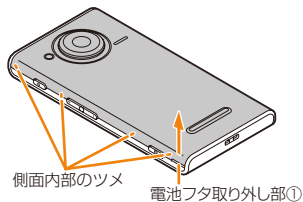
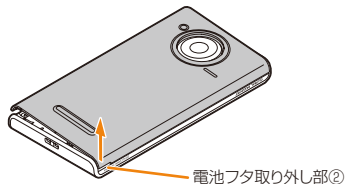
◎外部接続端子キャップを強く引っ張らないようご注意ください。特に外部接続端子に接続しているケーブルを取り外す際にカバーを一緒に引っ張ると必要以上の力が加わる可能性があります。
◎外部接続端子キャップを強く引っ張ると、キャップが変形したり、本体から抜けてしまったり破損の原因となります。

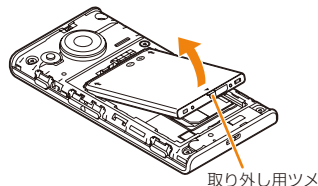
外部接続端子キャップを閉じる

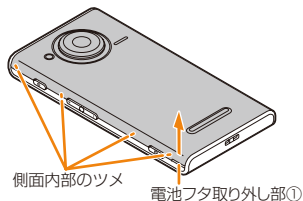
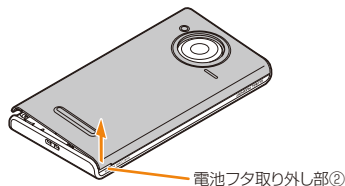
1 キャップのヒンジを収納してから、外部接続端子キャップ全体を指の腹で押し込む

2 矢印の方向になぞり、キャップが浮いていることのないように確実に閉じる

電池パックを交換する

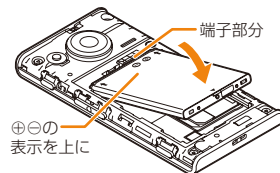
- 電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 電池フタの取り付け／取り外しは、IS12Tのディスプレイなどが傷付かないよう、手に持って行ってください。
- 電池フタは、IS12Tの水分をよく拭きとってから取り外してください。
- ぬれた手で電池パックの交換は行わないでください。
- IS12T専用の電池パックをご利用ください。

電池パックを取り外す

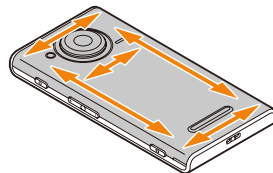
1 電池フタの取り外し部①に爪またはマイナスドライバーを差し込み、側面内部のツメが外れるまで電池フタを引き上げる

2 電池フタ取り外し部②に爪またはマイナスドライバーを差し込み、電池フタを引き上げて取り外す

3 電池パックを取り外す

- 取り外し用ツメを利用して、矢印の方向に持ち上げて取り外します。
- 取り外し用ツメ以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池の接続部を破損するおそれがあります。

電池パックを取り付ける

1 電池フタの取り外し部①に爪またはマイナスドライバーを差し込み、側面内部のツメが外れるまで電池フタを引き上げる

2 電池フタ取り外し部②に爪またはマイナスドライバーを差し込み、電池フタを引き上げて取り外す

3 電池パックを取り付ける

- 電池パックの⊕⊖が表示されている面を上にして、電池パックの端子部分をIS12T本体の端子部分に合わせてから、矢印の方向にはめ込みます。
- 形状を確認し、正しい向きで取り付けてください。

4 電池フタの向きを確認して、本体に合わせるように装着させる

装着の前に、電池フタ裏面のゴムパッキン部分などにゴミが付着していないことを確認してください。

5 矢印の方向に指でなぞるようにしっかりと押し、閉じる

防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
「防水／防塵性能に関する注意事項」(▶P.20)をご参照ください。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

また、IS12Tのお知らせLEDが橙色に点滅しているときは、電池残量が10%未満になっています。充電してからお使いください。

■充電時のご注意

- 必ずIS12Tに電池パックを取り付けて充電してください。
- IS12Tを使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、ご使用できる時間が短くなる場合があります。
- 充電中はIS12TやACアダプタ(別売)が温かくなることがありますが、故障ではありません。IS12Tが温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。IS12Tが極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- IS12Tのお知らせLEDが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
- 電池パックは「安全上のご注意」をよくお読みになってお取り扱いください。
- 頻繁に充電をくり返すと、電池パックの寿命が短くなります。
- 充電中、お知らせLEDがまだ赤色点灯しているときに充電をやめると、充電が十分にできていない場合があります。その場合は、使用時間も充電完了時より短くなります。
- IS12Tの電源がOFFのときに充電を行うと、自動的に電源がONになります。

■充電時間(目安)

IS12Tの電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。操作したまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

指定のACアダプタ(別売)	約160分
共通DCアダプタ01(別売)	約240分

■十分に充電したときの使用時間(目安)

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。詳しくは、「主な仕様」(▶P.133)を参照してください。

連続待受時間	約280時間
連続通話時間	約400分

■電池パックの寿命について

電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

- 不要な電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。

Li-ion 00

■充電用のアダプタについて

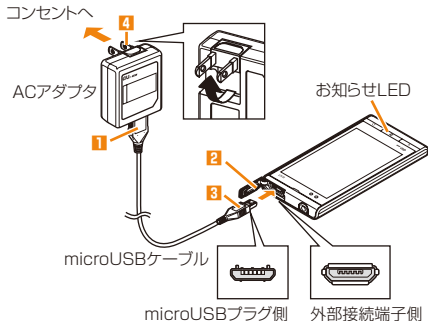
別途、指定のACアダプタ(別売)やDCアダプタ(別売)が必要です。指定のアダプタについては、「周辺機器のご紹介」(▶P.130)をご参照ください。

◎共通ACアダプタ01（別売）では日本国内家庭用AC100Vをご使用ください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
◎共通ACアダプタ02／03（別売）はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外での充電には必ず共通ACアダプタ02／03（別売）をご使用ください。

ACアダプタ（別売）を使って充電する

共通ACアダプタ03（別売）を使って充電する方法を説明します。（お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。あらかじめご了承ください。）

充電時間は約160分です。

1 microUSBケーブルにACアダプタを接続

microUSBケーブルにACアダプタのコネクタの形状を確認して接続します。

2 IS12Tの外部接続端子キャップを開ける

3 IS12TにmicroUSBケーブルを接続

microUSBプラグと、外部接続端子の形状を確認して、まっすぐに差し込んでください。

4 ACアダプタのプラグを起こして、コンセントに差し込む

根元まで確実に差し込んでください。
IS12Tのお知らせLEDが赤色に点灯し、画面上部のステータスバーにが表示されます。充電が完了すると、お知らせLEDが緑色に点灯します。

5 充電が終わったら、IS12TからmicroUSBケーブルをまっすぐ引き抜く

6 IS12Tの外部接続端子キャップを閉じる

7 ACアダプタをコンセントから抜く

memo

◎電池が切れた状態で充電すると、お知らせLEDがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎IS12TとパソコンをmicroUSB-USB変換ケーブルで接続しても充電ができます。
◎共通アダプタ01（別売）、共通ACアダプタ02（別売）と18芯-micro-USB変換アダプタ01（別売）を使用して充電することもできますが、充電時間は長くなります。
◎充電後は水分やほこりなどの侵入を防ぐために、外部接続端子キャップをしっかり閉じてください。「外部接続端子キャップを閉じる」（▶P.29）をご参照ください。
◎電池残量が少ない場合は、ディスプレイに電池マークが表示されIS12Tの操作は行えません。

バッテリの状態を確認する

画面上部のステータスバーにバッテリの残量や状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	▬	▬	▬	▬	▭
電池状態	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1

アイコン	(充電中アイコン)	(満充電アイコン)	[?]
電池状態	充電中	充電中（満充電）	不明

memo

◎バッテリ状態が[?]と表示されている場合は、いったんIS12Tの電源を切り、再度電源を入れてください。それでも表示が変わらない場合は、電源を切り、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
◎電池が切れそうになるとメッセージが表示されます。充電を行ってください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⏻

スタート画面が表示されます。
パスワードが設定されている場合はロック画面で上向きにフリック（▶P.40）し、パスワードを入力します。

■初めて電源を入れたとき

お買い上げ後、初めてIS12Tの電源を入れたときや端末リセット後に再起動したときは、画面の指示に従ってセットアップを行います。『設定ガイド』をご参照ください。

memo

◎セットアップの際、Windows Live IDを「今は実行しない」に設定した場合は、IS12TにはWindows Live IDは登録されていません。以下のいずれかの方法で登録してください。
- IS12TでWindows Live IDサイト(http://mobile.live.com/)にアクセスして取得後、[⊞]→➔→⚙→「メール&アカウント」で登録する
- パソコンでWindows Live IDサイト(https://login.live.com/)にアクセスして取得後、[⊞]→➔→⚙→「メール&アカウント」で登録する
- IS12Tのリセットを行ってセットアップの際に登録する（▶P.122）

電源を切る

1 ⏻（2秒以上長押し）

画面上半分に壁紙とメッセージが表示されます。

2 下にスライド（▶P.40）

「goodbye」のメッセージが表示され、電源が切れます。

スリープモードについて

⏻を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。

■スリープモードを解除する

1 スリープモード中に⏻／[⊞]

ロック画面（▶P.46）が表示されます。

◎スリープモードに移行するまでの時間（画面タイムアウト）は変更できます。「他の人が使用できないようにする」（▶P.46）をご参照ください。

電池の消耗を抑える

電池の消費を抑えるにはいろいろな方法があります。ご利用の形態に合わせて設定を行ってください。

●ディスプレイがオフになるまでの時間を短くする

「画面タイムアウト」の間隔を短くし、ロックされるように設定します。これにより、電池の消費を抑えると共に、誤作動を防ぎます。「他の人が使用できないようにする」（▶P.46）をご参照ください。

●ディスプレイの明るさを設定する

ディスプレイの明るさを暗めに設定すると、電池の消費を抑えることができます。「システム設定」（▶P.114）をご参照ください。

●使用していない接続をオフにする

- Bluetooth®が起動していると、近くのBluetooth®対応機器を検索します。そのためBluetooth®対応機器を使用しない場合は、Bluetooth®をオフにします。「Bluetooth®を利用する」（▶P.118）をご参照ください。
- Wi-Fi®が起動中は、近くのアクセスポイントを検索します。そのためWi-Fi®接続を使用しない場合は、Wi-Fi®をオフにします。「Wi-Fi®を利用する」（▶P.117）をご参照ください。
- ゲームを利用していない場合は、「Games」の「Xbox LIVEで接続」をオフにします。「アプリケーション設定」（▶P.119）をご参照ください。
- ネットワークの状態が圏外の場合は、フライトモードにするか、電源を切ります。「フライトモードを利用する」（▶P.117）、「電源を入れる／切る」（▶P.34）をご参照ください。

●Eメールと連絡先の同期を選択する

頻繁に確認する必要のない、重要度の低いEメールアカウントの同期設定を変更して同期間隔を長く設定します。同期設定をアカウントごとに設定することもできます。「Eメールの同期設定を行う」（▶P.72）をご参照ください。

●写真を撮る場合

- 写真を撮り終えたら、[←]を押して撮影画面を閉じます。撮影画面を動作させておくと、ディスプレイが表示されている時間が長くなります。
  また、画像をアップロードする際は、保存しておきたいものだけを選択してアップロードすると、操作時間が短くなります。こうすることで電池の消費を抑えると共に、パソコンで画像を分類する時間を節約できます。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。IS12Tにau ICカードが正しく取り付けられていないと、電話の発着信やメールの送受信などの操作が行えません。
au ICカードについて詳しくは、au ICカードの取扱説明書をご参照ください。

■au ICカードが挿入されていない、もしくはau ICカード以外のカードが挿入されると…

au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au ICカードが挿入されていない、もしくはau ICカード以外が挿入された場合は、次の操作を行うことができません。また、／が表示されます。

- 電話をかける／受ける
- ~~Cメールの受信~~ SMS（Cメール）の送受信
- IS12Tの電話番号の確認
- PINコード設定
- パケット通信

■au ICカードの暗証番号について

au ICカードには、第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐためにPINコードという暗証番号があります。ご契約時は「1234」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（▶P.37）。

au ICカードの取り付けかた／取り外しかた

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから、取り外し／取り付けを行います。電池パックの取り外しかたについては、「電池パックを交換する」（▶P.30）をご参照ください。

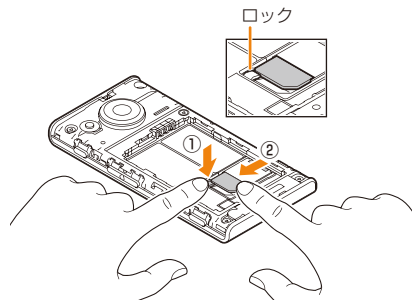
memo

◎au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC（金属）部分や、IS12T本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au ICカードを正しく取り付けていない場合や、au ICカードに異常がある場合は、エラーメッセージが表示されます。

◎取り外したau ICカードは、なくさないようにご注意ください。

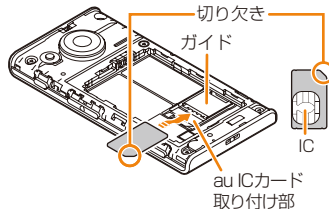
■au ICカードを取り外す

1 ①ロックを押しながら、②au ICカードを矢印の方向に2～3mm引き出す

2 ロックから指を離し、au ICカードを軽く押さえながら引き出す

au ICカードを下方向に強く押し付けないよう、ご注意ください。

■au ICカードを取り付ける

1 au ICカードのIC面を下にして、ガイドの中に差し込む

切り欠きの方向にご注意ください。

au ICカードの暗証番号（PINコード）を設定する

au ICカードには、第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐためにPINコードという暗証番号があります。お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更により他人の使用を制限できます。

■PINコードを設定する／無効にする

1 → → →フリックして「アプリ」を表示→「電話」

2 「SIMセキュリティ」をオンまたはオフに設定

PINの入力画面が表示されます。

3 PINコードを入力→「入力」

■PINコードを変更する

PINコードを設定していない場合は、変更できません。

1 → → →フリックして「アプリ」を表示→「電話」

2 「PINコードの変更」

PINの入力画面が表示されます。

3 現在使用しているPINコードを入力→「入力」→新しいPINコードを入力→「入力」

4 新しいPINコードを再入力→「入力」

「SIMセキュリティ」でPINコード認証を3回間違えた場合は、以下の手順でPINロックを解除してください。
1. PINロック解除コードを入力後、何もないところをタップします。
2. 新しいPINコードを入力後、何もないところをタップします。
3. 再度PINコードを入力後、何もないところをタップします。
4. 「登録」をタップします。

■起動後にPINコードを認証する

PINコードを設定すると、IS12Tを起動したときにPINコードの入力を求められます。ここで「キャンセル」した場合は、PINコードは認証されていません。また、海外CDMAネットワークを使用している場合は、起動時のPINコード入力画面が表示されません。
PINコードが認証されていない場合、電話をかけたり、携帯ネットワークを使用したインターネットの接続などができません。
起動後にPINコードを認証するには、以下の操作を行います。

1 → → →「SIMセキュリティ」

2 PINコードを入力→「OK」

■PINロックを解除する

PINコードの入力を3回連続して間違えると、au ICカードがロックされます。PINロック解除コードを入力してロックを解除し、新しいPINコードを設定します。

1 PINロック解除コードの入力画面→8桁のPINロック解除コードを入力→「入力」

2 新しいPINコードを入力→「入力」

3 新しいPINコードを再入力→「入力」

◎PINロック解除コードについては、「PINコードについて」（▶P.19）をご参照ください。

基本操作

タッチパネルの使いかた

IS12Tのディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

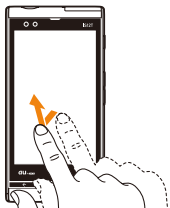
■タッチパネル利用上のご注意

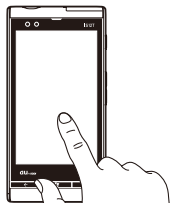
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- ぬれた指または汗で湿った指での操作
- 水中での操作

■タップ／ダブルタップ

画面の項目やアイコンを軽くたたきます。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ロングタッチ

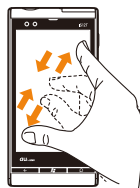
項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。コンテキストメニュー（▶P.43）を表示する場合に使います。

■スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。画面に表示されていない部分を表示する場合などに使います。

■ピンチイン／ピンチアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。Webページや画像などを拡大（ピンチアウト）、縮小（ピンチイン）する場合に使います。

■フリック

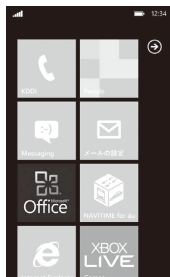
画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。画面を切り替える場合や、画面に表示されていない部分を表示する場合などに使います。

縦／横画面表示を切り替える

IS12Tの向きや動きを検知するモーションセンサーによって、IS12Tを縦または横に持ち替えて画面表示を切り替えることができます。

memo

◎IS12Tを垂直に立てた状態で操作してください。IS12Tを水平に寝かせると向きや動きの変化を正しく検知できず、画面表示が切り替わらない場合があります。
◎画面によっては画面表示が切り替わらない場合があります。
◎一連の操作を行っている場合は、IS12Tを縦／横に持ち替えて画面表示を切り替えないでください。
◎横画面表示で操作しづらい場合は、縦に持ち替えて操作を行ってください。

スタート画面について

スタート画面は、従来の携帯電話の「待受画面」に相当する画面で、すべての操作のスタート地点です。[スタートキー]を押すといつでも表示できます。お気に入りの画像を配置したり、よく利用するアプリケーションや連絡先のショートカットを配置したり、色を変更したりするなど、お好みに応じてカスタマイズできます。

➔をタップ、またはスタート画面を左へフリックするとIS12Tのアプリケーションが一覧で表示されます。

スタート画面をカスタマイズする

スタート画面をカスタマイズする方法を説明します。

■スタート画面にショートカットを作成する

コンテキストメニュー（▶P.43）や📌から、ショートカットとして、スタート画面に設定できます。

アプリケーション	アプリケーション一覧にあるものを設定できます。 1. [スタートキー]→➔→設定したいアプリケーションをロングタッチ メニューが表示されます。 2. 「スタート画面に追加」
連絡先	個人のプロフィール写真がタイルに表示され、アップデート情報をスタート画面から取得できます。 1. [スタートキー]→[People] 2. フリックして「すべて」を表示 3. 設定する連絡先→📌
Webサイト	よく利用するWebサイトを設定できます。 1. 設定したいサイトを表示します。 ▶P.76「Webページを表示する」 2. ･･･→「スタート画面に追加」

■スタート画面のタイルを移動する

1 移動したいタイルをロングタッチ

タイルが浮いたようになり、ⓧが表示されます。

2 移動したい位置にタイルをスライド→タイルをタップ

■スタート画面からタイルを削除する

1 削除したいタイルをロングタッチ→ⓧ

2 画面の何もないところをタップ

ステータスバーに表示されるアイコン

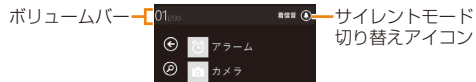
IS12Tの画面上部にはステータスアイコンが表示され、現在の状態をお知らせします。
画面の上部をタップするとステータスアイコンが表示され、数秒後に非表示になります。

①	～	電波の強さ(受信電界)
		圏外
		フライトモード設定中(▶P.117)
		au ICカード未挿入(▶P.36)
		au ICカードロック中(▶P.37)
②	3G	接続状態 EVDO圏外の場合、「1X」が表示されます。
③		自動転送設定中(▶P.60)
④	▲	ローミング中
⑤		Wi-Fi®の電波の強さ
		Wi-Fi®ネットワーク未接続(Wi-Fi®はオン状態)(▶P.117)
⑥		Bluetooth®利用中(▶P.118)
⑦		バイブレートモード設定中(▶P.42)
		サイレントモード設定中(▶P.42)
⑧		電池状態(▶P.34)

各画面での共通の操作

音量を調整する

ラジオや音楽の音量を調整したり、サイレントモードに簡単に切り替えたりする方法を説明します。

ボリュームバー
サイレントモード切り替えアイコン

1 を押す

画面上部にボリュームバーが表示されます。

■ 音量を調整する場合

2 を押して、適切な音量に設定する

■ サイレントモードに切り替える場合

2

サイレントモード()に切り替わります。システム設定(▶P.114)で「バイブレーション」をオンに設定していると が表示されます。
再度タップするとサイレントモードが解除されます。

◎スリープモード中(▶P.34)は、スリープを解除してから音量を変更してください。

基本操作

アプリケーションでの共通操作

各アプリケーションでの共通の操作を説明します。

■アプリケーションバーから操作する

各アプリケーションで何らかの操作がある場合に、画面下部にアプリケーションバーと各操作を行うためのアイコンが表示されます。… をタップするか、アプリケーションバーを上方向にフリックすると、各アイコンの名称や行える操作のメニューが表示されます。

■コンテキストメニューから操作する

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。メニューを消す場合は、メニュー以外の場所をタップします。
メニューの内容などは、画面やアプリケーションによって異なります。

■起動中のアプリケーションを表示する

複数のアプリケーションを起動している場合、[←]を長押しすると、起動中のアプリケーション画面が新しく起動した順から5画面(スタート画面を起動している場合は6画面)まで表示されます。表示したいアプリケーションをタップして切り替えられます。起動中のアプリケーションを終了するには、終了したいアプリケーションをタップして[←]を押します。

1 [←]を長押し

最近起動したアプリケーションの履歴画面が表示されます。

2 表示したいアプリケーションを選択

アプリケーション一覧

スタート画面で➔をタップするか、左へフリックするとIS12Tのアプリケーションが一覧で表示されます。

基本操作

アプリケーション	説明
アラーム	指定した時刻を通知します。 ▶P.100「アラーム」
カメラ	静止画や動画を撮影するためのアプリケーションです。撮影したデータは、Eメールに添付したり、Facebookに投稿したりできます。 ▶P.90「静止画を撮影する」 ▶P.91「動画を撮影する」
プロフィール交換	プロフィール画面の情報が入力されたバーコード(QRコード)を作成して、他の携帯電話などから読み取ってもらったり、相手のプロフィール情報が設定されたQRコードを読み取ったりしてプロフィールを交換できます。 ▶P.110「プロフィール交換」
ヘルプと使い方	IS12Tの操作方法やアプリケーションの使いかたなどが表示されます。 ▶P.50「ヘルプを参照する」
マップ	地図が表示されます。使いかたについては、「ヘルプと使い方」をご参照ください。
設定	システムの設定や、各アプリケーションの設定を行います。 ▶P.113「各種設定」
電卓	計算を行います。 ▶P.100「電卓」
電話	電話をかけます。発着信履歴やボイスメールの確認などもここから行います。 ▶P.52「電話を利用する」
Calendar	予定を登録したり、約束した相手にメールを送信したりできます。 ▶P.100「カレンダー」
Games	Xbox LIVEにアクセスして、ゲームができます。 ▶P.97「ゲーム」
Internet Explorer	Webにアクセスするためのアプリケーションです。 ▶P.76「ブラウザを利用する」
LinkCabinet	IS12Tに保存された写真、音楽、ビデオなどのコンテンツを、ネットワークに接続されたDLNA対応再生機器で再生できます。 ▶P.107「LinkCabinet」
Marketplace	アプリケーションや音楽、ゲームを試したり、購入したりすることができるオンラインストアです。 ▶P.109「Marketplace」
Messaging	au電話のCメールなどのショートメッセージを受信します。 ▶P.83「ショートメッセージを受信する」
Music+Videos	音楽や動画の再生を行うアプリケーションです。FMラジオを聴くこともできます。 ▶P.95「音楽／ビデオを楽しむ」
Office	Microsoft® Officeのドキュメントを編集したり、参照したりするためのアプリケーションです。 ▶P.103「Office Mobile」
People	EメールやFacebookなどのコミュニケーションをとるための連絡先や情報を管理するためのアプリケーションです。 ▶P.80「Peopleを利用する」
Pictures	カメラで撮影したデータ、およびEメールで受信したデータ、同期したデータなど、さまざまな静止画や動画を見るためのアプリケーションです。 ▶P.88「カメラ」

SMS(Cメール)

memo

◎IS12Tには、本表のアプリケーション以外にも搭載されているアプリケーションがあります。

基本操作

ハブについて

IS12Tには、「People」「Pictures」「Games」「Music+Videos」「Marketplace」「Office」の6つの「ハブ」が用意されています。スタート画面から各アプリケーションをタップするとそれぞれのハブ画面が表示されます。

ハブは、音楽、ゲーム、写真、ドキュメントなどの利用するコンテンツを起点として、それぞれのコンテンツと連携するアプリケーションやサービスを集約しています。

ハブ画面はパノラマビューになっていますので、左右にフリックして各機能を使うことができます。

「災害・避難情報」の受信にも対応いたしました。
災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全に関わる情報をお知らせするものです。
受信した情報の本文が全角70／半角140文字を超えた場合は、分割（最大11通まで）して表示されます。

◎緊急地震速報を受信しないように設定することはできません。
◎緊急地震速報の警報音は、「着信音＆サウンド」の「新しいSMSメッセージまたはIM」で設定した音でお知らせします。

緊急地震速報を利用する

緊急地震速報とは、気象庁が配信する緊急地震速報を、震源地周辺のエリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

memo

◎緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
◎地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
◎緊急地震速報は、情報料・通信料共に無料です。
◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
◎通話中は、緊急地震速報を受信できません。また、Eメール送受信時やショートメッセージ受信時、ブラウザ利用時などの通信中は、緊急地震速報を受信できない場合があります。
◎電源を切っていたり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急地震速報を受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急地震速報を、再度受信することはできません。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
~~◎緊急地震速報を受信しない設定にしたり、警報音を変更したりすることはできません。~~

この範囲内の「緊急地震速報」は、「緊急地震速報および災害・避難情報」とお読み替えください。

他の人が使用できないようにする

ロック画面にパスワードを設定して他の人が使用できないようにします。パスワードを設定すると、ロックを解除するときにパスワードの入力が必要になります。

memo

◎IS12Tを紛失した場合、パソコンからの遠隔操作で、IS12Tにロックをかけることができます。遠隔操作を行うための設定については、「紛失したIS12Tを探す」(▶P.119)をご参照ください。

■ロック画面とは

IS12Tを操作しない状態が一定時間続くとスリープモードに移行します。スリープモードを解除すると表示される画面がロック画面です。ロック画面の下部には、未読のショートメッセージ数、着信数、未確認のEメール数が表示されます。
ロック画面では、通常の操作は行えませんが、以下の操作は行うことができます。

- 緊急通報番号に電話をかける
  キーパッドが表示されるまで、上向きにフリックし、「緊急通報」をタップし、緊急電話番号を入力します。
- 電話を受ける
- メールを受信する
- 音楽やFMラジオを聴く
- カメラ撮影
  ◙を長押ししてカメラ起動と撮影ができます。ロック画面にパスワードが設定されている場合は、カメラ起動後の画面から🔒をタップし、パスワード入力してロックを解除できます。

■ロック画面にパスワードを設定する

1 ⊞→➔→⚙→「ロック&壁紙」

2 「画面タイムアウト」→設定したい時間を選択

3 「パスワード」をオンに設定

パスワード入力画面が表示されます。

4 「新しいパスワード」にパスワードを入力→「パスワードの確認入力」にもう一度パスワードを入力→「完了」

memo

◎パスワードをお忘れにならないようにメモを取ることをおすすめします。パスワードを忘れてIS12Tを操作できなくなった場合は、リセットが必要です(▶P.123)。
◎間違ったパスワードを5回入力すると、パスワードの入力が1分間できなくなります。
◎パスワードは4桁以上で設定してください。
◎「パスワードの要求」をタップすると、パスワードが要求されるまでの時間を設定できます。

■ロックを解除する

1 スリープモードになっている場合は、◙/⊞を押す

2 上向きにフリック

3 パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力

ロック前に表示していた画面が表示されます。

パスワードを変更する

1 **[スタート]→(→)→[設定]→「ロック＆壁紙」→「パスワードの変更」**

2 **「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力→「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力→「パスワードの確認入力」にもう一度パスワードを入力**

3 **「完了」**

ロック画面の壁紙を変更する

1 **[スタート]→(→)→[設定]→「ロック＆壁紙」→「壁紙の変更」**

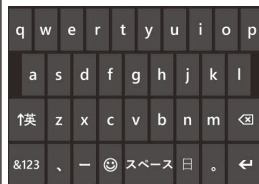
2 **画像を選択→大きさと位置を調整→(✓)**

memo

◎スリープモードを解除すると、新しい壁紙が表示されます。

文字を入力する

お買い上げ時は、以下のソフトウェアキーボードが用意されています。どちらのキーボードも、タップ操作とスライド操作の、2つの入力方法があります。

10キーキーボード 	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードで、4つの入力モード（かな／英字／数字・記号／顔文字・記号・特殊文字）で表示が切り替わります。
QWERTYキーボード 	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。

memo

◎IS12Tは絵文字に対応していません。

◎キーボードは、システム設定（▶P.114）で変更できます。

キーボードを切り替える

「日」をロングタッチし、10キーキーボードまたはQWERTYキーボードを選択します。

◎ メールアカウントのパスワード入力時など、10キーキーボードに切り替わらない場合があります。

10キーキーボードで入力する

10キーキーボードは、4つの入力モード（かな／英字／数字･記号／顔文字･記号･特殊文字）があります。

①	カーソルキー ← →	カーソル位置の移動や予測変換の候補を選択します。文字入力中は、←が↶に変わり、タップすると文字が逆順に表示されます。
②	入力モード切替キー あいう：かな abc：英字 1&：数字･記号 ☺：顔文字･記号･特殊文字	入力モードを切り替えます。
③	削除キー：⌫	タップで1文字削除します。
④	確定／改行キー：↵	カーソル位置で改行します。変換中は入力文字を確定します。
⑤	入力パネル	入力モード切替キーにより表示が切り替わります。

QWERTYキーボードで入力する

①	大文字／小文字切替キー	大文字と小文字を切り替えます。ダブルタップで大文字入力を固定にします。
②	文字／数字切替キー abcd：英字 &123：数字･記号	文字入力と数字記号入力に切り替えます。
③	削除キー：⌫	タップで1文字削除します。

基本操作

④	確定／改行キー：↵	カーソル位置で改行します。変換中は入力文字を確定します。
⑤	入力パネル	文字／数字切替キーにより表示が切り替わります。

カーソルを操作する

QWERTYキーボードには、カーソルを移動させるためのキーがないため、カーソル位置を移動する場合は、次の操作を行います。10キーキーボードでも同様の操作ができます。

1 入力領域内の任意の位置をロングタッチ

ロングタッチした位置で、カーソルの色と形状が変わります（I）。

2 目的の位置までスライド

指を離した位置で、カーソルの表示が変わりカーソルが移動します。

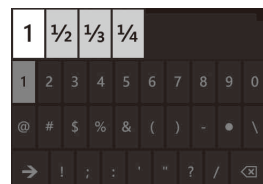
タップ操作による入力

10キーキーボードでは、入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。文字を入力中に ↺ が表示されている場合は、タップして文字を逆順に表示できます。

QWERTYキーボードで日本語入力する場合は、ローマ字入力で入力します。

スライド操作による入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、入力できる候補が表示されます。入力したい文字までスライドすると文字が入力できます。

《10キーキーボード》

《QWERTYキーボード》

変換機能を利用する

予測変換機能を利用すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力しただけで変換できます。また、入力を確定後は、確定した文字に続くことが予想される入力候補も表示されます。

文字入力中にキーボード上部に変換候補／入力候補が表示されます。

- » タップで、変換候補／入力候補の一覧が表示されます。表示しきれない部分は、上下にスライドして表示できます。
- « タップで、変換候補／入力候補の一覧を閉じます。

コピー&ペースト機能を利用する

1 コピーしたい単語をタップ

⎘が表示され、選択した単語がハイライト表示されます。選択範囲を変更する場合は、選択中テキストの両端にある矢印（ ）を目的の文字列までスライドします。

2 ⎘

3 コピーしたテキストをペーストする場所にカーソルを移動→(貼り付け)

(貼り付け)が表示されていない場合は、キーボード上部の行を右にスライドすると(貼り付け)が表示されます。

文字入力の設定をする

より使いやすくするために、ソフトウェアキーボードを設定できます。

1 (スタート)→(→)→(設定)→「キーボード」→「入力設定」→「日本語」

2 必要な項目を設定する

自動修正:10キー	10キーキーボードでタップ操作による入力時、同じキーを連続して入力したときに、同じキーが認識されやすくなります。
自動修正:QWERTY	QWERTYキーボードで日本語入力時、子音の後で母音と子音のアルファベット間をタップした際に、母音が認識されやすくなります。
候補バーの高さ	縦向きの場合の変換候補/入力候補の表示行数を設定します。

■入力候補を削除する

キーボード入力の履歴から作成される入力候補を、削除できます。

1 (スタート)→(→)→(設定)→「キーボード」→「入力設定」

2 「候補のリセット」→「リセット」

ヘルプを参照する

Microsoftが提供するWindows® Phone 7の操作方法や、Windows® Phone 7に標準搭載されている各アプリケーションの使用方法を参照できます。

1 (スタート)→(→)→

memo

◎「ヘルプと使い方」は、インターネット経由でMicrosoftが提供する最新の情報が読み込まれます。インターネットに接続できる環境が必要です。

◎Microsoftが提供する情報のため、IS12Tの仕様とは異なる説明が含まれる場合があります。

電話

電話を利用する

電話をかける

◎ フライトモードがオンになっている場合（✈）は、電話をかけることができません。「フライトモードを利用する」（▶P.117）をご参照ください。

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 001（001国際電話サービス：お申し込みは不要です）
- 171（災害用伝言ダイヤル）
- 177（天気予報：市外局番が必要です）
- 117（時報）
- 104（電話番号案内）
- 115（電報の発信）
- 110（警察への緊急通報）★
- 119（消防機関への緊急通報）★
- 118（海上保安本部への緊急通報）★
- 157（お客さまセンター）
- 船舶電話

※ ★は緊急通報番号です。
画面に「緊急通報」が表示されているときは、「緊急通報」をタップして緊急通報をかけられます。ただし日本国内では、PINコード入力画面表示中またはPINコードロック中は、「緊急通報」をタップしても緊急通報をかけられません。
※ 次のNTTサービスはご利用になれません。
コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116（NTT営業案内）

1 →

発着信履歴が表示されています。

2 履歴の中から電話をかける相手の をタップ

3 「通話終了」

◎ 履歴から電話番号または名前をタップすると、Peopleのプロファイル画面が表示されます。ここから発信することもできます。~~ショートメッセージの送信には対応していないため、「SMS」をタップしてメッセージを作成しても送信はできません。~~

◎ 発着信履歴をすべて削除する場合は、発着信履歴画面で ⋯ をタップして表示されたメニューから「すべて削除」を選択して行います。1件のみ削除する場合は、削除する履歴をロングタッチして表示されたメニューから「アイテムの削除」を選択します。

◎ 発着信履歴の電話番号を連絡先として「People」に登録するには、番号をタップし をタップします。連絡先の登録方法について詳しくは、「連絡先を登録する」（▶P.80）をご参照ください。

また、「SMS」をタップして、メッセージを作成して送信できます。

電話番号を入力して電話をかける

1 →

2 →電話番号を入力→「発信」

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

電話番号を間違えたときは ⌫ をタップして入力した番号を消します。

3 「通話終了」

◎ 入力した電話番号を連絡先として「People」に登録する場合は、「保存」をタップします。連絡先の登録方法について詳しくは、「連絡先を登録する」（▶P.80）をご参照ください。

◎ スピーカーで聞くには、🔊をタップします。

◎ 会話せずに聞くだけの場合には、 をタップします。

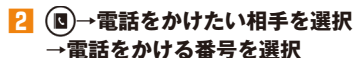
Peopleに登録した番号にかける

発着信履歴の画面から、「People」を呼び出して、電話をかけることができます。「People」（▶P.80）は、電話番号をはじめEメールアドレスやFacebookアカウントの情報などコミュニケーションをとる相手の情報を管理するアプリケーションです。

1 [スタート]→[電話]

2 [People]→電話をかけたい相手を選択→電話をかける番号を選択

3 「通話終了」

memo

◎ 連絡先をスタート画面に設定したり、「People」から相手を選択して電話をかけたりすることもできます。詳しくは、「スタート画面にショートカットを作成する」（▶P.41）、「Peopleを利用して連絡する」（▶P.82）をご参照ください。

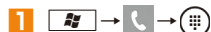
ボイスメールを録音する

相手がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残せます。

1 [スタート]→[電話]→[キーパッド]

2 「1」「6」「1」「2」「相手のau電話番号」を入力→「発信」

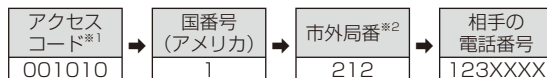
3 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

4 「通話終了」

海外へかける（001国際電話サービス）

IS12Tからは、特別な手続きなしで国際電話がかけられます。

例：IS12Tからアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 [スタート]→[電話]

2 [キーパッド]→アクセスコード、国番号、市外局番、相手の電話番号を入力

※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力されアクセスコード（001010）が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

3 「発信」

memo

◎ 001国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、001国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより001国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
001国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から[フリーコール]0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

電話を受ける

■ロックされている場合

1 上向きにスライドして、「応答」

■ロックされていない場合

1 「応答」

◎ボイスメッセージ／伝言などがある場合は、スタート画面にアイコンで表示されます。「お留守番サービスを利用する（標準サービス）」（▶P.56）をご参照ください。

着信時に行える操作

着信中に以下の操作が行えます。

着信音を消す	＋／－を押します。 電源キーを押します。
着信した電話を留守番電話に送る	「拒否」をタップします。お留守番サービスを停止している場合は転送されません。

通話中に行える操作

通話中に以下の操作が行えます。

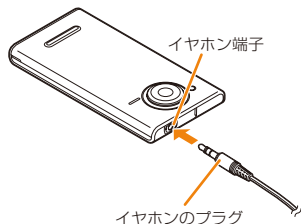
プッシュトーンの操作を行う	⠿をタップします。■をタップすると解除されます。
スピーカーフォンに切り替える	🔊をタップします。※
こちらからの音声を消す	🎤をタップします。※
受話音量を変更する	＋／－を押します。
Bluetooth®対応機器を使用したハンズフリー通話に切り替える	Bluetoothアイコンをタップします。
発信を追加し、三者通話を行う	📞+をタップします。 ▶P.62「三者通話サービスを利用する（オプションサービス）」
割り込み音が聞こえた場合、別の着信に応答／拒否する	「応答」／「拒否」をタップします。 ▶P.61「割込通話サービスを利用する（標準サービス）」

※再度タップすると解除されます。

◎Bluetooth®通信に対応したハンズフリー機器をご使用になる場合は、あらかじめBluetooth®通信に対応したハンズフリー機器とペアリングを行ってください。詳しくは、「Bluetooth®を利用する」（▶P.118）をご参照ください。
◎海外GSMネットワークでご使用中は、上記操作に加えて、❙❙をタップして通話を保留にすることもできます。

電話

イヤホンを使って電話をする

IS12Tのイヤホン端子にイヤホン(別売)を接続すると、通話中の相手の声や、動画や音楽の再生音をイヤホンで聞くことができます。

memo

◎スイッチ付イヤホンマイク(別売)やイヤホンマイク(別売)の種類によっては使用できない場合があります。「WINDOWS PHONE 7対応」と記載されているイヤホンマイクを推奨します。

1 イヤホンのプラグをIS12Tのイヤホン端子に差し込む

自分の電話番号を確認する

1 [スタート] → [電話]

2 ··· →「通話設定」

「電話番号」にお客様の電話番号が表示されます。

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。
有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

サービス		お買い上げ時の状態	参照先
標準サービス(月額使用料:無料)	お留守番サービス※1※2※3	開始	▶P.56
	着信転送サービス※1※2※3	停止	▶P.60
	割込通話サービス※2※3	開始	▶P.61
	発信番号表示サービス	開始	▶P.63
	番号通知リクエストサービス※2※3	停止	▶P.64
オプションサービス(月額使用料:有料)	三者通話サービス※2※3	－	▶P.62
	迷惑電話撃退サービス※3	－	▶P.64

※1 お留守番サービスと着信転送サービスは同時に開始できません。どちらかのサービスを開始しているときにもう一方のサービスを開始すると、開始しているサービスは自動的に停止されます。
※2 番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。
※3 迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

お留守番サービスを利用する（標準サービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるときなど、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。

◎ ご契約以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから遠隔操作ができます。「ネットワークサービスを遠隔操作する」（▶P.65）をご参照ください。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

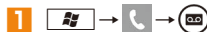
※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
ダイヤル操作	蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。 伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

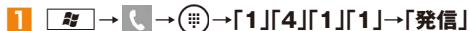
総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 →→

2 **ガイダンスに従って操作**

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話も転送する場合（留守番開始1）

1 →→→「**1**」「**4**」「**1**」「**1**」→「**発信**」

電話

■ 通話中にかかってきた電話は転送しない場合(留守番開始2)

1 [ ]→[📞]→(⊞)→「1」「4」「1」「3」→「発信」

■ お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- 通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 [ ]→[📞]→(⊞)→「1」「4」「1」「0」→「発信」

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音/確認/変更「1414」などの操作をすることができます。

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをお知らせします。
伝言お知らせは、Messagingに通知されます。
伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴/総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

◎「発番情報なし」と「発番情報あり」の保持期間は共に48時間です。
◎それぞれ保持件数は次の通りです。
　発番情報なし:1件
　発番情報あり:20件
◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内(▶P.56)で伝言お知らせ(伝言蓄積通知)を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 →→→「1」「4」「1」「7」→「発信」

2 →ガイダンスに従い操作

「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「2」:伝言を保存
「4」:5秒間巻き戻して聞き直す
「5」:伝言を一時停止(20秒間)
「6」:5秒間早送りして聞く
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「*」:前の伝言を聞く

3 「通話終了」

memo

◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。
◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認/変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 →→→「1」「4」「1」「4」→「発信」

2

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

3 「1」→3分以内で応答メッセージを録音→「#」→「#」→「通話終了」

■名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

3 「2」→10秒以内で名前を録音→「#」→「#」→「通話終了」

■設定されている応答メッセージを確認する場合

3 「3」→応答メッセージを確認→「通話終了」

■蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音する場合

3 「7」→3分以内で応答メッセージを録音→「#」→「#」→「通話終了」

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いてほしい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。「応答メッセージの録音／確認／変更をする」（▶P.58）をご参照ください。

1 →→→「1」「6」「1」「0」→「発信」

2 **ガイダンスを確認後、「通話終了」**

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

蓄積停止を解除する

1 →→→「1」「6」「1」「1」→「発信」

2 **ガイダンスを確認後、「通話終了」**

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 →→→「1」「4」「1」「9」「1」→「発信」
英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 **ガイダンスを確認後、「通話終了」**

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 →→→「1」「4」「1」「9」「0」→「発信」
日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 **ガイダンスを確認後、「通話終了」**

◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の3つから選択できます。

memo

◎IS12Tでは、選択転送（1425）は利用できません。
◎緊急通報電話（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②無応答転送
◎無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。
◎ご契約以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから遠隔操作ができます。「ネットワークサービスを遠隔操作する」（▶P.65）をご参照ください。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS12Tまでの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手のご負担となります。
IS12Tから転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 → → →「1」「4」「2」「2」「転送先電話番号」を入力→「発信」

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、 → → →「1」「4」「2」「1」「2」→「発信」で設定できます。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 → → →「1」「4」「2」「3」「転送先電話番号」を入力→「発信」

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、 → → →「1」「4」「2」「1」「3」→「発信」で設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス（▶P.61）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 → → →「1」「4」「2」「4」「転送先電話番号」を入力→「発信」

電話

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、→→→「1」「4」「2」「1」「4」→「発信」で設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のIS12Tは呼び出されません。

海外の電話へ転送する

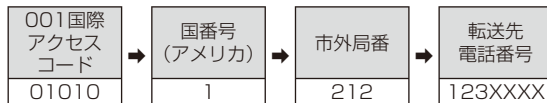
001国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212－123－XXXX」に転送する場合

1 →→→**転送の種類によって、それぞれの番号を入力→「発信」**

「1」「4」「2」「2」：無応答転送
「1」「4」「2」「3」：話中転送
「1」「4」「2」「4」：フル転送

2 **転送先電話番号を入力**

転送先電話番号を001国際アクセスコードから入力します。

3 **ガイダンスに従って操作**

memo

◎001国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 →→→**「1」「4」「2」「0」→「発信」**

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。
◎パケット通信ご利用の際などに、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけてきた相手のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 →→→**「1」「4」「5」「1」→「発信」**

memo

◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合はご利用になれません。

割込通話を受ける

■Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 「応答」

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
ステータスバーに、保留中の相手の電話番号と「タップして割り込み」のメッセージが交互に表示されます。ステータスバーをタップすると、Aさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「通話終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。画面表示が実際の状態とは、異なります。
◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 →→→「1」「4」「5」「2」「通話相手の電話番号」を入力→「発信」

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初に入力してください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

割込通話サービスを停止する

1 →→→「1」「4」「5」「0」→「発信」

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中にしばらくデータのやりとりがない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
◎「最大9.2Mbpsエリア／3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。
◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

■Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 通話中に

2 ／／発着信履歴などからBさんに電話をかける

Aさんとの通話は保留中になります。

3 または画面上部に表示される「タップしてマージ」をタップ

および「タップしてマージ」が表示されない場合は、をタップします。
3人で通話できます。

4 「通話終了」

Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

電話

memo

◎三者通話中の相手が電話を切ったときは、もう1人の相手との通話になります。
◎三者通話では、それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけてきた相手のご負担（保留中でも通話料はかかります）

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の電話番号がお客様のIS12Tのディスプレイに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手に通知するかどうかを指定できます。

◎発信者番号（IS12Tの電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。

■相手の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の電話番号が、IS12Tのディスプレイに表示されます。
相手が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、「非通知」がディスプレイに表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手が電話番号を通知していない場合、相手に電話番号の通知をしてかけ直してほしいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 →→→「1」「4」「8」「1」→「発信」

memo

◎ 電話をかけてきた相手が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手に通話料がかかります。
◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合や、次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- ~~Cメール~~
- その他、相手の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 →→→「1」「4」「8」「0」→「発信」

SMS（Cメール）

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 →→→「1」「4」「4」「2」→「発信」

◎ 受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎ 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合や、次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- ~~Cメール~~

◎ 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎ 受信拒否リストに登録した相手から電話がかかってくると、相手に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手に通話料がかかります。

SMS（Cメール）

◎ 受信拒否リストに登録された相手が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎ 国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除できません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎ 受信拒否リストに登録した相手でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- ~~Cメール~~ SMS（Cメール）
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 → → →「1」「4」「4」「8」→「発信」

memo

◎ 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 → → →「1」「4」「4」「9」→「発信」

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 → → →「1」「3」「1」「通話相手の電話番号」→「発信」

memo

◎ 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ フリーダイヤル、110、119、118などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

ネットワークサービスを遠隔操作する

ご契約以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などからお留守番サービスや着信転送サービスの一部設定を遠隔操作できます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

XXXXには、サービス内容によって次の番号を入力します。

0141	お留守番サービス総合案内
1410	お留守番サービスの停止
1411	お留守番サービスの開始
1413	お留守番サービスの開始（話中転送なし）
1417	伝言／ボイスメール再生
1420	着信転送サービスの停止
1422	着信転送サービス（無応答転送）開始
1423	着信転送サービス（話中転送）開始
1424	着信転送サービス（フル転送）開始

2 ご自分のau電話の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.19）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

5 「通話終了」

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作にはプッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作は行えません。

グローバル機能を設定する

IS12Tは、「グローバルパスポートGSM」「グローバルパスポートCDMA」に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。
ただし、一部の機能についてはご利用になれません。また、海外でのパケット通信のご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくはauホームページをご確認ください。

グローバルパスポートGSM（GLOBAL PASSPORT GSM）について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のIS12Tをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。IS12Tは渡航先に合わせてGSMネットワークとCDMAネットワークのどちらでもご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま世界のGSMネットワークとCDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSM／グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照いただくか、auホームページもしくは、お客さまセンターにてご確認ください。

◎ GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。
◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ ご利用イメージ

国内では、auのネットワークでご利用になれます。

1 [Start] → ⊕ → ⚙ →**「携帯ネットワーク」**

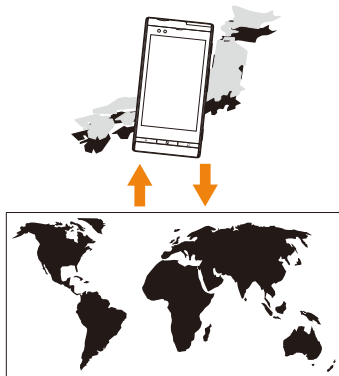
2 **「モード選択」→「CDMA」/「GSM」**

世界のCDMA/GSMネットワークでいつもの番号で話せます。

3 **帰国したら** [Start] → ⊕ → ⚙ →**「携帯ネットワーク」**

4 **「モード選択」→「グローバルモード」**

memo

◎「グローバルモード」に設定すると、auのCDMAネットワークに自動的に接続されます。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSM/グローバルパスポートCDMAをご利用になるときは、「グローバル機能を設定する」(▶P.66)に従い、各種設定を行ってください。

memo

◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。
◎ 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。携帯電話もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。
◎ グローバルパスポートGSM/グローバルパスポートCDMAは、ぷりペイド専用契約の方はご利用になれません。
◎ au ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。「au ICカードの暗証番号(PINコード)を設定する」(▶P.37)をご参照ください。

■ 海外CDMAネットワークを利用する場合

1 [Start] → ⊕ → ⚙ →**「携帯ネットワーク」**

2 **「モード選択」で「CDMA」を選択**

memo

◎ PINコードによる認証を有効(「SIMセキュリティ」をオン)に設定している場合は、電源を入れた際に表示されるPINコード入力画面が表示されません。[Start] → ⊕ → ⚙ →「SIMセキュリティ」をタップし、PINコードを認証してください。

■海外GSMネットワークを利用する場合

1 [Windows]→[→]→[⚙]→「携帯ネットワーク」

2 「モード選択」で「GSM」を選択

ネットワークの検索が行われた場合は検索結果が表示されます。手順4に進みます。

3 「ネットワークの選択」で「タップして選択」を選択

検索結果が表示されます。

4 アクセスしたいネットワークを選択

PRL(ローミングエリア情報)の取得方法を設定する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。CDMAネットワークエリアでIS12Tを使用する場合に設定が必要です。

1 [Windows]→[→]→[⚙]→「ワイヤレス設定」→「PRL設定」→「ダウンロード」

画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。

~~「バージョン情報」~~には、現在取得しているPRLのバージョンが表示されます。

「バージョン」

memo

◎海外渡航時には、最新のPRLを取得してから渡航先でお使いください。

◎古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

電話

メールとインターネット

Eメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントをIS12Tに設定し、パソコンと同じようにIS12Tからメールを送受信できます。

memo

◎メールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
なお、Wi-Fi®接続の場合は、パケット通信料はかかりません。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、メールの送受信に時間がかかる場合があります。
◎デコレーションメール、絵文字メールには対応していません。

メールアカウントを設定する

メールの送受信を行う前に、メールアカウントを設定します。
IS12Tでは、以下のメールアカウントを設定できます。メールアカウントは、事前にパソコンで取得しておく必要があります。

- Windows Liveアカウント
- Google(Gmail)アカウント
- インターネットサービス プロバイダ(ISP)から提供される、POP/IMAPメールアカウント

memo

◎Windows Liveアカウントは、IS12Tをお買い上げ後に設定/サインイン済みの場合は、設定する必要はありません。Windows Live IDを複数持っている場合は、追加設定ができます。
◎上記のアカウント以外に、Microsoft Exchangeアカウントを設定することもできます。Microsoft Exchangeアカウントを設定する場合は、Exchangeサーバーの管理者にご相談ください。

1 →→→「メール&アカウント」→「アカウントの追加」

2 メールアカウントの種類を選択

項目名	アカウントの種類
「Windows Live」	Windows Liveアカウント
「Outlook」	Microsoft Exchangeアカウント
「Google」	Google(Gmail)アカウント
「その他のアカウント」	ISPから提供される、POP/IMAPメールアカウント

3 「メールアドレス」にメールアドレスを入力

4 「パスワード」にWindows Liveパスワードまたはメールパスワードを入力

5 「サインイン」

設定したアカウントのメールが、IS12Tに同期(ダウンロード)されます。

◎サインインできなかった場合は、画面の指示に従い、メールアドレスやパスワードを再入力します。
◎POP/IMAPメールアカウントで、メールアドレスやパスワードを入力してもサインインできない場合は、「要確認」と表示されます。アカウント名をタップし、メールアドレスやパスワードを正しく再設定します。

アカウントを削除する

memo

◎IS12Tをお買い上げ後、最初に設定したWindows Liveアカウントは、IS12Tから削除できません。

1 → → →「メール&アカウント」

2 **削除したいアカウントをロングタッチ**

メニューが表示されます。

3 **「削除」→「削除」**

複数のアカウントを統合する

複数のアカウントを設定している場合、複数のアカウントを1つの受信トレイに統合することで、1回の操作ですべてのメールを確認できます。

1 **→統合先となるメールのアカウント→ ⋯ →「受信トレイ同士をリンク」**

たとえば、Windows Live(Hotmail)に加えて、Google(Gmail)のアカウントを設定していて、Google(Gmail)のメールボックスにHotmailのメールボックスを統合する場合は、Google(Gmail)を統合先のアカウントとして設定します。

2 **「その他の受信トレイ」に表示されている、アカウントを選択**

「この受信トレイ」に選択したアカウントが追加されます。

3 **必要に応じて、「リンクあり受信トレイの名前を変更」→名前を入力→**

を押してスタート画面に戻ると、設定した名前で、統合したアカウントのタイル()が表示されます。

をタップすると、統合したアカウントのメールをすべて確認できます。

統合を解除する

1 **→統合したメールのアカウント→ ⋯ →「リンクあり受信トレイ」**

2 **「この受信トレイ」にある、リンクを解除したいアカウントを選択→「リンク解除」**

Eメールを受信する

お買い上げ時の設定では、メールアカウントの設定を行うとサーバー上のメールとIS12Tの受信トレイは自動的に同期され、メールは定期的にIS12Tにダウンロード(受信)されます。

memo

◎自動同期では、擬似的にメールを自動受信できますが、従量制データ通信をご利用の場合、メールを確認するたびに料金がかかります。

Eメールを手動で同期する

最新のメールをすぐに確認したい場合は、手動で同期します。

1 **→ (Google Mailなど、設定したアカウント名)→**

同期が行われ、受信トレイ内のメールが最新になります。

フォルダー単位で同期したい場合は、⋯ →「フォルダー」→同期するフォルダーを選択→をタップします。

Eメールの同期設定を行う

自動同期を手動同期に変更したり、サーバーと同期する頻度を設定したりします。

1 [スタート]→[メール](Google Mailなど、設定したアカウント名)→ ••• →「設定」→「同期設定」

2 必要な項目を設定

新しいコンテンツのダウンロード	同期する頻度を設定します。
ダウンロードするメールの範囲	同期する期間を設定します。
同期するコンテンツ	設定するアカウントが提供するサービスのうち、どのサービスと同期するか選択します。

3 [✓]

Eメールを開いて返信/転送する

1 [スタート]→[メール](Google Mailなど、設定したアカウント名)→メールを選択

メールの内容が表示されます。

- 返信や転送の必要がなければ、[←]を押して受信トレイに戻ります。
- メールを削除する場合は、[削除]をタップします。
- メールの添付ファイルをダウンロードする場合は、[添付]をタップします。ファイルが複数添付されている場合は、「すべての添付ファイルを表示」をタップしてから、[添付]をタップします。
- 受信トレイの前後のメールを読む場合は、[←]/[→]をタップします。
- 未読と既読を切り替えたり、別のフォルダーに移動したりする場合は、••• をタップして操作します。
- 返信や転送を行う場合は、次の手順に進みます。

2 [返信]→「返信」/「全員へ返信」/「転送」

3 必要に応じて内容を変更→[送信]

memo

◎ 転送時、元のメールに添付されているファイルを削除したい場合は、添付ファイル下に表示されている「削除」をタップし、「はい」をタップします。
◎ メール内にURLや電話番号、メールアドレスが含まれていた場合、タップするとそれぞれのアプリケーションが起動します。

Eメールを作成して送信する

1 [スタート]→[メール](Google Mailなど、設定したアカウント名)→[+]

メール作成画面が表示されます。

2 メールを作成

①	宛先として、連絡先またはメールアドレスを入力します。 • ⊕をタップし、送信したい連絡先をタップします。 • メールアドレスを入力します。過去に送信したことがあるアドレスの場合は、途中まで入力した状態で該当するアドレスが表示されますので、送信したいアドレスをタップします。 • 追加した連絡先またはアドレスを削除したい場合は、対象をタップし、「削除」をタップします。
②	件名を入力します。
③	本文を入力します。
④	写真データを添付する場合にタップします。
⑤	メール作成をやめたり、一時保存して後で送信したりする場合にタップします。 ▶P.73「作成中のEメールを保存しておき、後で送信する」
⑥	CCやBCCを設定したり、メールの重要度を設定したりする場合にタップします。

3

作成したメールが送信されます。

作成中のEメールを保存しておき、後で送信する

1 メール作成画面→ⓧ

2 「保存」

作成中のメールが「下書き」フォルダに保存されます。

3 →（Google Mailなど、設定したアカウント名）→ ･･･ →「フォルダー」→「下書き」

4 一時保存したメールを選択

5 必要に応じて内容を変更→

Eメールを整理する

ここでは、以下の操作を説明します。

- 未読･既読の設定
- フォルダーの移動／削除
- フラグの設定･解除

1 →（Google Mailなど、設定したアカウント名）→フリックして「すべて」を表示

「受信トレイ」が表示されます。

別のフォルダーのメールを操作したい場合は、･･･ →「フォルダー」の順にタップし、操作したいメールが含まれるフォルダーを選択します。

表示されるフォルダーは、状況により異なります。

受信トレイ	別のフォルダーに移動していない受信メールの一覧を確認できます。
下書き	作成中で未送信のメールを確認したり、送信したりできます。 ▶P.73「作成中のEメールを保存しておき、後で送信する」
送信済みアイテム	送信済みのメールを確認できます。
削除済みアイテム	削除したメールを確認できます。このフォルダーから削除すると、完全に削除されます。
フォルダーをすべて表示	表示されていないフォルダーをすべて表示します。表示されたフォルダーから目的のフォルダーをタップします。

memo

◎ 複数のアカウントを統合している場合（▶P.71）は、アカウントごとにフォルダーが表示されます。

未読・既読を変更する

未読のメールは件名がカラーで表示され、既読のメールは件名がグレーで表示されます。

1 未読・既読を切り替えたいメールをロングタッチ

2 「開封済みにする」/「未読にする」

別のフォルダーに移動/削除する

1 移動/削除したいメールをロングタッチ

■ 移動する場合

2 「移動」→移動先のフォルダーを選択

■ 削除する場合

2 「削除」

memo

◎メールを削除すると「削除済みアイテム」に移動されます。完全に削除するときは、「削除済みアイテム」からメールを削除してください。

フラグを設定・解除する（フラグ機能を使用できるアカウントの場合のみ）

1 [スタート]→[メール]（Google Mailなど、設定したアカウント名）→フリックして「すべて」を表示

2 フラグを設定・解除したいメールをロングタッチ

3 「フラグを設定」/「フラグの終了」/「フラグをクリア」

- 「フラグを設定」にすると、受信メールの一覧で、メールの右端に▶が付きます。
- 「フラグの終了」にすると、受信メールの一覧で、メールの右端に✔が付きます。このメールは、「フラグ付き」には表示されません。
- 「フラグをクリア」にすると、フラグ（▶/✔）が消えます。

memo

◎フリックして「フラグ付き」を表示すると、▶が付いたメールだけを確認できます。

複数のメールをまとめて整理する

複数のメールをまとめて操作する場合の手順を説明します。

1 [選択]

メールの左側に、選択用の□が表示されます。

2 同じ操作をしたいメールを選択

□が☑になります。

■ 移動する場合

3 [移動]→移動先のフォルダーを選択

■ 削除する場合

3 [削除]

■ 未読・既読設定／フラグの操作をする場合

3 …

以下のコンテキストメニューから操作します。

開封済みにする	受信メールの件名がグレーで表示されます。
未読にする	受信メールの件名がカラーになります。
フラグを設定	フラグ機能を使用できるアカウントのメールを選択している場合に表示されるメニューです。フラグを設定すると、受信メールの一覧で、メールの右端に▶が付きます。
作業の完了	フラグ機能を使用できるアカウントのメールを選択している場合に表示されるメニューです。作業の完了を選択すると、受信メールの一覧で、メールの右端に✔が付きます。このメールは、「フラグ付き」には表示されません。
フラグをクリア	フラグ機能を使用できるアカウントのメールを選択している場合に表示されるメニューです。フラグをクリアすると、フラグ（▶／✔）が消えます。

Eメールの設定を行う

メール作成時に署名を自動的に挿入したり、常に自分をBCCに設定したりできます。

1 → （Google Mailなど、設定したアカウント名）→ … →「設定」

2 必要な項目を設定

同期設定	メールの同期設定を行います。 ▶P.72「Eメールの同期設定を行う」
スレッド	オンに設定すると、関連する受信メールがスレッド表示され、最初のメール配下に一連で表示されます。同じフォルダ内のメールのみ対象になります。
スレッドで、同期フォルダーすべての返信とメールを表示する	「スレッド」をオンに設定したときに表示されます。チェックを付けると、自分が返信したメールも一連表示の対象とします。
署名	メール作成時、本文に自動的に署名が挿入されるように設定します。オンに設定し、下にあるテキストボックスに署名を入力します。お買い上げ時は、「Windows Phoneから送信」が署名として設定されています。
常に自分をBCCに含める	メール作成時、常に自分をBCCに設定します。

3

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。IS12Tでは、ブラウザとしてInternet Explorer® Mobileを利用できます。

Webページを表示する

◎ Webページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。
◎ 初めてInternet Explorer Mobileを起動したときは、閲覧履歴をMicrosoftへ送信するかどうかの画面が表示されます。

URLを入力してWebページを開く

1 →
Internet Explorer Mobileが起動し、au oneホームページが表示されます。

2 アドレスバーにURLを入力
途中まで入力した状態で該当するURLが表示されます。

3 表示されたURLを選択、またはURLを最後まで入力して→
指定したWebページが表示されます。
Webページの読み込みを中止する場合は、アドレスバーの⊗をタップします。

検索してWebページを開く

1 →
Internet Explorer Mobileが起動し、au oneホームページが表示されます。

2 アドレスバーにキーワードを入力
途中まで入力した状態で該当するキーワードが表示されます。

3 表示されたキーワードを選択、またはキーワードを最後まで入力して→
検索結果が表示されます。

Webページ表示中の画面操作

Webページ表示中は、以下の操作が行えます。

操作内容	方法
Webページを縦表示／横表示にする	IS12Tを縦または横に持ち替えて、縦／横画面を切り替えます。
Webページを拡大／縮小する	• ピンチイン／ピンチアウト：画面を拡大／縮小します。 • ダブルタップ：画面を拡大します。もう一度ダブルタップして元に戻します。
Webページの見たい部分を表示する	画面をスライドして見たい部分を表示します。
Webページを再読み込みする	アドレスバーにあるをタップします。

メールとインターネット

操作内容	方法
リンクを操作する	• リンクをタップ:Webページを開きます。 • リンクをロングタッチ:コンテキストメニューが表示されます。リンク先を新しいタブ(別の画面)で開いたり、リンクをコピーしたりします。 • メールアドレスをタップ:送信元のアカウントを選択する画面を開きます。 • 電話番号のリンクをタップ:電話番号に発信できます。
1つ前のページに戻る	← を押します。

タブを操作する

Internet Explorer Mobileは、複数のWebページを別々の画面(タブ)に表示できます。

1 ⊞→ e → ··· →「タブ」

タブを管理する画面が表示されます。

■ 新規タブ画面を開く場合

2 ⊕

■ 複数のタブ画面を切り替える場合

2 **切り替えたい画面のサムネイル画像を選択**

■ タブ画面を閉じる場合

2 **閉じたい画面のサムネイル画像上にある**⊗

お気に入りと履歴を利用する

Webページをお気に入りに登録する

1 **登録したいWebページを表示→ ··· →「お気に入りに追加」**

2 **必要に応じて登録内容を編集→**✓

お気に入りを利用してWebページを開く

1 **··· →「お気に入り」→登録されているWebページを選択**

登録済みのお気に入りを編集/削除する

1 **··· →「お気に入り」→登録されているWebページをロングタッチ**

メニューが表示されます。

■ 編集する場合

2 **「編集」→登録内容を編集→**✓

■ 削除する場合

2 **「削除」**

履歴を利用してWebページを開く

1 **··· →「閲覧履歴」**

2 **履歴を選択**

履歴を削除する

1 **…→「閲覧履歴」**

2 **🗑→「削除」**

履歴がすべて削除されます。

ブラウザを設定する

1 **⊞→⊕→⚙→フリックして「アプリ」を表示→「Internet Explorer」**

2 **必要な項目を設定**

項目	説明
自分の位置情報へのアクセスを許可	位置情報の読み取りを許可する場合、オンに設定します。
Cookieを許可する	Cookieの保存と読み取りを許可／禁止します。
入力時にBingで候補を表示する	アドレスバー入力時にURLやキーワードの候補を表示／非表示にします。
Internet Explorerによる閲覧履歴の収集を許可	履歴の収集を許可／禁止します。
Webサイトの優先設定	Webページの表示形式を「モバイル用サイト」(IS12Tに適した表示形式)か「デスクトップ用サイト」(パソコンに適した表示形式)のいずれかに設定します。
他のアプリからのリンクを開く場所	他のアプリからリンクを開いたときに、現在表示中のタブ画面にリンク先を読み込むか、新規のタブ画面に読み込むかを設定します。
履歴の削除	Internet Explorer Mobileのキャッシュファイル、履歴、Cookie、およびパスワードを削除します。

◎Cookieの保存と読み取りを禁止すると、一部のWebサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

◎フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのWebページを遮断できます。詳しくは、「有害サイトをブロックする」(▶P.78)をご参照ください。

有害サイトをブロックする

ブラウザでWebページを閲覧する際に有害サイトをブロックするには、以下の設定を行います(フィルタリングサービス)。

1 **⊞→⊕→⚙→「ワイヤレス設定」**

2 **「フィルタリング」をオンに設定**

3 **パスワード(任意)を入力→画面の何もないところをタップ→「OK」**

4 **パスワードを再入力→画面の何もないところをタップ→「OK」**

フィルタリング機能が設定された旨のメッセージが表示されます。

5 **「ok」**

◎フィルタリング機能を有効にしても、Wi-Fi®接続中は有害サイトをブロックできません。

◎フィルタリング設定用パスワードは、任意の4～8文字を入力できます。フィルタリングサービスを無効にする場合もパスワードの入力が必要になります。お忘れにならないようご注意ください。

コミュニケーション

Peopleを利用する

「People」は、電話番号をはじめ、メールアドレスやFacebookアカウントの情報など、コミュニケーションをとる相手の情報を管理するアプリケーションです。
複数のアカウント（FacebookやGoogleなど）の連絡先を設定すると、すべての連絡先が「People」に表示されます。

memo

◎ Facebookからの連絡先は作成したり、削除したりできません。Facebookの友達の連絡先情報を編集することもできません。ただし、情報（電話番号、プロフィール用の別の画像など）を追加して、別のアカウント（Windows Liveなど）として保存できます。

連絡先を登録する

1 →

2 フリックして「すべて」を表示→⊕

3 「新しい連絡先」→登録先アカウントが表示された場合は選択→各項目→情報を入力→保存

複数のアカウントを設定している場合は、「新しい連絡先」をタップすると、保存先を選択する画面が表示されます。
以下の項目を設定できます。

名前	姓、名や会社名、役職などを設定します。
電話	自宅電話や携帯電話、勤務先などの番号を設定します。
メール	パソコンや携帯電話、勤務先などのメールアドレスを設定します。
着信音	電話やメールを受けたときの音を設定します。
その他	住所／誕生日／Webサイトなどの情報を設定します。

4 「写真を追加」→画像を選択→大きさと位置を調整→✓

カメラアイコンをタップして、その場で撮影した写真を設定することもできます。

5 保存

memo

◎ 着信音は、▶をタップして確認できます。

アカウントごとにある連絡先を1つにまとめる

同じ人の連絡先が、ソーシャルネットワークサービス（SNS）やメールアカウント（Windows LiveやFacebookなど）ごとに複数登録されている場合、1つにまとめることができます。
リンクは、ほとんどの場合自動で行われます。自動で行われないものは、手動でリンクできます。

1 →

2 フリックして「すべて」を表示→リンクする連絡先を選択→リンク

すでにリンク済みの連絡先は、「リンクされるプロファイル」に表示されます。

■ リンクしたい連絡先が「おすすめのリンク」に表示されている場合

3 「おすすめのリンク」からリンクする連絡先を選択

「リンクされるプロファイル」に変更され、リンクされます。

■ リンクしたい連絡先が「おすすめのリンク」に表示されていない場合

3 「連絡先を選択」からリンクする連絡先を選択

「リンクされるプロファイル」に変更され、リンクされます。

memo

◎連絡先をリンクしても、連絡先のソースから情報がコピーされたり、削除されたりすること（例えば、Facebookの情報がGoogleアカウントにコピーされるなど）はありません。
◎別々の画像が設定されている複数の連絡先をリンクした場合、連絡先の編集で使用する画像を選択できます。

リンクを解除する

1 →

2 フリックして「すべて」を表示→リンクを解除する連絡先を選択→

3 「リンクされるプロファイル」からリンクを解除する連絡先を選択→「リンク解除」

連絡先を編集する

1 →

2 フリックして「すべて」を表示→編集する連絡先を選択→

編集したい連絡先が、リンクされている連絡先の場合、編集するアカウントをタップします。

3 編集する項目を選択→内容を編集→

画像を変更する場合は、画像をタップして行います。

Peopleに表示する連絡先を設定する

「People」の連絡先には、IS12Tで作成した連絡先以外にFacebookの友達なども自動的に連絡先として表示されます。「People」で表示する連絡先を絞り込んで表示することができます。

1 → → →フリックして「アプリ」を表示→「People」

設定画面が表示されます。

2 「連絡先リストにフィルターを適用」

「People」に表示されている連絡先の作成元が表示されます。

3 表示する連絡先の作成元を選択

表示しない場合は、□にします。

4

連絡先を削除する

IS12T内のFacebookの連絡先は削除できませんが、他のサービスの連絡先は削除できます。削除した場合、IS12Tだけでなくそれが保存されているオンラインサービスからも削除されます。

1 →

2 フリックして「すべて」を表示→削除する連絡先を選択→ ･･･ →「削除」

選択した連絡先がリンクされている連絡先の場合、削除したいプロファイルをタップします。
確認メッセージが表示されます。

3 「削除」

memo

◎一度に削除できるのは1つのアカウントのみです。Facebookのアカウント情報は削除できません。

Peopleを利用して連絡する

1 →

■頭文字にジャンプして検索する

2 フリックして「すべて」を表示→ ア (任意の文字)→連絡したい相手(連絡先)の先頭行の文字を選択

■テキスト入力で検索する

2 →連絡先を入力

途中まで入力した状態でも該当する連絡先が表示されます。

3 連絡先を選択→連絡手段を選択

memo

◎「People」の表示設定は変更できます。設定については、「アプリケーション設定」(▶P.119)をご参照ください。

連絡先をグループにまとめる

連絡先を家族やサークルなどグループ単位でまとめることができます。グループを作成するとグループをスタート画面のタイルに設定したり、メールをグループのメンバーに同時に送信したりすることができます。

1 →

2 フリックして「すべて」を表示→→「新しいグループ」

グループ編集の画面が表示されます。

3 グループ名を入力→「連絡先の追加」

グループメンバーの選択画面が表示されます。

4 メンバーを選択

をタップするとメンバーを検索できます。
「メンバー」に選択したメンバーが表示されます。

5

memo

◎グループからメンバーを削除する場合は、グループを選択→→削除するメンバーを選択→「グループから削除」→「削除」をタップします。
◎グループを削除する場合は、削除するグループを選択→ ··· →「削除」→「削除」をタップします。

SMS(Cメール)

ショートメッセージを受信する

IS12Tでは、ショートメッセージサービス（SMS）と呼ばれるテキストだけのメッセージを受信できます。

memo

◎ショートメッセージサービスとは、携帯電話同士で短いテキストメッセージを送受信できるサービスです。au電話では「Cメール」というサービス名で提供しています。

◎IS12Tでは、au電話からのCメール、および他社携帯からのショートメッセージを受信できます。

◎IS12Tは絵文字に対応していません。

◎IS12Tからショートメッセージの送信はできません。メッセージを作成して送信した場合、「メッセージを送信できません」と表示されます。
・ → → ⊕の順にタップすると、メッセージを作成できますが、送信はできません。
・別のアプリケーションのコンテキストメニューで「共有...」や「Messaging」などを選択すると、メッセージの作成画面が表示され、メッセージを作成できますが、送信はできません。

◎MMS（マルチメディアメッセージサービス）とは、メッセージに画像ファイルや音楽ファイルなどを添付して送受信できるサービスです。auの携帯ネットワークではMMSには対応していません。そのため、ファイルが添付されているメッセージは受信できません。
また、MMSを使用する機能も使用できないため、アプリケーション設定の「Messaging」→「グループメッセージ」の設定は無効になります。

削除いたします。

ショートメッセージの送信に対応いたしました。メッセージの作成・送信については、別紙「ショートメッセージ送信ガイド」をご参照ください。

「SMS(Cメール)」

受信したショートメッセージを確認する

スタート画面の に、ショートメッセージ受信の状況が表示されます。

	受信済みのショートメッセージはありません。
2	受信済みのショートメッセージがあります。数字は、受信済みのショートメッセージ数です。
5	受信済みのショートメッセージが4件以上あります。数字は、受信済みのショートメッセージ数です。

1 をタップするとショートメッセージのスレッドの一覧が表示されます。一覧からスレッドを選択すると、ショートメッセージの内容が表示されます。受信したショートメッセージは の吹き出しで表示されます。

memo

◎ショートメッセージ内に電話番号、メールアドレスが含まれていた場合、タップするとそれぞれのアプリケーションが起動します。

ショートメッセージを削除する

1 →

■特定のショートメッセージを1つのみ削除する場合

2 削除したいショートメッセージが含まれるスレッドを選択→削除するショートメッセージをロングタッチ→「削除」→「削除」

■ショートメッセージのスレッドをまとめて削除する場合

2 削除したいショートメッセージのスレッドを選択→ ･･･ →「スレッドの削除」→「削除」

ソーシャルネットワークサービス(SNS)

IS12Tでは、SNSのアプリケーションとしてFacebookが用意されています。
ここでは、Facebookの使いかたを説明します。

Facebookアカウントを作成する

すでにFacebookアカウントをお持ちの場合は、IS12Tにアカウントを設定すると、メッセージや画像を共有したり、友達の連絡先を取り込んだりできます。
Facebookを初めてご利用になる場合、事前にアカウントをご用意したうえで、IS12Tにそのアカウントを設定します。

1 **→→→「メール&アカウント」→「アカウントの追加」→「Facebook」**

2 **「メールアドレス」→Facebookアカウントのログインに使用しているメールアドレスを入力**

3 **「パスワード」→Facebookのパスワードを入力**

4 **「サインイン」**

Facebookチャットの設定をするかどうかの画面が表示されます。ここでFacebookに接続して設定を行わない場合は、「アプリケーション設定」の「Messaging」から設定できます。(▶P.119)

memo

◎お買い上げ時は、すべてのFacebookの友達が連絡先に表示されるよう設定されています。連絡先一覧に表示されるFacebookの友達が多い場合は、IS12Tで編集して連絡先に登録した人だけを表示させることができます。詳しくは、「Peopleに表示する連絡先を設定する」(▶P.81)をご参照ください。

◎設定できるFacebookアカウントは1つのみです。別のアカウントを設定したい場合は、既存のアカウントを先に削除する必要があります。
アカウントの削除については、「Facebookの情報を削除する」(▶P.86)をご参照ください。

Facebookのパスワードを変更した場合

Facebookのパスワードをパソコンなどで変更した場合は、IS12Tでもパスワードを更新する必要があります。

1 **→→→「メール&アカウント」→「Facebook」**

2 **「パスワード」→新しいパスワードを入力→**

保存

Meを使用する

お買い上げ後にWindows Liveにサインインしたり、Facebookアカウントを設定したりすると、スタート画面に「Me」が表示されます。Meからは、SNSへのメッセージ投稿や、新着情報の確認などができます。

1 **→「Me」**

2 **左右にフリックし、「プロファイル」/「通知」/「新着情報」の各画面を切り替え**

各画面では、以下の操作ができます。

・プロファイル画面

写真の追加(画像枠)	Facebookでプロフィール写真を登録していると、その写真が表示されています。プロフィール写真を登録していない場合は、「写真の追加」をタップして写真を設定できます。写真の変更については、「Meのプロフィール画像を設定する」(▶P.85)をご参照ください。
メッセージの投稿	SNSにメッセージを投稿します。(▶P.85)

チェックイン	現在の位置情報を利用し、自分の居場所を投稿したり、お店が提供するクーポンを利用したりします。
チャットの状態を設定	チャット時の自分の状態を設定します。

- 通知画面
  SNSからの通知を確認します。
- 新着情報画面
  最新の投稿を参照します。(▶P.85)

Meのプロフィール画像を設定する

FacebookアカウントまたはWindows LiveアカウントをIS12Tに設定すると、SNSのプロフィールに登録されている画像のうちの1つが、IS12Tのプロフィール画像になります。

1 **→「Me」→画像枠(「写真の追加」またはプロフィール画像)→画像枠(「写真の追加」またはプロフィール画像)**

2 **画像を選択→大きさと位置を調整→**
をタップして、その場で撮影した写真を設定することもできます。
SNSのアカウントを複数持っていて特定のアカウントの画像のみ更新したい場合は、アカウントを選択します。

3

投稿する

IS12Tから、メッセージや画像を投稿する場合、投稿先をFacebookウォールにするか、Windows Liveにするか、または両方にするかを選択できます。

1 **→「Me」**
Me画面が表示されます。

2 **「メッセージの投稿」**

3 **メッセージを入力**
SNSのアカウントを複数持っている場合は、投稿するアカウントを選択します。

4

memo

◎最新の自分の投稿や画像を見る場合は、Me画面でプロフィール画像の右位置をタップします。

Facebookの情報を見る

Facebookアカウントを設定すると、自分のFacebookの情報を利用できるようになります。

1 →

■最近の投稿を見る場合

2 **フリックして「新着情報」を表示**

■特定の相手の情報を見る場合

2 **フリックして「すべて」を表示→情報を見たい相手(アカウント)を選択**

3 **フリックして「新着情報」を表示**

memo

◎最新の表示にする場合は、画面の何もない部分をロングタッチし、表示されたメニューから「最新の情報に更新」を選択します。

友達の投稿にコメントする

友達の投稿を読んだり、コメントを残したりできます。コメントの吹き出し内に表示されている数字は、何人がコメントしたかを表します。

1 →→フリックして「新着情報」を表示

友達からの投稿を確認します。

2 →コメント入力欄を選択→コメントを入力

3

◎気に入ったコメントに「いいね！」を付ける場合は、→をタップします。「いいね！」を取り消す場合は、をタップします。

Facebookの情報を削除する

IS12TからFacebookの情報をすべて削除します。

1 →→→「メール&アカウント」

2 「Facebook」をロングタッチ→「削除」→「削除」

エンターテインメント

カメラ

カメラをご利用になる前に

撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面にしま模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、IS12Tが動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時にIS12Tが動くと、撮影画像がブレる原因になります。
- 動画を録画する場合は、マイク（送話口）を指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイク（送話口）の音声の品質が悪くなる場合があります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 充電中に動画撮影を行ったり、長時間撮影を行ったりすると、IS12Tが高温状態になります。この場合、警告音が鳴り、動画撮影が停止されてスタート画面に戻ります。カメラ機能は使用できませんのでご注意ください。
- 直射日光を受けるような場所に置いておいたり、動画操作などの長時間使用により、IS12Tが高温状態になっている場合は、カメラは起動できません。また、カメラ起動中に高温状態になった場合は警告音が鳴って終了します。カメラ機能を使用する場合はご注意ください。
- サイレントモード設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、高温状態による警告音は鳴りますのでご注意ください。
- 接写するときは、約8.5cmまで被写体に近付いて、撮影できます。
- 撮影した動画のサイズが4GBを超えると、Zune PC ソフトウェアによるパソコンへの取り込みができません。撮影した動画をパソコンへ取り込みたい場合は、各モードにおける撮影時間は、以下の時間を超えないよう、ご注意ください。
  4:3 QVGA（320×240）:約8時間
  4:3 VGA（640×480）:約2.8時間
  16:9 HD（1280×720）:約1時間

著作権・肖像権について

IS12Tを利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラの設定をする

必要に応じて、カメラの使用に関する設定を行います。

1 →→→**フリックして「アプリ」を表示→「Pictures + Camera」**

以下の項目を設定できます。

画面をタップして撮影	オンに設定すると、画面をタップして撮影できます。
カメラボタンの長押しで電話を起動する	オンに設定すると、を長押ししてスリープモードを解除し、カメラを起動できます。
ロックしてある電話で、カメラの誤起動を防ぐ	オンに設定すると、カバンやポケットに入れているときにが押されても、カメラが誤って起動しないように設定されます。
撮影した写真に位置情報を含める	撮影した写真に位置情報を含めるかどうかを設定します。
アップロードする写真に位置情報を含める	アップロードする写真に位置情報を含めるかどうかを設定します。
SkyDriveに自動アップロード	撮影した写真をSkyDrive®に自動でアップロードするかどうかを設定します。
クイックシェアアカウント	優先するアップロード先のアカウントを設定します。
カメラのリセット	撮影オプション(▶P.91)の設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

memo

◎「SkyDriveに自動アップロード」をオンに設定すると、万一の場合のバックアップ先として、SkyDriveをご利用いただけます。

カメラを起動する

以下のいずれかの操作で、カメラを起動します。

- を押します。
- →→の順にタップします。

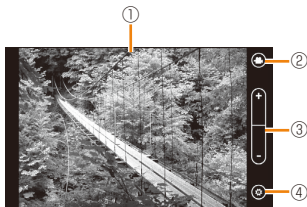
memo

◎初めてカメラを起動したとき、カメラが位置情報を使用するかどうかのメッセージが表示された場合は、静止画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
「許可」をタップすると、位置情報を付加します。
この設定は、後から変更することもできます。変更する方法については、「カメラの設定をする」(▶P.89)をご参照ください。

◎スリープモード中でも、を長押ししてカメラを起動できます。この設定は、後から変更することもできます。変更する方法については、「カメラの設定をする」(▶P.89)をご参照ください。

◎パスワードが設定されている状態で、スリープモードやロック画面表示中にカメラ起動した場合は、撮影画面のをタップし、パスワード入力してロックを解除できます。

撮影画面の見かた

カメラを起動すると、撮影画面が表示されます。

①	ビューファインダー	撮影時の構図を確認します。 フォーカスを合わせるには、を半押しします。中心にフォーカス枠が表示され、フォーカスが確定すると音が鳴ります。撮影する場合はそのままを押します。 「画面をタップして撮影」がオンになっている場合は、ビューファインダーの中心以外にフォーカスを合わせることができます。フォーカスを合わせたい位置をタップすると、フォーカス枠が表示され、フォーカスが確定すると音が鳴り、そのまま自動的に撮影されます。 「画面をタップして撮影」については、「カメラの設定をする」(▶P.89)をご参照ください。
②	／	静止画()／動画()の撮影を切り替えます。
③		撮影時のズーム倍率を設定します。
④		撮影時のオプション設定をします。 ▶P.91「撮影時のオプションを設定する」

静止画を撮影する

1 撮影画面でが表示されていることを確認

2 撮影オプションを変更する場合、

オプションの設定については、「撮影時のオプションを設定する」(▶P.91)をご参照ください。

3 で倍率を設定

4 で撮影

を半押ししてフォーカスを合わせてから、シャッター音が鳴るまで押します。
撮影した静止画は、自動的にカメラロールに保存されます。

memo

◎「画面をタップして撮影」がオンになっている場合は、フォーカスを合わせたい位置をタップすると、自動的にフォーカスを合わせて撮影します。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.89)をご参照ください。

◎をタップすると、撮影した静止画を見ることができます。… をタップすると、以下のメニューが表示されます。

共有…	共有可能なアカウントが表示されます。 ただし、「Messaging」は使用できません。
Facebookで共有／SkyDriveで共有	SkyDriveやFacebookにアップロードします。タグ付けして自分や「People」に入っている相手と関連付けたり、説明を追加したりできます。 「People」に表示されている相手でタグ付けすると、「pictures」に、相手ごとの個人アルバムが作成されます。 「Picturesハブの機能」(▶P.93)をご参照ください。
壁紙に設定	ロック画面の壁紙として使用します。必要に応じて表示範囲を設定して、をタップします。
削除	削除します。

お気に入りに追加	「ピクチャ」の「お気に入り」に追加します。
自動修正	写真が自動修正されます。 をタップすると、修正した写真を保存します。 をタップすると、修正を元に戻します。 をタップすると、終了します。

動画を撮影する

1 撮影画面→

に切り替わり、動画撮影画面になります。

2 撮影オプションを変更する場合、

オプションの設定については、「撮影時のオプションを設定する」（▶P.91）をご参照ください。

3 で倍率を設定

4 で撮影開始

5 で撮影終了

撮影した動画は、自動的にカメラロールに保存されます。

memo

◎ をタップすると、撮影した動画を見ることができます。… をタップすると、以下のメニューが表示されます。

共有…	共有可能なアカウントが表示されます。
Facebookで共有／SkyDriveで共有	SkyDriveやFacebookにアップロードします。その際、説明を追加できます。
削除	削除します。

撮影時のオプションを設定する

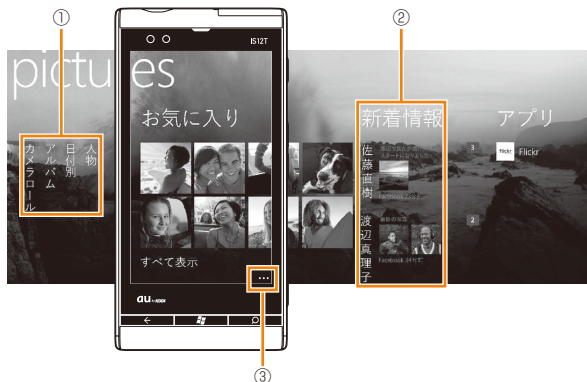
静止画／動画の撮影オプションを設定できます。
各項目の設定後は、で設定項目一覧に戻ります。
次にカメラを起動した際にも設定を利用する場合は、「設定を保存する」を選択します。一時的に設定を変更して撮影する場合は、で撮影画面に戻ります。

オプションの項目	説明
設定を保存する	設定を保存します。 次にカメラを起動した際も、同じ設定を利用できます。
既定の設定を復元する	お買い上げ時の設定に戻します。
シーン	撮影シーンに合わせて設定できます。 **静止画** 「オート」（初期値）／「標準」／「夜景」／「風景」／「人物」／「逆光」／「スポーツ」／「文字」／「高感度」から選択できます。 「オート」を選択した場合、撮影シーンに応じて、「標準」／「夜景」／「風景」／「AF：接写」が適用されます。 **動画** 「標準」（初期値）／「風景」／「逆光」／「スポーツ」から選択できます。

オプションの項目	説明
解像度	撮影サイズを設定できます。 **静止画** 以下の設定から選択できます。 • 4:3 VGA(640×480) • 16:9 フルHD(1920×1080) • 4:3 3M(2048×1536) • 4:3 5M(2592×1944) • 4:3 8M(3264×2448) • 4:3 13M(4128×3096)(初期値) **動画** 以下の設定から選択できます。 • 4:3 QVGA(320×240) • 4:3 VGA(640×480) • 16:9 HD(1280×720)(初期値)
オートフォーカス	オートフォーカス機能を使用する撮影シーンを、以下の設定から選択できます。 •「標準」(初期値):通常撮影の場合にオートフォーカス機能を使用します。 •「接写」:接写の場合にオートフォーカス機能を使用します。
自動縦横判定(静止画のみ)	保存時に静止画の縦横を自動で切り替えるかどうかを、「ON」(初期値)/「OFF」から選択できます。
手ぶれ補正	手ぶれ補正を行うかどうかを、「ON」(初期値)/「OFF」から選択できます。
画質(静止画のみ)	画質を、「エコノミー」/「ノーマル」(初期値)/「ファイン」から選択できます。
エフェクト	撮影画像の色効果を、「OFF」(初期値)/「セピア」/「モノクロ」から選択できます。

オプションの項目	説明
フリッカー調整	蛍光灯の近くなどで撮影する場合、現在の地域の周波数を設定して、画面のちらつき(フリッカー)を軽減することができます。「オート」(初期値)/「50Hz(東日本)」/「60Hz(西日本)」から選択できます。 「オート」は、50Hzか60Hzかを自動判別します。
ホワイトバランス	撮影時の、場所の明るさなどの違いに応じて、ホワイトバランスを設定できます。「オート」(初期値)/「太陽光」/「くもり」/「蛍光灯」/「電球」から選択できます。
フラッシュ (/ /) ライト (/)	ライトとフラッシュの動作を設定できます。 **静止画** 以下の設定から選択できます。 • :ライト/フラッシュ自動判定(初期値) • :ライト/フラッシュOFF • :ライト/フラッシュON **動画** 以下の設定から選択できます。 • :ライトON • :ライトOFF(初期値)

Picturesハブの機能

静止画や動画は、スタート画面で「Pictures」をタップすると表示される「Pictures」から操作できます。

スタート画面で「Pictures」をタップすると表示される「Pictures」の画面構成は以下の通りです。

①	画像データのカテゴリが表示されます。 IS12Tに保存されている画像や、FacebookやSkyDriveで共有している画像は、自動的に「アルバム」「カメラロール」「日付別」「人物」などに分類されます。表示されるカテゴリは、状態により異なります。 ・「カメラロール」には、IS12Tで撮影した画像が表示されます。 ・「人物」には、「People」に表示されている連絡先ごとに、関連付けられた画像が表示されます。 画像を再生したり、操作したりする方法については、「静止画／動画を再生する」(▶P.93)をご参照ください。 カテゴリを操作する方法については、「カテゴリを操作する」(▶P.94)をご参照ください。
②	新着情報に、友達や家族がFacebookやSkyDriveにアップロードした最新の写真が表示されます。 新着情報に表示されている画像のサムネイルを選択すると拡大表示されます。… をタップすると、電話に保存、壁紙として使用、タグの追加または表示などの操作ができます。
③	「pictures」で … をタップすると、以下の操作ができます。 ・「背景の選択」をタップすると、「pictures」の背景に表示される画像を選択できます。 ・「背景をシャッフル」をタップすると、「お気に入り」に登録した画像が「pictures」の背景にランダムに表示されます。 ・「新着情報」で「更新」をタップすると、FacebookやSkyDriveと同期され、新しい画像がある場合に表示されます。 ・「設定」をタップすると、「Pictures+Camera」の設定が行えます。詳しくは、「カメラの設定をする」(▶P.89)をご参照ください。

静止画／動画を再生する

1 [スタート]→「Pictures」

「pictures」が表示されます。

2 **再生したい画像が含まれるカテゴリ→再生したい静止画または動画のサムネイルを選択**

拡大表示されます。左右にフリックすると、前後の画像に切り替えられます。

動画の場合は、拡大画面の▶をタップすると、再生が開始されます。再生中の操作については、「再生中の操作」(▶P.96)をご参照ください。 … をタップするとメニューが表示されます。共有したり、削除したりできます。

静止画の場合は、拡大画面上で以下の操作ができます。ただし、選択した画像によっては、行えない操作もあります。

操作内容	操作方法
拡大／縮小する	• ピンチイン／ピンチアウトで操作します。 • ダブルタップで画面を拡大します。もう一度ダブルタップして元に戻します。
静止画を縦長表示／横長表示にする	IS12Tを縦または横に持ち替えて、縦／横画面を切り替えます。
共有…／SkyDriveで共有／壁紙に設定／削除／お気に入りに追加／お気に入りから削除／自動修正など	… をタップして、メニューから操作します。

memo

◎大切な画像は「SkyDriveで共有」をタップして、SkyDriveにアップロードして、ネットワーク上にバックアップすることをおすすめします。

◎ [⊞]→「Pictures」→「カメラロール」をタップして表示されるカメラロール画面で、… →「自動アップロードをオンにする」の順にタップすると、撮影した画像を自動的にSkyDriveにアップロードするように設定できます。

カテゴリを操作する

撮影した画像や、Facebook／SkyDriveで共有している画像は、自動的に「Pictures」でカテゴリごとに分類されます。

カメラロールを操作する

1 pictures画面のカテゴリから「アルバム」

2 「カメラロール」をロングタッチ

- 「スタート画面に追加」をタップすると、カメラロールへのショートカットをスタート画面に追加できます。
- 「コンテンツの削除」をタップすると、「カメラロール」に保存されている画像をすべて削除できます。

人物に表示する相手を設定する

1 pictures画面のカテゴリから「人物」

SkyDriveやFacebookにアップロードする際に「タグの追加」で「自分」を設定していたり、SkyDrive上やFacebook上で「自分」でタグ付けしたりした画像がある場合は、「自分の写真」が表示されます。

2 「連絡先を選択」→「人物」に表示させたい相手の連絡先

選択した相手が「pictures」の「人物」に表示されます。
再び表示させないようにする場合は、表示をやめる相手のタイルをロングタッチし、「表示しない」をタップします。

日付を選択して表示する

1 pictures画面のカテゴリから「日付別」

年月別に画像のサムネイルがまとまって表示されます。

2 年月が表示されている部分をタップ

年月の一覧が表示されます。

3 表示したい年月をタップ

選択した年月の写真のサムネイルが表示されます。

アルバムを削除する

IS12Tからアルバムを削除します。IS12Tからアルバムを削除しても、パソコンからは削除されません。

1 **→「Pictures」→「アルバム」**

2 **削除するアルバムをロングタッチ→「削除」→「削除」**

IS12Tからアルバムが削除されます。

保存された画像をパソコンと同期する

Zune PC ソフトウェアを使ってIS12Tとパソコンを同期すると、IS12Tの「カメラロール」および「保存した写真」に保存されている画像を、パソコンの「ピクチャ ライブラリ」(Windows 7)、「ピクチャ」(Windows Vista)、または「マイ ピクチャ」(Windows XP)フォルダ配下に格納できます。
Zune PC ソフトウェアのインストールについては、「Zune PC ソフトウェアのインストール」(▶P.129)をご参照ください。

1 **microUSB-USB変換ケーブルを使用して、IS12Tをパソコンに接続**

パソコンでZune PC ソフトウェアが起動します。

2 **ピクチャ内のアルバムから、パソコンで保存する画像を選択して右クリック**

3 **「コレクションにコピー」を選択**

memo

◎アルバムを作成して画像を整理する場合は、Zune PC ソフトウェアを使って、パソコン側で操作します。パソコンの「ピクチャ ライブラリ」(Windows 7)、「ピクチャ」(Windows Vista)、または「マイ ピクチャ」(Windows XP)フォルダ配下にフォルダを作成すると、Zune PC ソフトウェアのアルバムとして表示されます。
◎電池残量が少ないときに、microUSB-USB変換ケーブルを使用してパソコンに接続した場合は、ディスプレイに電池マークが表示され、IS12Tの操作は行えません。

音楽／ビデオを楽しむ

IS12Tでは、音楽、ビデオ(撮影動画、テレビ、映画)、FMラジオ、ポッドキャストを再生できます。Webページを閲覧しながら、またはメールをチェックしながら音楽を聴いたり、移動中にポッドキャストや映画を楽しんだりすることができます。

■再生可能なファイル形式

●音楽ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
AAC	m4a
MP3	mp3
Windows Media Audio	wma

●動画ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
H.264	mp4、m4v
MPEG-4 Part2	mp4、m4v
Windows Media Video (VC-1)	wmv

音楽／ビデオを視聴する

1 [スタート] → [zune]

2 **フリックして「zune」を表示→「音楽」／「ビデオ」／「ポッドキャスト」**

3 **再生したいアイテムを検索**

フリックして、アーティスト、アルバム、楽曲などのカテゴリを選択します。

4 **再生したいアイテムを選択**

◎すべての音楽をランダムに再生する場合は、フリックして「zune」を表示し、(♪)をタップします。

再生中の操作

再生中は、以下の操作が行えます。

(⏮)	**音楽**：曲の先頭に戻るか、または1つ前の曲へスキップします。 **ビデオ／ポッドキャスト**：7秒前に戻ります。 **共通**：ロングタッチすると、再生中のアイテムを巻き戻します。
(⏭)	**音楽**：次の曲へスキップします。 **ビデオ／ポッドキャスト**：30秒後にスキップします。 **共通**：ロングタッチすると、再生中のアイテムを早送りします。
(⏸)／(▶)	一時停止／再開します。
／	**ビデオ**：表示を拡大／縮小します。
	音楽：アルバム内の曲を繰り返し再生します。
	音楽：アルバム内の曲をランダムに再生します。
／	ボタンを押して、音量を調節します。

パソコンのデータを取り込む

パソコンと同期することで、パソコンでダウンロードした音楽、ビデオ、ポッドキャストなどのファイルをIS12Tに取り込むことができます。同期には、Zune PC ソフトウェアが必要です。Zune PC ソフトウェアのインストールについては、「Zune PC ソフトウェアのインストール」(▶P.129)をご参照ください。

1 **microUSB-USB変換ケーブルを使用して、IS12Tをパソコンに接続**

パソコンでZune PC ソフトウェアが起動します。

2 **パソコンで「コレクション」をクリック**

3 **以下のいずれかを操作して、同期するアイテムを検索**

- 音楽、ビデオ、ポッドキャストなどのカテゴリをクリックし、IS12Tに同期するアイテムを検索します。
- 検索ボックスに曲名やアーティスト名などを入力します。検索結果から、希望のアイテムをクリックします。

4 **同期するアイテムを画面左下にある電話のアイコン( )にドラッグ**

memo

◎電池残量が少ないときに、microUSB-USB変換ケーブルを使用してパソコンに接続した場合は、ディスプレイに電池マークが表示され、IS12Tの操作は行えません。

音楽／ビデオを削除する

IS12Tに取り込んだ音楽、ビデオ、ポッドキャストなどを削除します。

1 [Windows]→[zune]

2 フリックして「zune」を表示→「音楽」／「ビデオ」／「ポッドキャスト」

3 削除するアイテムをロングタッチ→「削除」→「はい」

FMラジオを聴く

IS12TにはFMラジオが内蔵されています。別売りのイヤホンと接続して、FMラジオを聴くことができます。

1 IS12Tにイヤホンを接続

- イヤホンはアンテナを兼ねています。
- ワイヤレスヘッドフォン（Bluetooth®）は使用できません。

2 [Windows]→[zune]

3 フリックして「zune」を表示→「ラジオ」

■ 目盛りから選局

4 目盛りを左右にスライドして選局

フリックすると、電波の弱い局はスキップされ、電波の強い局にジャンプします。

■ お気に入りから選局

4 ★→選局

memo

◎ FMラジオを聴く場合は、必ずイヤホンを接続してください。イヤホンが接続されていない場合は、メッセージが表示されFMラジオを聴くことができません。

◎ お気に入りとして局を追加すると、簡単に選局できます。
- お気に入りとして追加する場合は、★をタップします。
- お気に入りから削除する場合は、★をタップします。

◎ 周波数の表示部分をロングタッチすると、以下の操作ができます。
- 「スタート画面に追加」をタップすると、今聴いている局へのショートカットを、スタート画面に追加できます。
- 「設定」をタップすると、地域を設定できます。
- 「スピーカーに切り替え」／「ヘッドフォンに切り替え」をタップすると、スピーカーとイヤホンを切り替えます。
  イヤホンはアンテナを兼ねているので、スピーカーに切り替えた場合でも、接続している必要があります。

ゲーム

ダウンロードしたゲームで遊んだり、Xbox LIVEと接続してオンラインゲームを楽しんだりすることができます。

1 [Windows]→[XBOX LIVE]

ゲームメニューが表示されます。

2 希望のゲームを選択

Xbox LIVEでオンラインゲームをする

Xbox LIVEでオンラインゲームをやりたい場合は、Xbox LIVEにサインインします。
Xbox LIVEにサインインするには、XboxアカウントとプレイヤーIDが必要です。

1 →

2 フリックして「Xbox LIVE」を表示

3 「Xbox LIVEに加入またはサインイン」
「アカウントの設定」画面が表示されます。

4 「生年月日」をタップ

5 生年月日を指定し、

6 「承諾」
ゲーマータグが割り当てられ、プレイヤーIDが表示されます。

7 「完了」

8 ゲームを選択

◎ 未成年の年齢で登録しようとした場合は、エラーが表示されてアカウントは登録できません。また、アカウントの登録内容の変更もできません。
◎ Marketplaceのアカウント登録を未成年の年齢で登録しようとした場合も、Xbox Live内のゲームにはアクセスできません。

アプリケーション

アラーム

指定した時刻にアラームを鳴らすことができます。

1 [ ]→➔→⏰→⊕

2 **必要な項目を設定**

時刻	アラームで通知する時刻を設定します。
繰り返し	アラームを繰り返す曜日を選択します。
アラーム音	通知するときのアラーム音を設定します。▶をタップすると、アラーム音を確認できます。
名前	アラームの名前を設定します。

3 💾

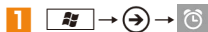
■アラームを設定した時刻になると

アラーム設定時刻になるとアラーム通知画面が表示され、設定したアラーム音やバイブレーションでお知らせします。

- アラーム通知画面で「閉じる」をタップすると、アラームが止まります。
- アラーム通知画面で「再通知」をタップすると、一定時間後に再びアラームが鳴ります。

アラームの設定を変更する

一度作成したアラームを編集して再度利用できます。

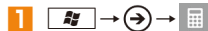
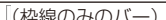
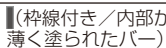
1 [ ]→➔→⏰

設定済みのアラームが表示されます。

2 **変更するアラームを選択→必要に応じて編集→💾**

◎「繰り返し」が設定されていない終了済のアラームはオフになっています。再度利用する場合は、タップしてオンに変更してください。
◎アラームを削除したい場合は、アラームをタップして、🗑をタップします。

電卓

電卓を利用して、四則演算（+、−、×、÷）やパーセント計算などができます。

1 [ ]→➔→🖩

電卓が表示されます。

カレンダー

カレンダーに、日々の予定を登録して、管理できます。予定を登録するときにメンバーに招待メールを送信したり、招待された予定に回答したりすることもできます。

カレンダーを表示する

1 **[ ]→「Calendar」**

カレンダーが表示されます。主な操作とアイコンを説明します。ビューによって、表示されるアイコンは異なります。

左右フリック	「日」/「予定一覧」/「to do」を切り替えます。
▦	カレンダーを月表示に切り替えます。表示する日を切り替えるには、月表示に切り替えて表示したい日を選択します。

今日	今日のタイムスケジュールまたは予定一覧を表示します。
⊕	新しい予定やto doを作成します。 ▶P.101「予定を登録する」 ▶P.103「To Doを登録する」
(枠線のみのバー)	予定の「状態」を「空き時間」に設定している予定や、国民の休日です。または、Facebookから招待された予定に回答していない予定です。
(枠線付き/内部が斜線のバー)	予定の「状態」を「仮の予定」に設定している予定です。または、Facebookから招待された予定に「未定」で回答した予定です。
(枠線なしのバー)	予定の「状態」を「取り込み中」に設定している予定です。または、Facebookから招待された予定に「参加」で回答した予定です。
(枠線付き/内部が薄く塗られたバー)	予定の「状態」を「外出中」に設定している予定です。
	予定が重なっています。

アカウントごとの表示を設定する

お買い上げ時は、IS12Tに設定した、すべてのアカウントの情報を色分けされてカレンダーに表示されるように設定されています。
アカウントごとの表示/非表示を切り替えたり、色を変更したりできます。

1 →「Calendar」

2 … →「設定」

3 設定を変更したいアカウントで以下のように操作

- 非表示にする場合は、オフにします。
- 表示にする場合は、オンにします。
- 色を変更する場合は、現在設定されている色の部分をタップして、新しい色を選択します。

4 カレンダーに表示させる内容を以下から選択

- To Doを表示する場合、「To Doをカレンダーに表示」をチェックします。
- 返信したFacebookイベントを表示する場合は、「返信済みのFacebookイベントのみを表示」をチェックします。

予定を登録する

1 →「Calendar」→⊕

2 予定の情報を入力

- 複数のアカウントを設定している場合は、「カレンダー」の項目が表示されます。
- 「時間」では、予定の開始時刻からの長さを指定します。「ユーザー定義」を選択すると、開始時刻と終了時刻をより細かく指定できます。

アプリケーション

3 さらに詳細を設定する場合は、「詳細」をタップして設定項目を表示

- 「アラーム」を設定しておくと、予定の開始時刻、または設定した時間前に、予定がポップアップで表示されます。
  「アラーム」で同時に複数の予定が通知された場合は、ポップアップをフリックすると、すべて確認できます。
  システム設定の「着信音＆サウンド」で「アラーム」にチェックを入れると、アラームで通知されます。
- 定期的に繰り返す予定は、「パターン」で指定できます。
- 「状態」では、その予定が仮のものか決定済みのものかなどを設定できます。設定内容により、「日」または「予定一覧」に表示されるアイコンが変わります。
- 他の人に招待メールを送信する場合は、「出席者の追加」をタップして、「必須出席者」と「任意出席者」を選択し、をタップします。

4 設定が終了したら、

出席者を設定した場合は、メールを送信して予定を保存します。

◎予定を変更したり、削除したりするには、「日」または「予定一覧」で予定をタップして以下の操作を行います。
- 予定を変更する場合は、をタップして編集し、をタップして保存します。
- 予定を削除する場合は、→「削除」の順にタップします。

■アラームを設定した時刻になると

アラーム設定時刻になるとディスプレイに予定が表示されます。

- 「閉じる」をタップすると、アラームが終了します。
- 「再通知までの時間」の時間を設定し「再通知」をタップすると、設定した時間後に、再び予定が表示されます。

招待された予定に回答する／招待した予定を変更する

1 →「Calendar」

2 「日」または「予定一覧」で、招待された予定／招待した予定を選択

3 「詳細」で以下のように操作

- 他の参加者を確認する場合は、フリックして「出席者」／「参加者」を表示します。
- Facebookのイベントに招待された場合は、をタップして、「参加」／「未定」／「不参加」を選択して回答します。
- 参加者にメールを送信する場合は、をタップして、「返信」／「全員へ返信」を選択し、メール作成画面で編集後、をタップします。
- が表示されている場合は、をタップして詳細を変更できます。確認画面で「ok」をタップすると、変更した内容を参加者にメールで送信して、変更を保存します。
- 遅刻を通知する場合は、をタップします。必要に応じて本文を編集し、をタップします。

memo

◎招待された予定は、メールで通知されます。
◎Windows Liveアカウントに招待された予定は、招待メールに「承諾」／「仮の予定」で回答すると、カレンダーに表示されます。招待メールに回答すると、招待メールは削除されます。

To Doを登録する

1 →「Calendar」→フリックして「to do」を表示→⊕

2 **To Doの情報を入力**

3 💾

To Doを完了／削除する

1 →「Calendar」→フリックして「to do」を表示

2 ☰

To Doの左側に、選択用の□が表示されます。

3 **終了または削除したいTo Doを選択**

■ 削除する場合

4 🗑

■ 完了する場合

4 ☑

memo

◎ … をタップすると、表示を重要度順にしたり、完了したTo Doを表示したりできます。

Office Mobile

Office Mobileを利用して、Microsoft® Officeのドキュメントを編集したり、参照したりできます。Office Mobileには、以下のアプリケーションがあります。

- Word Mobile
  Word文書の作成／閲覧／編集が行えます。
- Excel® Mobile
  Excelファイルの作成／閲覧／編集が行えます。
- PowerPoint® Mobile
  スライドショーの閲覧／スライドの編集が行えます。
- OneNote® Mobile
  簡単なメモを作成できます。画像や音声を含んだメモを作成することもできます。
- SharePoint® Workspace Mobile
  SharePointサイトで、オフィスドキュメントを共有できます。また、共有したドキュメントの閲覧／編集が行えます。

memo

◎ Office Mobileを使用して、パソコン用のMicrosoft Officeで作成したファイルを開くことができます。ただし、Office Mobileは、Microsoft Officeの一部の機能が未サポートです。Office Mobileで未サポートのコンテンツは、IS12Tでは表示されません。

◎ Office Mobileについて詳しくは、Microsoft社のサイトをご参照ください。

◎ IS12Tで作成したOfficeドキュメントは、Eメールでパソコンに送信、またはSharePoint Workspace Mobileを使って共有すると、Microsoft Officeを使って編集できます。

◎ Officeのバージョンが古い場合は※、読み取り専用となり編集はできません。
※Microsoft Word 97-2003 文書 (.doc)、Microsoft Excel 97-2003 ブック (.xls)、Microsoft PowerPoint 97-2003 プレゼンテーション (.ppt) など。

Office Mobileを使用する

Office Mobileの設定をする

必要に応じて、Office Mobileの使用に関する設定を行います。

1 →→→フリックして「アプリ」を表示→「Office」

2 設定する項目を選択→設定

以下の項目を設定できます。

ユーザー名	自分が入力したコメントや変更の履歴を識別できるようにするための名前を設定します。初期値は「ユーザー」です。
SharePointリンクをOfficeで開く	「Office」で、SharePointリンクを常に開くかどうかを選択します。
UAGサーバー	UAGサーバーのアドレスなどを設定します。
Officeのリセット	Officeの設定、IS12T内に保存したOfficeドキュメント、SharePointサーバーのオフラインファイルがすべて消去されます。

memo

◎操作方法についての詳細は、→→を参照してください。

ファイルを新規作成する（Word Mobile／Excel Mobile）

1 →

2 フリックして「ドキュメント」を表示→⊕→「空白」または「テンプレート」から選択

ファイルを保存したり、共有したりする場合は、… をタップします。

memo

◎保存時に「保存先」として「SkyDrive」を選択すると、SkyDriveにアップロードされます。万一の場合のバックアップ先として、SkyDriveをご利用いただけます。

既存のファイルを開く（Word Mobile／Excel Mobile／PowerPoint Mobile）

1 →

2 フリックして「ドキュメント」を表示→開きたいファイルを選択

- Wordの場合は、をタップすると編集できます。
- Excelの場合は、編集したいセルを選択して、上部のテキストボックスをタップすると編集できます。
- PowerPointの場合は、をタップすると編集できます。編集が終わったら、をタップします。
- ファイルを保存したり、共有したりする場合は、… をタップします。

memo

◎大切なファイルは … →「名前を付けて保存」→「保存先」として「SkyDrive」を選択して、ネットワーク上にバックアップすることをおすすめします。

◎SharePointサイト上で共有されるOfficeドキュメントを開いて、編集することもできます。
「SharePoint Workspace Mobileを使用する」（▶P.105）をご参照ください。

OneNote Mobileを使用する

OneNote Mobileでは、さまざまな形式のメモを作成できます。テキストメモに、音声メモや画像の挿入、またカメラで撮影した写真を取り込むこともできます。

ファイルを新規作成する

1 [Windows]→[Office]

2 **フリックして「ノート」を表示→⊕**

音声や写真を追加するなどの編集を行います。保存する場合は、[←]を押します。SkyDriveに自動的にアップロードされます。

既存のファイルを開く

1 [Windows]→[Office]

2 **フリックして「ノート」を表示→開きたいファイルを選択**

SharePoint Workspace Mobileを使用する

SharePoint Workspace Mobileを使用すると、SharePointサイトに接続して、IS12Tからドキュメントフォルダなどを直接確認できます。また、Word、Excel、およびPowerPointのドキュメントをSharePointサイトから直接開いて表示または編集し、サイトに保存できます。

memo

◎SharePoint Workspace Mobileを使用して、SharePointサイトに社内からアクセスする場合は、Wi-Fi®接続を設定して社内ネットワークのSharePointサイトにアクセスする必要があります。
Wi-Fi®接続については、「Wi-Fi®を利用する」(▶P.117)をご参照ください。

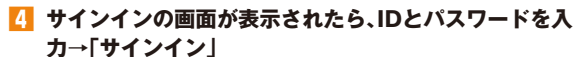
初めてSharePointサイトを開く

SharePointサイトに接続するために設定をします。
パソコンを使用している場合、パソコンでSharePointサイトを開いてSharePointのアドレスを確認しておくと、IS12Tでアドレスを入力するときに役立ちます。

1 [Windows]→[Office]

2 **フリックして「保存先」を表示→「SharePoint」**

3 **SharePointサイトのURLを入力→[→]**

4 **サインインの画面が表示されたら、IDとパスワードを入力→「サインイン」**

Microsoft ExchangeのメールアカウントをIS12Tに設定している場合は、そのユーザー名とパスワードをSharePointサイトのサインインに使用します。

memo

◎サインイン画面で「サインアウトしない」をタップして☑にしておくと、SharePointサイトのOffice文書を開くときなどにサインイン操作が不要になります。
◎一度サインインしたSharePointサイトは、以後「保存先」に表示されます。
「保存先」に表示されたSharePointサイトを削除したい場合は、サイト名をロングタッチし、「リンクを削除」をタップします。

SharePointサイトを閲覧する

1 [⊞]→[アイコン]

2 **フリックして「保存先」を表示→SharePointサイト名→ドキュメントフォルダなどを選択**

- ひとつ上の階層に戻る場合は、Ⓔをタップします。
- Internet Explorer MobileでSharePointサイトを開く場合は、…→「ブラウザーで開く」の順にタップします。

SharePointの現在のビューから文書を検索する

1 [⊞]→[アイコン]

2 **フリックして「保存先」を表示→SharePointサイト名→ドキュメントフォルダなどを選択**

3 **[⌕]→検索したい文書のファイル名を入力**

目的の文書が検索されます。

SharePointサイトのOffice文書を開く／編集する／変更を保存する

IS12Tで、SharePointサイトにあるWord／Excel／PowerPoint／OneNoteのOffice文書を開いたり、編集したりできます。

1 [⊞]→[アイコン]

2 **フリックして「保存先」を表示→SharePointサイト名→ドキュメントフォルダなどを選択**

3 **Office文書を選択**

IS12Tにコピーがダウンロードされます。

4 **通常のOffice Mobileアプリケーションと同じように、編集／保存**

保存時にサインインを要求する画面が表示された場合は、サインインします。

変更はSharePointサイトに保存されます。社内の他の人が、コメントを含むその文書を開いたり、変更したりすることができます。

5 [←]

SharePoint Workspace Mobileに戻ります。

文書のコピーをオフラインの状態で保存する

1 [Windowsキー]→[Office]

2 フリックして「保存先」を表示→SharePointサイト名→ドキュメントフォルダなどを選択

3 オフラインにするOffice文書をロングタッチ→「常にオフラインにする」

SharePointサイトのフォルダまたは文書へのリンクをEメールで送信する

1 [Windowsキー]→[Office]

2 フリックして「保存先」を表示→SharePointサイト名

■文書へのリンクを送信する場合

3 ドキュメントフォルダなどを選択→Office文書をロングタッチ→「リンクの送信」

4 メールアカウントを選択

5 宛先および他の情報を入力→[送信]

■フォルダへのリンクまたはSharePointサイトの他の場所へのリンクを送信する場合

3 フォルダまたは場所をロングタッチ→「リンクの送信」

4 メールアカウントを選択

5 宛先および他の情報を入力→[送信]

LinkCabinet

IS12Tに保存された画像、音楽、ビデオなどのコンテンツを、ネットワークに接続されたDLNA対応機器で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するには、Wi-Fi®接続が必要です。
  Wi-Fi®接続については、「Wi-Fi®を利用する」(▶P.117)をご参照ください。
- IS12TとすべてのDLNA対応機器での連携を保証するものではありません。

■再生可能なファイル形式

●画像ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子	備考
JPEG	JPG、JPEG	－

●音楽ファイル

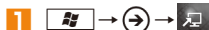
ファイル形式／コーデック	拡張子	備考
AAC	m4a	保護されていないファイルのみ再生可能です。
MP3	mp3	－

ファイル形式／コーデック	拡張子	備考
Windows Media Audio	wma	WMA Losslessファイルの場合、Zune PC ソフトウェアからの同期の際に、IS12Tで再生可能な形式に変更されます。パソコン上のデータは変更されません。

●ビデオファイル

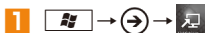
ファイル形式／コーデック	拡張子	備考
H.264	mp4、m4v	–
MPEG-4 Part2	mp4、m4v	–
Windows Media Video (VC-1)	wmv	保護されていないファイルのみ再生可能です。

DLNA対応機器と連携する

1 スタート→ ➔ →LinkCabinet

以下の操作が行えます。

操作内容	操作方法
コンテンツを選択して再生する	「画像」／「音楽」／「ビデオ」をタップします。 ▶P.108「DLNA対応機器でコンテンツを再生する」
続きを再生する	「再生再開」をタップします。初期状態では「再生再開」は表示されません。
DLNA機器を検出する	をタップします。Wi-Fi®接続が無効の場合は、Wi-Fi®接続の設定画面が表示されます。Wi-Fi®接続を有効にしてください。 接続が成功すると「connected」と表示されます。

DLNA対応機器でコンテンツを再生する

1 スタート→ ➔ →LinkCabinet

2 **再生するコンテンツの種類を選択**

3 **「再生機器選択」が表示された場合は、「選択」**

前回接続した再生機器が検出された場合は、「再生機器選択」は表示されず、手順5へ進みます。
Wi-Fi®接続済みの再生機器が表示されます。

4 **選択した種類のコンテンツを再生する機器をタップ**

接続が成功すると「connected」と表示されます。

■画像の場合

5 **「すべて」／「アルバム」／「お気に入り」でコンテンツを選択→**

■音楽の場合

5 **「アーティスト」／「アルバム」／「全曲」／「プレイリスト」／「ジャンル」で、再生する音楽を選択**

■ビデオの場合

5 **「すべて」／「パーソナル」で、再生するビデオを選択**

memo

◎コンテンツの再生中に、microUSB-USB変換ケーブルを使用してIS12Tとパソコンを接続・切断した場合、コンテンツの再生が停止します。

アプリケーション

Marketplace

IS12Tにアプリケーションやゲームを追加する場合は、Marketplaceと呼ばれるネットストアを利用します。
Marketplaceでは、アプリケーションやゲームを検索／試用して、IS12Tにダウンロード／インストールできます。

memo

◎インストールは、ファイルの安全性をご確認のうえ、自己責任において実施してください。ファイルによっては、ウイルス感染や各種データ破壊を引き起こしたり、お客様の位置情報／利用履歴／個人情報などを外部に送信したりする可能性があります。
◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じても、当社では責任を負いかねます。保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じても、当社では責任を負いかねます。
◎ファイルによっては、インターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますので、ご注意ください。
◎20MB以上のファイルは、パケット通信接続ではダウンロードできません。Wi-Fi®接続をご利用ください。
◎アプリケーションやゲームの購入には、Windows Live IDに紐付けられたクレジットカード情報の設定が必要です。

アプリケーションやゲームをインストールする

1 →
「marketplace」が表示されます。

2 「アプリ」または「ゲーム」をタップ
フリックして、アプリケーション／ゲームを探します。
をタップし、キーワードを入力して検索することもできます。

3 アプリケーション名／ゲーム名をタップ
詳細な説明画面が表示されます。

4 評価やレビューを確認し、「試用」／「インストール」／「購入」のいずれかを選択

- 試用する場合は、「試用」をタップし、インストールを開始します。
- 無償のアプリケーション／ゲームをインストールする場合は、「インストール」をタップし、インストールを開始します。
- 有償のアプリケーション／ゲームを購入してインストールする場合は、「購入」をタップします。購入の確認画面が表示されます。Windows Liveのアカウントにクレジットカード情報が登録されていない場合は、クレジットカード情報を登録します。「購入」をタップすると、インストールが開始されます。

インストールが完了すると、アプリケーション一覧または「games」に追加されます。

■「インストール」などをタップした後、「アカウントの設定」画面が表示された場合

5 「生年月日」を設定→

6 「承諾」

ゲーマータグが割り当てられます。

7 「完了」

memo

◎インストールしたアプリケーションやゲームは、削除できます（▶P.121）。ゲームの場合は、→から削除します。

◎未成年の年齢で登録しようとした場合は、エラーが表示されてアカウントは登録できません。また、アカウントの登録内容の変更もできません。

◎Xbox Liveのアカウント登録を未成年の年齢で登録しようとした場合も、Marketplaceにはアクセスできません。

アプリケーションやゲームを評価する

1 →

「marketplace」が表示されます。

2 評価したいアプリケーションまたはゲームを選択

詳細な説明画面が表示されます。

3 フリックして「レビュー」を表示→「評価とレビュー」

4 評価用の星をタップし、「レビューを書く」欄にレビューを入力

5 「送信」

プロフィール交換

プロフィール情報が入力されたQRコードを作成して、他の携帯電話などから読み取ってもらったり、相手のプロフィール情報が設定されたQRコードを読み取ったりして、プロフィールを交換できます。

自分のプロフィールを相手に読み取ってもらう

1 →

プロフィール画面が表示されます。

2 必要に応じて、情報を入力

入力した情報に応じて、QRコードが作成されます。

3 ･･･ →読み取りを行う相手の端末のキャリアを選択

4 相手の端末でQRコードを読み取ってもらう

QRコードをタップすると拡大表示されます。

5 作成したQRコードを保存する場合は

入力した情報が保存されます。

memo

◎読み取りを行う携帯電話の機種によっては、プロフィール情報の一部が正しく表示されない場合があります。

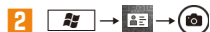
アプリケーション

相手のプロフィールを読み取って登録する

memo

◎ プロフィール情報以外の内容(URL情報や広告など)が設定されているQRコードは読み取れません。
◎ カメラのレンズ部に指紋や油脂などが付着していると、バーコードがぼやけて読み取れなかったり、髪の毛やほこりなどのゴミがついていると、正しく読み取れない場合があります。読み取る前に柔らかい布などで拭いてください。

1 相手の端末でQRコードを表示

2 → →

QRコードを読み取る画面が表示されます。画面中央に四角い枠(ガイド)が表示されます。

3 ガイドにQRコードを合わせる

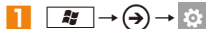
読み取りが成功すると、プロフィール情報が設定された連絡先の編集画面が表示されます。
連絡先の編集画面が表示されない場合は、「ok」をタップし、再度QRコードの読み取りを行ってください。
Peopleに複数のアカウントが登録されている場合は、アカウントを選択する画面が表示されますので、登録先のアカウントをタップします。

4 必要に応じて編集→

「People」に保存されます。

各種設定

システム設定

1 [スタート] → ⊕ → ⚙

2 システム設定から必要な項目を選択

設定項目と設定内容は以下の通りです。

設定項目	設定内容	初期値	説明
着信音&サウンド	着信音	オン	メッセージやEメールなどを受信したときの通知音を設定します。 また、アラームやキータッチ音なども設定できます。
	バイブレーション	オン	
	着信音	Flow	
	新しいSMSメッセージまたはIM	通知10	
	留守番電話メッセージ	通知1	
	新着メール	なし	
	アラーム	☑	
	キータッチ	☑	
	ロックとロック解除	☑	
	その他すべての通知	☑	
テーマ	背景	黒	アクセントカラーや背景テーマカラーを選択できます。選択した色は、スタート画面のタイル、アプリケーション一覧、Webリンク、メッセージなどに反映されます。
	アクセントカラー	オリジナル	
フライトモード	状態	オフ	フライトモードでは、通話／通信機能をオフにしますが、モバイル接続を必要としない他のアプリケーションは利用できます。 ▶P.117「フライトモードを利用する」
Wi-Fi	Wi-Fiネットワーク	オン	Wi-Fi®接続のオン／オフを設定します。 また、新しいWi-Fi®ネットワークを検出した際に通知するかどうかを設定できます。 ▶P.117「Wi-Fi®を利用する」
	新しいネットワークが検出されたら通知する	☑	
	詳細設定	−	
Bluetooth	状態	オフ	Bluetooth®接続のオン／オフを設定します。 ▶P.118「Bluetooth®を利用する」
メール&アカウント	アカウントの追加	−	EメールやSNSのアカウントを作成、設定(変更)します。 設定済のアカウントをタップすると、アカウントの詳細設定が確認できます。 ▶P.70「メールアカウントを設定する」 ▶P.84「Facebookアカウントを作成する」

各種設定

設定項目	設定内容	初期値	説明
ロック&壁紙	壁紙の変更	ー	IS12Tを一定時間操作しない状態が続いたときに、画面のタップやボタン操作ができないように自動的にロックする設定を行います。 ▶P.46「他の人が使用できないようにする」
	音楽の再生中にアーティストを表示する	オフ	
	画面タイムアウト	1分	
	パスワード	オフ	
位置情報	位置情報サービス	オン	地図など位置情報を利用するアプリケーションを使用する場合に設定します。
携帯ネットワーク	データ接続	オン	海外で利用するときに、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える場合に設定します。 ▶P.67「海外でご利用になるときは」
	データローミングオプション	ローミングしない	
	モード選択	グローバルモード	
バッテリーセーバー	残量が少なくなったら常にバッテリーセーバーをオン	□	省電力モードへの移行タイミングを設定します。 現在の電池残量なども確認できます。
	次の充電までバッテリーセーバーをオン	□	
日付&時刻	24時間形式	オン	時刻の表示方法と時刻合わせの方法を設定します。 「自動設定」をオフにすると、タイムゾーン/日付/時刻を個別に設定できます。
	自動設定	オン	
画面の明るさ	自動調整	オン	画面の明るさを設定します。「自動調整」をオフにすると輝度を設定できます。
	レベル	中	

設定項目	設定内容	初期値	説明
キーボード	入力設定	ー	キーボードに表示する言語を設定します。また文字入力に関する設定をします。 ▶P.50「文字入力の設定をする」 設定したキーボードによって文字入力に関する設定内容は異なります。
	キーボード言語の選択	・日本語 10キー ・日本語 QWERTY	
地域&言語	表示言語	日本語	メニューやキーボードなどに表示される言語を設定します。
	地域設定	日本語	
	日付(例)	2011/01/02	
	日付詳細(例)	2011年1月2日	
	週の最初の曜日	日曜日	
	システムロケール	日本語	
	ブラウザーと検索に使用する言語	日本語	
音声	ー	ー	音声によってIS12Tを操作します。言語設定が「日本語」の場合は、この機能は利用できません。
電話を探す	これらの機能への接続を速くする	□	携帯電話を紛失した場合にhttp://windowsphone.live.comの「FIND MY PHONE」を利用して携帯電話を探すときの設定です。 ▶P.119「紛失したIS12Tを探す」
	位置情報の精度向上のために数時間ごとに位置を保存する	□	

設定項目	設定内容	初期値	説明
電話の更新	新しい更新プログラムが検出されたら通知する	☑	ソフトウェア更新のための更新プログラムの通知方法を設定します。 ▶P.128「ソフトウェア更新」
	携帯ネットワーク接続を使用して更新プログラムを確認する	☑	
情報	詳細情報	－	IS12Tの情報が表示されます。 また、IS12Tをお買い上げ時の状態に戻すことができます。 ▶P.122「お買い上げ時の状態に戻す」
	電話のリセット	－	
データ提供	利用状況データを送信する	オン	Windows® Phoneの機能向上に役立つ利用状況データを送信するための設定です。
	携帯ネットワーク接続を使用して利用状況データを送信する	☐	

設定項目	設定内容	初期値	説明
ワイヤレス設定	フェムトセル	オン	フェムトセルは、フェムトセル（自宅などに設置する小型携帯電話基地局）の検索を行うかどうかの設定です。 ▶P.119「auフェムトセルを利用する」 フィルタリングでは、有害サイトアクセス制限を行います。 ▶P.78「有害サイトをブロックする」 PRL設定では、海外利用時の設定を行います。 ▶P.68「PRL（ローミングエリア情報）の取得方法を設定する」 通常は「高度な設定」を使用しないでください。設定を変更すると、データ通信が行えなくなる場合があります。
	フィルタリング	オフ	
	PRL設定	－	
	高度な設定	－	
SIMセキュリティ	－	－	IS12Tが起動していてPINロックが認証されていない場合、PINの認証を行います。 ▶P.37「起動後にPINコードを認証する」
音質設定	はっきりボイス	オン	通話時の受話音声を聞き取りやすくするかどうかの設定です。

通信に関する設定を行う

IS12Tはインターネットや他のデバイスへさまざまな方法で接続できます。どの方法にもそれぞれメリットがあり、場所や使用目的によって接続方法を選択します。

フライトモードを利用する

フライトモードでは、通話機能、Wi-Fi®、Bluetooth®を同時にオフにしますが、モバイル接続を必要としない他のアプリケーション（音楽を聴く、動画を見るなど）は利用できます。またWi-Fi®、Bluetooth®を個別に設定／解除することもできます。

1 ⊞→⊕→⚙→「フライトモード」

2 オンに設定

◎「SIMセキュリティ」をオンに設定している場合、フライトモードをオンからオフに切り替えると、PINコードのセキュリティが有効の状態になります。PINコードの認証を行ってください。（▶P.37）

Wi-Fi®を利用する

お買い上げ時は、Wi-Fi®接続が有効に設定されており、Wi-Fi®ネットワークにいつでも接続できる状態です。ネットワークを検出すると、今いる場所に有効なネットワークがあることを定期的に通知します。通知をタップして、接続したいネットワークをタップすると接続できます。

以前接続したネットワークの圏内に入ると自動的にそのネットワークに接続します。

■Wi-Fi®を利用するための準備

Wi-Fi®ネットワークに接続するために、利用形態に合わせて、以下の準備をしてください。

- 公衆無線LANサービスで接続する
  サービス提供者と契約して接続に必要な情報を入手する
- 社内LANに接続する
  ネットワーク管理者に問い合わせて接続に必要な情報を入手する
- 家庭内など個人環境で接続する
  アクセスポイントを設置して取扱説明書などから接続に必要な情報を入手する

■Bluetooth®機能との電波干渉について

Wi-Fi®機能（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth®機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、IS12TのWi-Fi®機能とBluetooth®機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、IS12TのWi-Fi®機能のみ使用している場合でも、Bluetooth®対応機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

- IS12TとBluetooth®対応機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®対応機器の電源を切ってください。

■利用できるチャンネルについて

IS12TのWi-Fi®機能は1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

■Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ⊞→⊕→⚙→「Wi-Fi」

2 「Wi-Fiネットワーク」がオンになっていることを確認

これにより、利用可能なWi-Fi®ネットワークが検索されます。ネットワークが検出されると一覧に表示され、検出されたネットワークがオープンネットワーク(オープン)か、セキュリティが設定されているネットワーク(セキュア)が表示されます。

3 接続したいネットワークを選択

memo

◎ネットワークへの接続が切断された場合は、手動で再接続してください。
◎再起動後に、任意のアクセスポイントに接続したい場合は、再度ネットワークの設定をしてください。
◎利用可能なWi-Fi®ネットワークがあると、定期的に通知されます。通知をタップすると、ネットワークに接続したり、通知を停止したりできます。
◎セキュリティ設定のあるネットワークに接続する場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、「完了」をタップします。
パスワード(セキュリティキー)はアクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
◎ネットワークの接続を切断する場合は、切断するネットワークをロングタッチし「削除」を選択します。
◎アクセスポイントに複数のWEPキーを登録できる場合は、1番目に登録されたWEPキーを入力します。また、アクセスポイント側も、そのWEPキーを使用するように設定します。
◎「詳細設定」をタップすると、接続履歴を削除できます。

Bluetooth®を利用する

カーキットや、ハンズフリーで電話を利用するためのヘッドセットなどのBluetooth®対応機器と組み合わせて使用します。
お買い上げ時は、Bluetooth®接続は無効に設定されています。

■Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. IS12TとほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■Wi-Fi®との電波干渉について

Bluetooth®機能とWi-Fi®機能(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、IS12TのBluetooth®機能とWi-Fi®機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、IS12TのBluetooth®機能のみ使用している場合でも、Wi-Fi®機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

- IS12TとWi-Fi®機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Wi-Fi®機能を搭載した機器の電源を切ってください。

1 接続を行うBluetooth®対応機器の電源を入れる

2 [スタート]→(→)→[設定]→「Bluetooth」

3 オンに設定

近くのBluetooth®対応機器の検索が開始されます。

4 接続するBluetooth®対応機器を選択

memo

◎接続するBluetooth®対応機器からPINコードの入力を求められた場合は、IS12TとBluetooth®対応機器が同じPINコードが表示されていることを確認してから「完了」をタップしてください。
◎接続したBluetooth®対応機器をリストから削除する場合は、そのBluetooth®対応機器をロングタッチし「削除」を選択します。

auフェムトセルを利用する

auフェムトセルは、個人のお客様の宅内を対象に、半径10メートル程度の小さな範囲のau電話の通話エリアを形成する小型基地局です。auフェムトセルのエリアに入ってすぐに使用したい場合は、以下の操作でauフェムトセルを探してください。

1 →→→「ワイヤレス設定」

2 「フェムトセル」をオンに設定

memo

◎「モード選択」を「グローバルモード」以外に設定している場合は、フェムトセルは利用できません。

紛失したIS12Tを探す

IS12Tを紛失した場合に、パソコンからhttp://windowsphone.live.comの「FIND MY PHONE」を利用してIS12Tを探したり、遠隔ロックしたりすることができます。「FIND MY PHONE」を利用するには、以下の設定を行います。

1 →→→「電話を探す」

2 「これらの機能への接続を速くする(バッテリー消費量が増える可能性があります)」と「位置情報の精度向上のために数時間ごとに位置を保存する」を有効に設定

memo

◎本機能を使用するには、Windows Live IDが必要です。
◎パソコンからの操作方法については、http://windowsphone.live.comをご参照ください。

アプリケーション設定

アプリケーションの各設定を行います。アプリケーション内から設定を行えるものもあります。

1 →→→フリックして「アプリ」を表示

2 アプリケーション設定から必要な項目を選択

設定項目と設定内容は以下の通りです。

設定項目	設定内容	初期値	説明
Games	Xbox LIVEで接続	オン	ゲームに関する設定を行います。
	ゲームの要求を同期	オン	
	ゲームアラートを表示	オン	

設定項目	設定内容	初期値	説明
Internet Explorer	自分の位置情報へのアクセスを許可	オン	Internet Explorer Mobileの表示設定やセキュリティに関する設定を行います。 ▶P.78「ブラウザを設定する」
	Cookieを許可する	☑	
	入力時にBingで候補を表示する	☑	
	Internet Explorerによる閲覧履歴の収集を許可	☐	
	Webサイトの優先設定	モバイル用サイト	
	他のアプリからのリンクを開く場所	現在のタブ	
	履歴の削除	–	
Messaging	グループメッセージ	オン	「グループメッセージ」は、MMS非対応のため、設定は無効です。Facebookを登録すると、「Facebookチャット」が表示されます。
Music+Videos	Zuneアカウントの設定	–	Zuneを使って接続するための設定を行います。
Office	ユーザー名	ユーザー	Officeに関する設定を行います。 ▶P.104「Office Mobileの設定をする」
	SharePointリンクをOfficeで開く	☑	
	UAGサーバー	–	
	Officeのリセット	–	

設定項目	設定内容	初期値	説明
People	SIMカード連絡先のインポート	–	連絡先の表示などを設定します。 ▶P.80「Peopleを利用する」 Eメールや SNSのアカウントを作成、設定(変更)します。設定済のアカウントをタップすると、アカウントの詳細設定が確認できます。 ▶P.70「メールアカウントを設定する」 ▶P.84「Facebookアカウントを作成する」 「SIMカード連絡先のインポート」は非対応です。
	連絡先リストにフィルターを適用	–	
	連絡先リストに表示されている人の投稿だけを表示	☐	
	現在の位置情報を使用	オフ	
	検索品質向上のために自分のWindows Live IDを使用してチェックイン履歴を保存する	☐	
	アカウントの追加	–	
Pictures+Camera	画面をタップして撮影	オン	カメラや撮影した画像に関する設定です。 ▶P.89「カメラの設定をする」
	カメラボタンの長押しで電話を起動する	オン	
	ロックしてある電話で、カメラの誤起動を防ぐ	オフ	
	撮影した写真に位置情報を含める	オフ	
	アップロードする写真に位置情報を含める	オン	
	SkyDriveに自動アップロード	オフ	
	クイックシェアアカウント	–	
	カメラのリセット	–	

設定項目	設定内容	初期値	説明
バックグラウンドタスク	詳細設定	―	バックグラウンドで動作するアプリケーションの設定を行います。
マップ	現在の位置情報を使用	オフ	地図に関する設定を行います。
	履歴の削除	―	
ラジオ	地域	日本	ラジオの地域を設定します。
検索	現在の位置情報を使用	オフ	検索機能を使用するための設定です。
	Microsoftタグに位置情報を送信する	☐	
	検索ボタンでロック画面から検索できるようにする	☑	
	入力時にBingで候補を表示する	☑	
	画像検索から取得した画像をMicrosoftが保存して使用することを許可する	☑	
	履歴の削除	―	
電話	電話番号	―	電話に設定されている内容が表示されます。また、国際電話や海外での電話使用時のサポート機能の設定やロングトーンの設定が行えます。 端末の状態によって表示されない項目があります。
	留守番電話番号	1416	
	国際電話アシスト	オン	
	SIMセキュリティ	オフ	
	ロングトーン	オン	

アプリケーションを削除する

Marketplaceからインストールしたアプリケーションを削除できます。

1 [Windowsキー]→➔

2 削除したいアプリケーションをロングタッチ→「削除」

確認メッセージが表示されます。

3 「はい」

memo

◎お買い上げ時にインストールされている電卓やアラームなどのアプリケーションは削除できません。

◎アプリケーションをIS12Tから削除した場合でも、再度購入することなく再インストールできる場合があります。すでに購入済であるか、再インストールが可能かといった情報は、Marketplaceの購入確認画面で確認できます。

お買い上げ時の状態に戻す

この操作を行うと、ダウンロードしたアプリケーションや、「People」などに設定した内容、撮影データやダウンロード画像データなどもすべて消去されます。各設定も、お買い上げ時の状態に戻ります。

データをバックアップする

お買い上げ時の状態に戻す前に、必要に応じてバックアップを行ってください。

データの種類	バックアップ方法
撮影画像(カメラロール内の画像)	Zune PC ソフトウェアを使用してパソコンに保存します。(▶P.95) また、バックアップしたい画像を表示して、… →「SkyDriveで共有」→ ／ をタップして、SkyDriveへアップロードできます。(▶P.93)
Word Mobile/Excel Mobile/PowerPoint Mobile文書	バックアップしたい文書を開いて … →「名前を付けて保存」をタップし、SkyDriveにアップロードします。(▶P.104)

なお、以下のデータは、ネットワーク上に保存されているため、バックアップは不要です。

お買い上げ時の状態に戻した後でアカウントを再設定することで、IS12Tに情報が表示されます。「メールアカウントを設定する」(▶P.70)、「Facebookアカウントを作成する」(▶P.84)をご参照ください。

データの種類	ネットワーク上の保存先
連絡先	Windows Live、Google(Gmail)など、連絡先機能を持つアカウント
カレンダー	Windows Live、Google(Gmail)アカウント
メールデータ	Windows Live、Google(Gmail)などのメールアカウント
OneNote Mobile文書	SkyDrive

memo

◎以下のデータはバックアップできません。
- Marketplaceからインストールしたアプリケーション／ゲーム
  お買い上げ時の状態に戻した後で再インストールします。「アプリケーションやゲームをインストールする」(▶P.109)をご参照ください。
- Internet Explorer Mobileのお気に入り

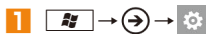
◎Zune PC ソフトウェアを使用してIS12Tに取り込んだ、音楽、ビデオ、ポッドキャストなどのファイルは、お買い上げ時の状態に戻した後で再度取り込みます。「パソコンのデータを取り込む」(▶P.96)をご参照ください。

お買い上げ時の状態に戻す

メニューから行う方法と、IS12Tのキー操作で行う方法の2種類があります。

メニューからリセットする

IS12Tが起動していれば、メニューからリセットします。

1 → →

2 **「情報」→「電話のリセット」**
確認メッセージが表示されます。

3 **「はい」→「はい」**
しばらくするとIS12Tが再起動し、セットアップが開始されます。

キー操作でリセットする

ロック画面のパスワードを忘れてIS12Tを操作できなくなったり、IS12Tが起動しなくなったりした場合は、キー操作でリセットします。

1 起動中の場合は、電源を切る

2 [+]と[カメラ]を押しながら、[電源]を押し続ける

[←]と[検索]のLEDが白色点滅したら指を離します。

3 [←]と[検索]と[カメラ]を同時に押し続ける

起動時の注意画面が表示されたら指を離します。
しばらくするとIS12Tが再起動し、セットアップが開始されます。

memo

◎リセットを実行しない場合は、[←]と[検索]の点滅が消えるまで[スタート]を押してください。
◎[←]と[検索]の白色点滅は2分間継続します。その間に何も操作しない場合は、リセットはキャンセルされ、通常起動されます。
◎電池残量が少ない場合、リセット途中で電源が強制切断されるおそれがあります。電池残量が少ない場合は、充電を行ってからリセットを実施してください。
◎リセット途中で電池パックを取り外さないでください。再起動しないおそれがあります。
◎セットアップについては、『設定ガイド』をご参照ください。

付録／索引

付録

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
PINが必要です	PINコードを有効にしているときにPINコードが認証されていない場合に表示されます。PINコードを認証してください。	P.37
PINコードが間違っています	正しくないPINコードを入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.37
PUKが必要です	PINコードの認証に失敗して、au ICカードがロックされています。PINロック解除コードを入力してロックを解除してください。	P.19
パスワードが間違っています	ロック解除用パスワードに誤りがあるときに表示されます。正しいパスワードを入力してください。間違ったパスワードを5回入力すると、パスワードの入力が1分間できなくなります。	P.46
1分後に再試行してください	間違ったパスワードを5回入力したときに表示されます。1分後に再度パスワードを入力してください。	P.46
バッテリー切れです	電池残量がなくなっています。電池パックを充電してください。	P.32

故障とお考えになる前に

症状	チェックする箇所	参照先
IS12Tの電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか？ • 電池切れになっていませんか？	P.30、P.32
充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか？ • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか？ • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、組み合わせて使用する付属のmicroUSB-USB変換ケーブルが、IS12TおよびACアダプタ（別売）と正しく接続されていますか？ • 付属のmicroUSB-USB変換ケーブルをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか？	P.30、P.33
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、IS12Tや電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.16、P.32
充電中に、画面が表示されたり、消えたりする	• 電池残量がまったく無い状態で充電を開始した場合、画面が表示されたり、消えたりすることがありますが、問題はありません。そのまま充電を継続してください。	P.32
スリープモードを解除しても画面が表示されない	• 電池残量がまったく無い状態になると、スリープ中でもgoodbye画面が表示されて電源が切れます。充電してから操作を行ってください。	P.32

症状	チェックする箇所	参照先
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか？ 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.17、 P.32
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。 汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	P.15
タップしても正しく操作できない	• 手袋をしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • ディスプレイに保護シートを貼っていませんか？ 保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。 • IS12Tのディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。	P.17、 P.40
画面をタップしても動かない	• 電源を入れ直してください。	P.34
画面をタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• IS12Tに大量のデータが保存されているときや、容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。	－
データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない	• IS12Tを再起動してください。	P.128
電源を入れたのに操作できない	• PINコードを入力する画面が表示されていませんか？ PINコードを入力してください。	P.37
ロック画面を解除できない	• ロック解除用パスワードの入力画面が表示されていませんか？ ロック解除用パスワードを入力してください。	P.46
ボタンを押しても動作しない	• スリープモードになっていませんか？ ⏻／⊞を押してスリープモードを解除してください。	P.46
IS12Tの動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない	• IS12Tのメモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなり警告メッセージが表示されたら、不要なアプリケーションを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.121
au ICカードが認識されない	• au ICカードを正しい向きで挿入していますか？	P.36
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「日付＆時刻」の「自動設定」がオンになっているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.115
電話がつながらない	• au ICカードが正しくIS12Tに取り付けられていますか？ • 市外局番から入力していますか？ • フライトモードがオンになっていませんか？	P.36、 P.52、 P.117
着信音が鳴らない	• 着信音量を「0」にしていませんか？ • 着信転送サービスのフル転送を設定していませんか？	P.42、 P.60
動画撮影中、突然停止してスタート画面が表示された／カメラが起動できない	• IS12Tが高温状態になると、カメラの起動に失敗し、スタート画面が表示されます。また、IS12Tが高温状態の場合は、カメラ機能は使用できないよう制御されています。高温になる場所を避け、IS12Tの温度が低下するまでしばらく待ってから操作してください。	P.88

症状	チェックする箇所	参照先
通話ができない(場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	・電源を入れ直すか、電池パックまたはau ICカードを取り付け直してください。 ・電波の性質により、電波が強くアンテナマークが5本表示されている状態( )でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	P.30、P.34、P.36
ディスプレイが暗い	・ディスプレイの「明るさ」を確認してください。	P.115
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	・受話音量を変更していませんか？	P.54
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	P.88
Bluetooth®対応機器と接続できない／検索しても見つからない	・接続するBluetooth®対応機器が検出可能な設定になっているかご確認ください。登録済みのBluetooth®対応機器を登録し直す場合は、IS12TとBluetooth®対応機器の両方で設定を解除してから、機器登録を行ってください。	P.118
カーナビやハンズフリー機器などのBluetooth®対応機器を接続した状態でIS12Tから発信できない	・相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、IS12Tの電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。	P.34

・気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポート「故障・自己診断」でご案内しております。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

IS12Tを再起動する

データが正常に表示されない場合や、タップやキー操作が正しく働かない場合は、再起動を行ってください。

1 ⏻を長押しする(約10秒)

⏻を長押しすると、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイの表示が消えたのを確認したら、⏻から指を離します。
しばらくすると、IS12Tが再起動します。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新では、更新プログラムが提供されます。更新プログラムには、IS12Tをさらに使いやすくするものや、新機能を追加するものがあります。また、IS12Tのセキュリティを強化します。
更新プログラムが通知されたら、速やかにアップデートを行ってください。
更新プログラムの通知には、次の2つの方法があります。

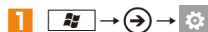
・携帯ネットワーク接続を使用する
　携帯ネットワークに接続されているときに、更新プログラムが公開されると通知されます。
・Wi-Fi®接続時およびパソコン接続を使用する
　Wi-Fi®接続時やIS12Tをパソコンと接続したときに、更新プログラムが公開されていると通知されます。
　携帯ネットワークの使用を制限したいときにおすすめです。

■アップデートの通知方法を設定する

更新プログラムの通知方法の設定は、「システム設定」で行います。

1 [Windows]→➔→⚙

2 「電話の更新」→各項目を設定

付録／索引

■アップデートの実施方法

ソフトウェア更新は、パソコンと接続してZune PC ソフトウェアを使用して行います。
パソコンにZune PC ソフトウェアがインストールされていない場合は、あらかじめZune PC ソフトウェアをインストールしてください。インストール方法は「Zune PC ソフトウェアのインストール」(P.129)をご参照ください。

memo

◎ソフトウェア更新は、IS12Tに登録されたカメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のIS12Tの状態によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
◎ソフトウェア更新(ダウンロード、更新ファイルのインストール)には時間がかかる場合があります。

アプリケーションアップデート

アプリケーションによっては、Marketplaceからアプリケーションのアップデートが通知されます。
Marketplaceを起動すると、アップデートが行われます。

memo

◎ダウンロード対象サイズが20MBを超える場合は、直接IS12Tへのアップデートはできません。パソコンと接続してZune PC ソフトウェアを使用してアップデートを行ってください。

Zune PC ソフトウェアのインストール

Zune PC ソフトウェアは、音楽・動画・写真・ポッドキャストを管理したり、IS12Tと同期を行ったりするためのソフトウェアです。

memo

◎Zune PC ソフトウェアをインストール中はIS12Tをパソコンに接続しないでください。

1 パソコンでZune PC ソフトウェアをダウンロードし、インストール

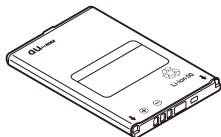
Zune PC ソフトウェアのシステム要件、およびインストーラのダウンロードは、MicrosoftのWebサイトをご参照ください。

2 microUSB-USB変換ケーブルを使用して、IS12Tをパソコンに接続

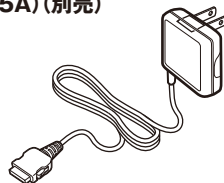
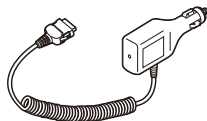
IS12Tのドライバがインストールされ、しばらくするとZune PC ソフトウェアが起動します。

http://zune.net

周辺機器のご紹介

■ 電池パック（TSI12UAA）

■ microUSB-USB変換ケーブル（試供品）
■ 18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）
■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）
■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

■ 共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）
共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（レッド）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（別売）
AC Adapter MIDORI （0205PGA）（別売）
AC Adapter AO（0204PLA）（別売）
AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）
AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）
AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）
AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）
AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）
AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）
AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）
AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）

※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
※AC Adapter MIDORI、AO、SHIRO、MOMO、CHA、REST、RANGERS、CHARGY、WORLD OF ALICE、KiiRollは、共通ACアダプタ02と共通の仕様です。
※共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、必ず共通ACアダプタ02／03をご使用ください。

■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）
共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）

■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）
ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎IS12Tは、ASYNC／FAX通信は非対応です。
◎この周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。ただし、一部の周辺機器は購入できない場合があります。
パソコンから：http://auonlineshop.kddi.com

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのIS12T本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額315円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

memo

◎ご入会は、au電話のお買い上げ時のお申し込みに限ります。
◎ご退会された場合は、次回のau電話のお買い上げ時まで再入会はできません。
◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは　　0077−7−113（通話料無料）
au電話からは　　局番なしの113（通話料無料）

■auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
①保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
②修理代金割引サービス 注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引（無料）	お客様負担額5,250円（税込）
③水濡れ・全損時リニューアルサービス 注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額5,250円（税込）	お客様負担額10,500円（税込）
④紛失時あんしんサービス 注：盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引	**フルサポートコースでご契約のau電話を盗難・紛失した場合**	
	フルサポート解除料全額免除	フルサポート解除料お客様負担額最大10,500円（税込）まで
	新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合	
	新しいau電話購入代金最大18,900円（税込）OFF	新しいau電話購入代金最大6,300円（税込）OFF
⑤電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上（または3年以上）継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1000ポイントプレゼント	なし

修理代金割引サービス

◎水濡れ･全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ･全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失･盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。（合計2回まで）

◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年～2年までの間、3年～4年までの間の計2回（各1個の提供）となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ･全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1000ポイント進呈します。

※1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

項目		仕様
品名		IS12T
サイズ		高さ約118mm×幅約59mm×厚さ約10.6mm 最厚部約13.3mm
質量		約113g（電池パック装着時）
メモリ		ROM　32GB RAM　512MB
連続待受時間	国内	約280時間
	海外（GSM）	約430時間
	海外（CDMA）	約330時間：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土 約400時間：ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港 約460時間：ニュージーランド／タイ／マカオ／ペルー／ブラジル／バミューダ諸島／ベネズエラ ※対象国は2011年6月時点
連続通話時間	国内	約400分
	海外（GSM）	約390分
	海外（CDMA）	約450分：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土／ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／ニュージーランド／タイ／マカオ／ペルー／ブラジル／バングラデシュ／バミューダ諸島／バハマ／ベネズエラ／香港 ※対象国は2011年6月時点
共通ACアダプタ（別売）での充電時間		約160分
共通DCアダプタ（別売）での充電時間		約240分

ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	約3.7inch
	発色数	26万色
	ドット数	横480ドット×縦800ドット（ワイドVGA）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/2.5 inch
カメラ有効画素数		約1,320万画素
記録画素数		約1,280万画素
Wi-Fi®機能		IEEE802.11b/g/n準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.2.1＋EDRに準拠※1
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 2
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応プロファイル※3	HFP（Hands-Free Profile） HSP（Headset Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile） PBAP（Phone Book Access Profile） SDP（Service Discovery） GAVDP（General Audio/Video Distribution Profile）

※1 IS12TおよびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth® SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
※2 通信機器間の障害物や、電波状態により変化します。
※3 Bluetooth®通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。
  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくてもPCメールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、IS12Tの電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。IS12Tの電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種［IS12T］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.500W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。
KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使

用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
auのホームページ
http://www.au.kddi.com
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/au/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。(2011年3月現在)

FCC notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.671 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.321 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body–worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC

RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID YUW–TSI12. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

Declaration of Conformity

The product “IS12T” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
The Declaration of Conformity is found on
http://www.fmworld.net/product/phone/~~doc/~~
~~(Japanese only)~~

削除いたします。

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radiofrequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard is 0.457 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制

本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。（本機は、外国為替及び外国貿易法によるリスト規制品を含みます。米国輸出規制により、以下の国々に本機を持ち込むことはできません。（2010年9月現在）キューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリア）
U.S law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries-Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- Microsoft、Bing、Excel、Hotmail、Internet Explorer、OneNote、Outlook、PowerPoint、SkyDrive、Windows Live、Windows Phone、XBox LIVE、Zune、およびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc.が所有する登録商標であり、富士通株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Bluetooth®

- Wi-Fi®は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

b g Wi Fi n CERTIFIED®

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- IS12TにはREVORECT LIB QRエンコーダを搭載しています。REVORECTは株式会社富士通コンピュータテクノロジーズの登録商標です。
- FacebookはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Googleは、Google Inc.の商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

■Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 WINDOWS PHONE 7 SOFTWARE

本ライセンス条項は、お客様と富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社との契約を構成します。これらのライセンス条項は本端末に含まれる本ソフトウェアに適用されます。本ソフトウェアには、本ソフトウェアが記録された別の媒体も含まれます。以下の条項を注意してお読みください。

本端末のソフトウェアには、富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社によって許諾されたマイクロソフトまたはその子会社のライセンスソフトウェアが含まれています。

また、本ライセンス条項は、以下の製品にも適用されます。

- 更新プログラム
- 追加ソフトウェア
- インターネットベースのサービス
- サポートサービス

ただし、これらの製品に別途ライセンス条項が付属している場合は、当該ライセンス条項が適用されるものとします。

以下に説明するように、一部の機能を使用することにより、インターネットベースのサービスのために特定のコンピュータ情報を送信することにお客様が同意されたものとします。
本ソフトウェアを使用することにより、お客さまが本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアを端末上で使用することはできません。この場合、富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社または購入店に問い合わせて、お支払いいただいた金額の払い戻しに関する方針を確認してください。

警告:本ソフトウェアには、操作上ユーザーが注意を払う必要があるテクノロジーが含まれています。運転中に道路への注意を怠ると、事故または他の重大な結果を引き起こす可能性があります。偶発的であっても、肝心なときに運転への注意を怠ることは、短い間でも危険です。富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社およびマイクロソフトは、運転中もしくは自動車の操作中の本ソフトウェアのいかなる使用も、合法的であり、安全であり、推奨または意図されている方法に適合しているという表明、保証またはその他の判定を一切行いません。

お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下が許諾されます。

1. 使用に関する権利

お客様は、本ソフトウェアを取得した端末で本ソフトウェアを使用できます。

2. 追加の許諾条件および使用制限

a. 特定の使用 富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社は、本端末を特定の目的で使用するために設計しました。お客様は当該使用目的に限り本ソフトウェアを使用できます。

b. 追加のライセンス条項 本ライセンス条項は本端末に含まれるすべてのマイクロソフト製ソフトウェアに適応されるものとします。プログラムのいずれかに付属するライセンス条項によって、本ライセンス条項との間に明白な不一致がないその他の権利がお客様に付与される場合、お客様はそれらの権利も有します。

c. 音声認識 本ソフトウェアに音声認識コンポーネントが含まれている場合、お客様は、音声認識は本質的に統計的な処理であること、認識の際の誤りはその処理において内在するものであることを了解するものとします。富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社、マイクロソフトおよびその供給者は、音声認識処理の誤りから生じた損害については一切責任を負いません。

d. 電話機能 本ソフトウェアに電話機能が含まれている場合、お客様が無線通信業者(以下「モバイルオペレータ」といいます)とのサービスアカウントを所有もしくは維持していない場合、もしくはモバイルオペレータのネットワークが停止中、あるいは本端末を利用するように構成されていない場合は、本ソフトウェアの全体または一部が利用できないことがあります。

e. Windows Phoneアップデート 本端末のWindows Phoneアップデート機能は、定期的にソフトウェアの更新情報を確認し、必要な更新がある場合に通知するよう設計されています。更新情報のインストール中は本端末や、本端末のサービスを使用することができません。機能やサービスによっては、更新情報のインストールをしないと利用できない場合があります。Windows Phoneアップデートによって更新されるソフトウェアは本ライセンス条項が適応されるものとします。また、別途ライセンス条項が付属しているソフトウェアの更新を行ったときは、当該ライセンス条項が適応されるものとします。更新情報に新しいライセンス条項が付属している場合は、当該ライセンス条項が適応されます。
更新情報はマイクロソフトおよび認可された提供元からのみ入手できます。あらかじめコンピューターに別途ソフトウェアをインストールしてから、本端末を接続して更新情報を取得する場合があります。
更新や追加の情報に付属しているライセンス条項に明示されている場合を除き、マイクロソフトから直接マイクロソフトのソフトウェアへの更新や追加を入手した場合、マイクロソフトは本ライセンス条項に基づいてその使用を認可します。

f. マップ ソフトウェアにマップ機能が含まれている場合、マップ作成時とのずれなどにより、支給される情報と実際の状況とにくい違いが生じたり、地名表記の誤りなどが起こりうることをご了承ください。マップの情報は一定の期間をおいて定期的に更新されていますのでご注意ください。マップ情報のご利用時に生じた損害についてマイクロソフトは一切の責任を負いません。

g. サービス 本契約に明示されている場合を除き、本端末で利用するサービスはそのサービスに付属している使用条項またはサービス規約に基づいて提供されます。また、データ料金がかかる場合があります。

3. 第三者によるコンテンツまたはサービスについて

本端末を使って、第三者のコンテンツやサービス、または第三者のインターネットベースのサービスやサイトにアクセスすることができます。本端末からアクセスできる第三者のコンテンツやサービス、インターネットベースのサービスやサイト(ハイパーリンクからアクセスできるサイトやインターネットベースのサービスを含む)の質、内容、提供元、信頼性についてマイクロソフトは一切の責任を負いません。

第三者のソフトウェアやサービスを利用するにあたり、提供元にアカウントの作成を要求されることがあります。アカウントの作成、ソフトウェア、サービスの利用にあたっては、第三者の利用条項に従ってください。サービスの配信を受けるために、お客さまの端末情報が第三者の配信元に送られることがあります。データの収集、利用、開示は第三者サービスの個人情報保護方針に基づいて行われます。第三者の提供するサービスやソフトウェアには、あらかじめ設定された期間や回数を過ぎると使用を制限されたり停止されるものがあります。第三者サービスやソフトウェアは富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社、マイクロソフトあるいは第三者のサービスやソフトウエア配信元によって、随時変更、中止、停止されることがあります。第三者のサイト、コンテンツ、サービスを閲覧、利用、登

録される場合は個人情報保護方針や使用条項をよく読み、自己責任において行ってください。

本端末はFacebookのコンテンツやサービスにアクセスすることができます。Facebookにアクセスする際には、**http://www.facebook.com/#!/terms.php?ref=pf**で利用規約をご確認ください。

4. ライセンスの適用範囲

本ソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。本契約は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を付与します。富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社およびマイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用法によりこの権利を超越した権利が与えられる場合を除き、お客様は本契約で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することができます。お客様は、本ソフトウェアに組み込まれた使用方法を制限する技術的制限に従うものとします。以下の行為は一切禁止されています。

- 本ソフトウェアの技術的な制限を回避する方法で利用すること
- 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること
- 本契約で規定された以上の数の本ソフトウェアの複製を作成すること
- 第三者が複製できるように本ソフトウェアを公開すること
- 本ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること
- 本ソフトウェアを商用ホスティング サービスで使用すること

本契約で定められている場合を除き、本端末上で本ソフトウェアにアクセスする権利は、本端末にアクセスするソフトウェアまたは他の端末に関するマイクロソフトの特許またはマイクロソフトのその他の知的財産権を行使する権利をお客様に付与するものではありません。

5. 情報の収集に関する合意

マイクロソフトは、本ソフトウェアについてインターネットベースのサービスを提供します。マイクロソフトは随時このサービスを変更または中止できるものとします。ソフトウェアやサービスの機能によっては、インターネットを経由してマイクロソフトまたはサービスプロバイダーのコンピューターシステムに接続するものがあります。接続が行われた際、通知が行われない場合があります。お客様はこれらの機能を解除したり、使用しないようにすることもできます。**これらの機能を利用することで、お客様は下記の情報の送信に同意されたものとします。**これらの機能についての詳細は**http://www.windowsphone.com/privacy**でWindows Phone 7のプライバシーに関する声明をご確認ください。

a. 情報収集について マイクロソフトでは、ソフトウェアおよびサービスの提供、向上、改善を目的として、サービスパフォーマンス、サービスの利用状況、対応状況、ソフトウェアのエラー報告、およびソフトウェアやサービスについての基本的な情報を収集します。詳細は**http://www.windowsphone.com/privacy**でWindows Phone 7のプライバシーに関する声明をご確認ください。マイクロソフトは5の条項に記載された情報を自動的にお客さまの機器からアップロードすることがあります。

b. 端末情報

マイクロソフトは、お客様の端末がマイクロソフトのインターネットベースのサービスに接続するたびにお客さまの端末情報を収集します。端末情報には、お客様のIPアドレス、オペレーティングシステムのバージョン、ブラウザのバージョン、電話機の設定、性能、言語・地域設定、OSソフトやアプリケーションのインストール時に必要なIDなどが含まれます。また、ハードウェアのID（IMEIなど）や、お客さまのIMSIの最初の6桁、電話機の製造者の識別のための機種名、バージョン、モバイルオペレータ、インストールされたソフトウェアの情報などが収集されることがあります。特定の機能やサービスがマイクロソフトに情報を送信することがある場合も送信される情報は同様です。

c. 位置情報サービス

本端末はお買い上げ時の設定で位置情報サービスセンサーが有効になっています。**設定>位置情報**と操作することで位置情報センサーの有効、無効を切り替えられます。特定のアプリケーションの位置情報に基づくサービスを有効にした場合に、お客さまの位置情報がマイクロソフトに送られます。お客さまが特定のアプリケーションの位置情報に基づくサービスを有効にした場合は、アプリケーションから位置情報の要求があるたびにマイクロソフトが、近くの基地局やWi-Fi®のデータ、GPSデータなどお客さまの位置情報に関するデータを収集します。これらのデータには携帯電話基地局、Wi-Fi®アクセスポイントの識別情報（MAC アドレスやSSIDなど）、お客さまの端末に関する電波の強度が含まれます。これらの位置情報はマイクロソフトがお客さまの端末のために作成した固有のIDと関連付けられています。固有のIDは位置情報リクエストの識別に使われ、位置情報サービスの正確さやパフォーマンス向上に役立ちます。固有のIDはWindows Live IDなどの識別情報とは連動しません。また、マイクロソフトがお客様を特定したり、連絡をしたりすることはありません。

d. Zuneコンテンツサービス

Zune PC ソフトウェア機能のご使用に際し、マイクロソフトはお客様が再生したコンテンツや再生時間、コンテンツへの評価などの情報を収集します。本端末で音楽を再生すると、Zune PC ソフトウェアがマイクロソフトに端末情報や再生中コンテンツの識別子を送り、アーティストの画像や、バイオグラフィー、ディスコグ

ラフィーなどをダウンロードしてミュージックシーンを豊かに演出することができるようになります。

e. 第三者への開示
マイクロソフトは、次の場合に、お客様の通信内容など、お客様に関する情報にアクセスまたはこれを開示することがあります。
- 法に準拠する場合、あるいは法の要請または法的手続きに応じる場合。
- この契約および関与するサービスの使用に違反するおそれのある行為、または法律の違反の助長、法律に違反する行為に対する執行や捜査を行う場合。
- マイクロソフト、マイクロソフトの従業員、お客様、または公衆の権利、財産、安全を確保するために必要とされる場合。
- 詳細は**http://www.windowsphone.com/privacy**でWindows Phone 7のプライバシーに関する声明をご確認ください。

f. 情報の保管について
マイクロソフトのサイトやサービスで収集された個人情報は、米国やマイクロソフト、その関連会社、子会社、またはサービス プロバイダの施設が設備を有している他の国々で、保管および処理されることがあります。本端末またはソフトウェアを使うことにより、お客様はこれらの情報の国外への移動についても同意されたものとします。マイクロソフトは、米国商務省が発表した、欧州連合(EU)、欧州経済地域、スイスからのデータの収集、使用、保管に関するSafe Harbor 規制に準拠しています。

g. Windows Live ID の保管と個人情報について
本端末からWindows Live IDにサインインするか、すでにお持ちのWindows Live IDを入力するとWindows Live IDの規約に同意したことになります。Windows Live IDパスワードが自動的にお客さまの端末に保存されます。サインイン情報は電話機のメモリに暗号化して記憶され、認証に使用されWindows Live IDを必要とするマイクロソフトのサービスに自動的にアクセスすることができます。Windows Live IDのサインイン情報は自動的にダウンロードされ、以下の情報とともにお客さまの端末に保存されます。
- お客さまのHotmailアカウントからのEメール
- Windows LiveやMessengerアカウントのフォト、連絡先、カレンダー項目
- アバター、最近使ったゲーム、ゲーマータグなどのXbox LIVEプロフィールに関連する項目

認証情報の管理、機密保持はお客様の責任に属します。運用についても、すべて自己責任に属しますのでご了承ください。

h. 製品の有効性の検証
製品の有効性は、特定の端末上でのソフトウェアの使用について認められています。有効性の検証のため本ソフトウェアによりマイクロソフトに端末情報が送られます。詳しくは**http://www.windowsphone.com/privacy**をご覧ください。**有効性の検証を回避することはできません。**サポートに連絡して製品有効化キーを端末に入力し、ソフトウェアを手動で有効化するよう表示される場合があります。この場合電話によるサポートは課金されることがあります。端末のコンポーネントやソフトウェアに変更があった場合は、ソフトウェアを有効化し直す必要があります。有効化キーが不正に使用されたことが検知された場合、マイクロソフトは有効化キーを無効にすることができます。お客様がソフトウェアやソフトウェアを使ったサービスを利用できなくなることがあります。

6. PLAYREADY.

コンテンツ保有者は、マイクロソフトのPlayReadyコンテンツアクセステクノロジを使用して、著作権を含む知的財産を保護することができます。本端末はPlayReadyテクノロジを使用して、PlayReadyで保護されたコンテンツやWMDRMで保護されたコンテンツにアクセスします。本端末がコンテンツ利用における制限を適切に実行できない場合、コンテンツ保有者はマイクロソフトにPlayReadeyで保護されたコンテンツを使用する機能を失効させるよう、マイクロソフトに依頼する場合があります。失効しても保護されていないコンテンツや、他のアクセステクノロジで提供されているコンテンツは影響を受けません。コンテンツへアクセスするため、コンテンツ所有者からPlayReadyの更新を求められる場合があります。更新をしない場合、これらのコンテンツにアクセスすることはできません。

7. AVC/H.264、VC-1、MPEG-4 映像標準に関する注意

本ソフトウェアには、AVC/H.264、VC-1、MPEG-4画像復号テクノロジが含まれる場合があります。この技術は、映像情報のデータ圧縮のためのフォーマットです。この技術については、MPEG LA, L.L.C.により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

AVC/H.264、VC-1、MPEG-4映像標準に準拠して本製品を使用することは、以下の場合に直接関連する場合を除き、すべて禁止されています。
(A) データまたは情報について
　(i) 事業活動に従事しない消費者より作成され、無償で取得されたデータまたは情報を、
　(ii) 個人使用の目的のみで使用する場合、および
(B) MPEG LA, L.L.C.により別途特定のライセンス許諾を受けたその他の使用による場合。
AVC/H.264、VC-1、MPEG-4 映像標準に不明な点があれば、MPEG LA, L.L.C.(所在地:250 Steele Street,Suite 300, Denver, CO 80206、Webサイト:**www.mpegla.com**)にご連絡ください。

8. デジタル証明書

本ソフトウェアはデジタル証明書を使用しています。これらのデジタル証明書はX.509標準暗号化情報を使用し、インターネットユーザーの身元を特定します。デジタル証明書をファイルやマクロの電子署名に使用して、ファイルの内容についての整合性や作成元を証明することもできます。

9. ネットワークアクセス

お客様が企業ネットワークなどのネットワークを使用する場合、ネットワーク管理者によって端末上の機能が制限される場合があります。

10. 製品サポート

サポート方法については、富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社にお問い合わせください。お問い合わせ先は製品に同梱されています。

11. バックアップ用の複製

本端末を更新する際、本ソフトウェアのバックアップ用の複製が自動的に1部作成されます。バックアップ用の複製は、お客様が本ソフトウェアを本端末に再インストールする場合に限り使用することができます。

12. ライセンスの証明

お客様が本ソフトウェアを本端末、ディスク、メディアにインストールされた状態で入手された場合、本ソフトウェアが正当に許諾されたものであることは、正規のマイクロソフト「Certificate of Authenticity」ラベルが正規の本ソフトウェアの複製に付属していることをもって識別することができます。正規のラベルは本端末に同梱されているスタートガイドに貼付されている必要があります。ラベルが別途付属する場合は、無効とみなされます。お客様が本ソフトウェアの使用許諾を受けていることを証明するため、ラベルが記載されたガイド、端末、包装を保管してください。正規のマイクロソフトソフトウェアを識別する方法については、http://www.howtotell.comをご参照ください。

13. 第三者への譲渡

お客様は、本ソフトウェアを、本端末、「Certificate of Authenticity」ラベル、および本契約書と共に譲渡する場合にのみ、第三者に直接譲渡することができます。譲渡の前に、本ソフトウェアの譲受人は本ライセンス条項が、譲渡および本ソフトウェアの使用に適用されることに同意しなければなりません。お客様は、バックアップ用の複製を含む本ソフトウェアの複製を一切保持することができません。

14. 非フォールトトレラント

本ソフトウェアは、フォールトトレラントではありません。富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社は、本ソフトウェアを本端末にインストールし、本端末での本ソフトウェアの実行に責任を負います。

15. 使用の制限

本ソフトウェアはフェールセーフ機能または性能を持たないシステムを対象にしています。
お客様は、万が一誤作動した場合に人身傷害もしくは死亡につながる可能性のある端末またはシステムで本ソフトソフトウェアを使用することはできません。使用の制限には、原子力施設の操業、航空機の航行、通信システム、および航空管制が含まれます。

16. 本ソフトウェアの非保証

本ソフトウェアは、何ら保証のない現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供されます。本ソフトウェアの使用から生じるリスクは、お客様が負うものとします。他の明示的な保証または条件は規定いたしません。本端末もしくは本ソフトウェアに関する保証は、マイクロソフトまたはその子会社が負うことはなく拘束されるものではありません。お客様の地域の法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する黙示の保証について富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社およびマイクロソフトは一切責任を負いません。

17. 責任の制限

富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社から返金される場合を除き、その他の損害(派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、または付随的損害を含みますがこれらに限定されません)に関しては、一切責任を負いません。

この制限は、以下に適用されるものとします。
- 本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ(コードを含みます)または第三者のプログラムに関連した事項
- 次に対する請求ー契約違反、保証違反、保証または条件、厳格責任、過失、その他適用法で許可されている範囲に対しての不法行為

また、以下のいずれかに該当する場合においても、この制限が適用されるものとします。
- 本ソフトウェアの修理、交換、または返金を行ってもお客様の損失が完全に補償されない場合

- マイクロソフトがこのような損害の可能性を認識していたか、または認識し得た場合

一部の地域または国では付随的、結果的損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。また、一部の国では付随的、派生的、およびその他の損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。

18. 輸出規制

本ソフトウェアは米国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法を遵守することに同意されたものとします。これらの法律には、輸出対象国、エンドユーザーおよびエンドユーザーによる使用に関する制限が含まれます。詳細についてはwww.microsoft.com/japan/exportingをご参照ください。

索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

English Simple Manual（簡易英語版）

IS12T au by KDDI

* For waterproof use, close rear cover and external connection jack cover.

Turning Power On and Off

● **Turning Power On**

Hold down ⏻.

● **Turning Power Off**

Hold down ⏻ for least a few seconds.

Switching the Screen to English

Press [⊞]. ▶ Tap ➔. ▶ Tap ⚙. ▶ "地域＆言語" (region + language). ▶ "表示言語" (Display language). ▶ Select "English". Tap "変更内容を反映するには、ここをタップして電話を再起動します。" (Tap here to accept changes and restart your phone).

Checking Your Own Phone Number

Press [⊞] ▶ Tap 📞. ▶ Tap ··· ▶ Tap "call settings".

簡易英語

Making and Answering a Call

- **Making a Call**
  Press . ▶ Tap . ▶ Tap . Enter the phone number you want to call. ▶ Tap “call”.
  To end a call: Tap “end call”.
- **Answering a Call**
  When you get an incoming call, do one of the following:
  - If your phone is locked, slide up ▶ Tap “answer”.
  - If your phone is unlocked, tap “answer”.

Storing and Recalling People

- **Storing an Entry**
  Press ▶ . ▶ Flick to “all”. ▶ Tap . ▶ Tap “new contact”. ▶ Enter the data. ▶ Tap .
- **Recalling an Entry**
  Press ▶ . ▶ Flick to “all”. Tap the entry you want to view the detail.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

- **Recording a Movie Clip**
  Hold down . ▶ Tap and make sure is displayed.
  ▶ Press to start recording. ▶ Press to stop recording.
- **Taking a Snapshot**
  Hold down . ▶ Make sure the camera mode is selected.
  ▶ Press .

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA

Press . ▶Tap . ▶ Tap . ▶ Enter 「0」「0」「1」「0」「1」「0」

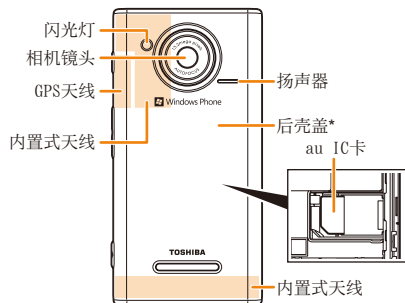
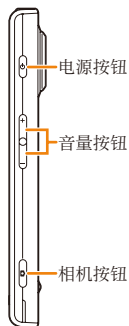
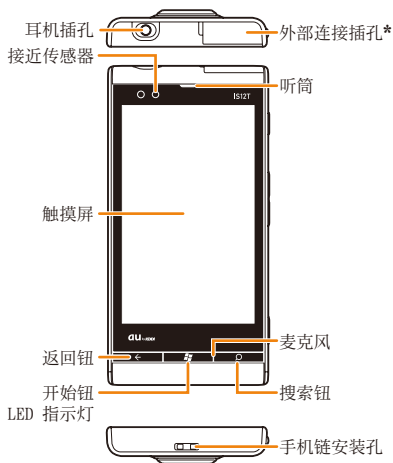
International access code

Other Handy Features

- **Setting the Silent Mode**
  Press or . ▶ Tap .
  Repeat the above operation to disable the Silent Mode.

For inquiries, please contact
Customer Service Center (General Information)
- If you are calling from a landline phone: 0077-7-111 (toll free)
- If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

中文简易说明书（簡易中国語版）

IS12T au by KDDI

* 在潮湿的环境下使用时请关紧后壳盖和外部连接插孔盖。

开启或切断电源

● **开启电源**

按住 ⏻。

● **切断电源**

按住 ⏻几秒钟。

切换为英文萤幕

按 [⊞]。▶轻按 ➔ ▶轻按 ⚙。▶“地域＆言語”（区域和语言）。▶“表示言語”（显示语言）。▶选择 “中文（简体）”。轻按“変更内容を反映するには、ここをタップして電話を再起動します。”（点按此处可接受更改并重新启动手机。）。

检查您自己的电话号码

按 [⊞] ▶轻按 📞。▶轻按 … ▶轻按“通话设置”。

簡易中国語

拨打和接听电话

● **拨打电话**

按 [键] ▶轻按 [图标]。▶轻按 [图标]。输入您想要拨打的电话号码。
▶轻按"呼叫"。
结束通话：轻按"结束通话"。

● **接听电话**

收到来电时，请执行以下操作：

- 如果电话已锁定，请向上滑动▶轻按"接听"。
- 如果电话未锁定，轻按"接听"。

保存和查看电话人

● **保存名单**

按 [键] ▶ [图标]。▶轻拨至"全部"。▶轻按 [图标]。▶轻按"新建联系人"。
▶输入数据。▶轻按 [图标]。

● **查看名單**

按 [键] ▶ [图标]。▶轻拨至"全部"。轻按名单查看详细内容。

使用照相机（动画和快照）

● **录制动画剪辑**

按住 [键]。▶轻按 [图标]，确认显示 [图标]。
▶按 [键] 开始录制。▶按 [键] 停止录制。

● **拍摄快照**

按住 [键]。▶确认已选择相机模式 [图标]。▶按 [键]。

拨打国际长途电话

举例：想要拨打美国长途电话 212-123-△△△△

▶「1」「2」「3」▶ △△△△ ▶轻按 "呼叫"。

您要拨打的电话号码

其他手机功能

● **设置无声模式**

按 [键] 或 [键]。▶轻按 [图标]。
重复以上操作以禁用静音模式。

如需咨询，请联系

客户服务中心（综合信息）

● 从座机上请拨打电话：[FC] 0077-7-111（免费）

● 从au手机上请拨打电话：157（免费）

お客様各位

このたびは、IS12T をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
以下の内容が一部変更になりました。

● 「■ au IC カードが挿入されていない、もしくは au IC カード以外のカードが挿入されると…」（該当ページ：35 ページ右下から 4 行目）
誤）C メールの受信
正）SMS（C メール）の送受信

● 「SIM セキュリティ」画面での PIN ロック解除方法（該当ページ：37 ページ）
PIN コード認証を「SIM セキュリティ」で行ったときに、PIN コード認証を 3 回間違えると、PIN コードがロックされます。以下の手順で PIN ロックを解除してください。
1．PIN ロック解除コードを入力後、何もないところをタップ
2．新しい PIN コードを入力後、何もないところをタップ
3．再度 PIN コードを入力後、何もないところをタップ
4．「登録」をタップ

● 「アプリケーションの一覧」（該当ページ：44 ページの「Messaging」の説明文）
誤）au 電話の C メールなどのショートメッセージを受信します。
正）au 電話の SMS（C メール）などのショートメッセージを送受信します。

● 「緊急地震速報を利用する」（該当ページ：45 ページ）
リード文に以下を追加します。
「災害・避難情報」の受信にも対応いたしました。
災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全に関わる情報をお知らせするものです。
受信した情報の本文が全角 70 ／半角 140 文字を超えた場合は、分割（最大 11 通まで）して表示されます。

● 「緊急地震速報を利用する」（該当ページ：45 ページ memo 内の 6 つ目の項目以降）
以下のように用語をお読み替えください。
緊急地震速報 → 緊急地震速報および災害・避難情報

● 「緊急地震速報を利用する」（該当ページ：45 ページ memo 内の末尾項目）
誤）◎緊急地震速報を受信しない設定にしたり、警報音を変更したりすることはできません。
正）◎緊急地震速報を受信しないように設定することはできません。
◎緊急地震速報の警報音は、「着信音＆サウンド」の「新しい SMS メッセージまたは IM」で設定した音でお知らせします。

● 「電話をかける」（該当ページ：52 ページ右上の memo 内の 1 つ目の項目）
誤）ショートメッセージの送信には対応していないため、「SMS」をタップしてメッセージを作成しても送信はできません。
正）また、「SMS」をタップして、メッセージを作成して送信できます。

● 「番号通知リクエストサービスを開始する」（該当ページ：64 ページ memo 内の 3 つ目の項目）
誤）C メール
正）SMS（C メール）

● 「最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する」（該当ページ：64 ページ memo 内の 3 つ目の項目）
誤）C メール
正）SMS（C メール）

● 「最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する」（該当ページ：65 ページ memo 内の末尾項目）
誤）C メール
正）SMS（C メール）

● PRL（ローミングエリア情報）設定画面に表示される項目名（該当ページ：68 ページ）
PRL（ローミングエリア情報）設定画面に表示される「バージョン」に、現在取得している PRL のバージョンが表示されます。

- 「ショートメッセージを受信する」（該当ページ：83 ページ memo 内の 1 つ目の項目）
  誤）au 電話では「C メール」というサービス名で提供しています。
  正）au 電話では「SMS(C メール)」というサービス名で提供しています。

- 「ショートメッセージを受信する」（該当ページ：83 ページ memo 内の 2 つ目の項目）
  誤）IS12T では、au 電話からの C メール、および他社携帯からのショートメッセージを受信できます。
  正）IS12T では、au 電話からの SMS(C メール)、および他社携帯からのショートメッセージを受信できます。

- 「ショートメッセージを受信する」（該当ページ：83 ページ memo 内の 4 つ目の項目）
  以下の理由により、項目を削除します。
  ショートメッセージの送信に対応いたしました。メッセージの作成・送信の操作については、別紙「ショートメッセージ送信ガイド」をご参照ください。

- 「ショートメッセージを受信する」（該当ページ：83 ページ memo 内の 5 つ目の項目）
  以下の 4 行目、5 行目を削除します。
  また、MMS を使用する機能も使用できないため、アプリケーション設定の「Messaging」→「グループメッセージ」の設定は無効になります。

- Facebook のパスワード変更（該当ページ：84 ページ）
  IS12T に Facebook アカウントを登録後に、パソコンで Facebook アカウントのパスワードを変更すると、IS12T の Facebook アカウントは「要確認」となり使用できなくなります。以下の手順でパスワードを変更してください。
  →→→「メール＆アカウント」→「Facebook」→「パスワード」→新しいパスワードを入力→「保存」をタップ

- Office Mobile（該当ページ：103 ページ memo 内）
  ◎ Office のバージョンが古い場合は※、読み取り専用となり編集はできません。
  ※ Microsoft Word 97-2003 文書 (.doc)、Microsoft Excel 97-2003 ブック (.xls)、Microsoft PowerPoint 97-2003 プレゼンテーション (.ppt) など。

- Zune PC ソフトウェアのインストール（該当ページ：129 ページ）
  Zune PC ソフトウェアは、以下のサイトからダウンロードできます。
  http://zune.net

●「Declaration of Conformity」（該当ページ：136 ページ 5 行目と 6 行目）

誤）http://www.fmworld.net/product/phone/doc/(Japanese only)

正）http://www.fmworld.net/product/phone/

以上

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは　0077-7-111 ｜ au電話からは　局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは　0077-7-113 ｜ au電話からは　局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。
（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2011年7月第1版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社